

ネットワークインターフェースボード 取扱説明書 操作ガイド

品番 WJ-HDB502

もくじ

《システム管理者編》

はじめに	3
第1章 準備	8
第2章 本ボードの設定	17
第3章 WJ-HD500の設定	30
付録	111

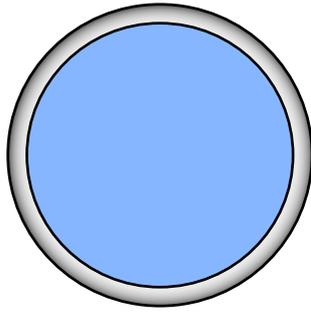
《運用編》

第1章 基本操作	119
第2章 カメラ制御 (PS・Data).....	135
付録 トラブルシューティング ..	140

© Matsushita Communication Industrial Co.,Ltd. (松下通信工業株式会社) 2000

本書の著作権は、松下通信工業株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部を許可なく複製・複写することを禁じます。

- NetscapeおよびNetscape Navigatorは、米国Netscape Communications Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- WindowsおよびWindows NT、MS-DOSは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。



はじめに

ここでは、ネットワークインターフェースボードの概要、運用を開始する前に知っておいていただきたいこと、運用操作の流れについて説明します。

もくじ

本ガイドについて	4
概要	5
ネットワークインターフェースボードとは	5
ブラウザからの操作	5
アクセス制限について	6
操作の流れ	7

本ガイドについて

本ガイドは、“システム管理者編”と“運用編”に分かれています。
システム管理者以外のユーザー（使用者）には、本ガイドの“運用編”を出力し、操作ガイドとしてご利用いただくことをおすすめします。

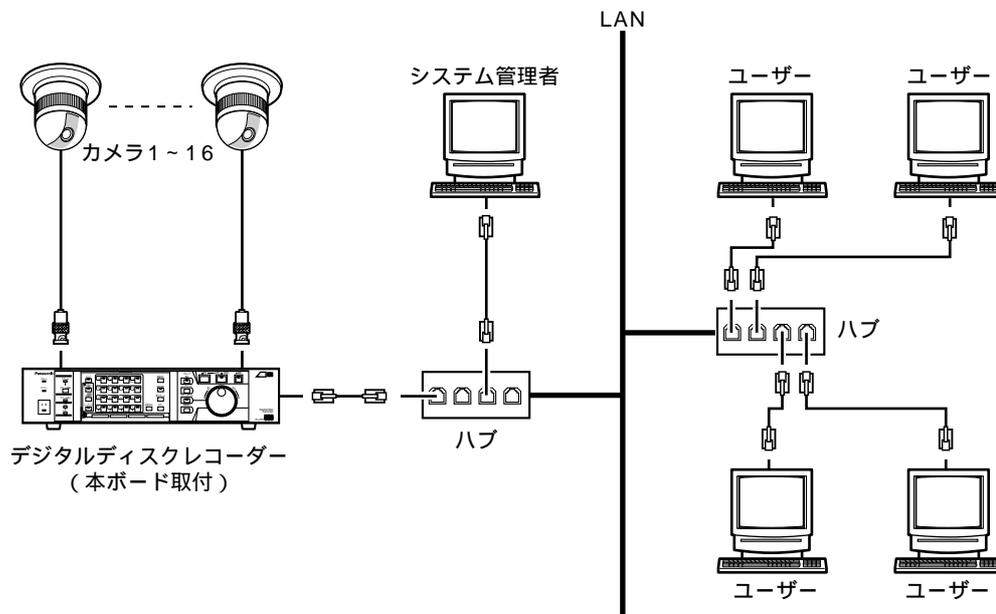
《システム管理者編》

システム管理者（☞ 下記システム例参照）だけが行える本ボードの設定やデジタルディスクレコーダーの設定操作について説明しています。

《運用編》

システム管理者およびユーザー（☞ 下記システム例参照）が行えるデジタルディスクレコーダーの操作やカメラ制御（PS・Data）操作について説明しています。

●システム例



概要

ネットワークインターフェースボードとは

ネットワークインターフェースボード（以下、ボードという）は、デジタルディスクレコーダー WJ-HD500を10/100BASE-T Ethernetコネクタを介して、ネットワーク（LAN）へ接続するためのボードです。

TCP/IPプロトコルの採用により、ネットワークに接続されたパーソナルコンピュータ（以下、パソコンという）のブラウザソフトウェア（Netscape Communicator 4.04以降（Netscape 6は除く）、Internet Explorer 4.01 SP1以降）から、デジタルディスクレコーダーを操作できます。

ブラウザからの操作

ブラウザソフトウェアから操作できる内容は次の4種類です。それぞれにメニュー画面があります。

基本操作画面

デジタルディスクレコーダーに接続されたカメラのライブ映像と録画された映像の再生画を見る（モニタリングする）画面です。また、録画を行うこともできます。

本体設定メニュー画面

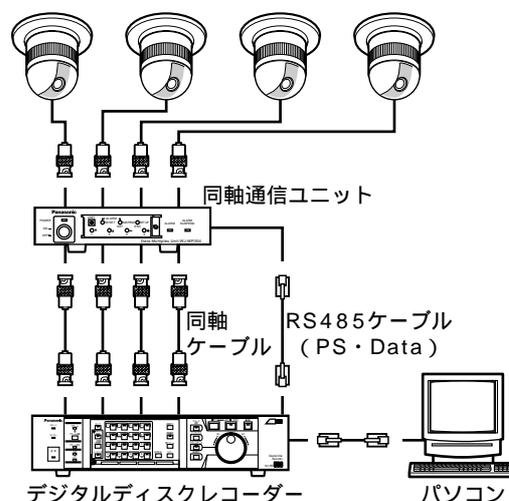
デジタルディスクレコーダーの各種設定を行う画面です。デジタルディスクレコーダーで設定する内容と同じ項目の設定がパソコンから行えます。

ネットワーク設定メニュー画面

本ボードのネットワーク設定、基本動作設定、アラーム発生時のメール通知設定、PS・Data（ ）設定を行います。また、ホスト設定、ユーザー設定を行うことができ、アクセスする人の制限や操作範囲の制限を設定することができます。

カメラ制御画面

同軸通信ユニット WJ-MP204を使用して、PS・Data（ ）モードでカメラ制御を行うときの操作画面です。



： PS・Dataとは、パナソニック・セキュリティ・データシステムの略称で、PS・Data に対応した機器間は、RS-485通信により制御することができます。

アクセス制限について

本ボードでは、ネットワーク設定メニュー画面の“ホスト設定”“ユーザー設定”により、ユーザーのアクセス権を管理することができます。

アクセス権は、3種類のアクセスレベルに分かれており、内容は次のとおりです。

《レベル1（システム管理者向け）》

- ライブ映像のモニタリング
- カメラ制御
- 録画された映像の再生操作
- ライブ映像の録画操作
- アラームリセット操作
- デジタルディスクレコーダーの設定操作
- ネットワーク設定操作
- コンテンツアップロード

《レベル2（運用者向け）》

- ライブ映像のモニタリング
- カメラ制御
- 録画された映像の再生操作

《レベル3（モニタリング専用者向け）》

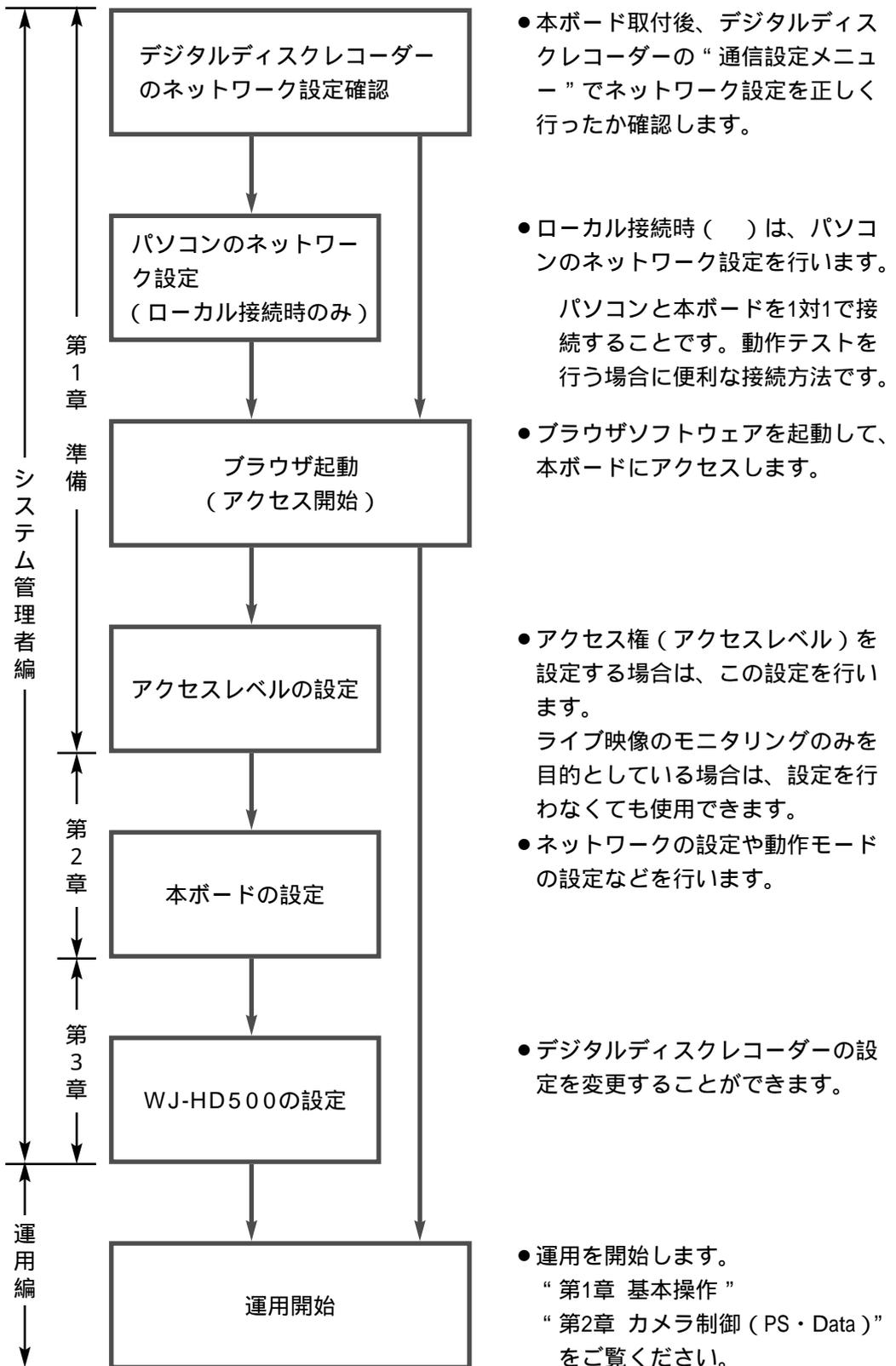
- ライブ映像のモニタリング
- カメラ制御

メモ

- ライブ映像のモニタリングを目的としている場合は、初期設定のままでも使用できます。ただし、アクセス制限を行いたい場合は、運用を開始する前に設定を行ってください。（[🔗 12ページ](#)）
- ユーザーは、16人まで登録できます。ただし、アクセス権に関係なく、同時にアクセスできるのは8人までです。また、アクセスしている人の中で録画映像を再生できるのは1人だけです。

操作の流れ

本ボードを取り付けてから運用を開始するまでの流れです。
本操作ガイドもこの順番にそって説明しています。





準備

ここでは、運用を開始する前に確認・設定していただきたいことについて説明します。

もくじ

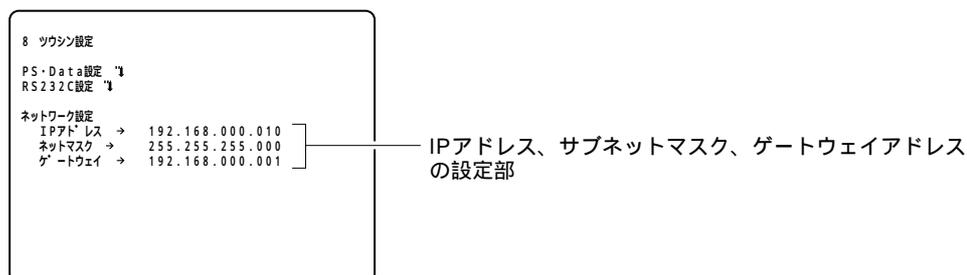
WJ-HD500のネットワーク	
設定を確認する9
パソコンのネットワーク	
設定を行う（ローカル接続時）10
ローカル接続例10
ネットワークの設定を行う10
基本操作画面を表示する11
LAN接続時11
ローカル接続時11
アクセスレベルを設定する12
アクセスレベルの設定イメージ12
アクセスレベルを設定する12

WJ-HD500のネットワーク設定を確認する

設置ガイドに従って本ボードを取り付けたあとに、デジタルディスクレコーダーの“通信設定メニュー”で、ネットワーク設定（IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス）を正しく行ったか確認してください。

確認方法は、デジタルディスクレコーダーの取扱説明書“機能設定” “通信機能の設定”をご覧ください。

《デジタルディスクレコーダーの通信設定メニュー（初期設定値）》



メモ

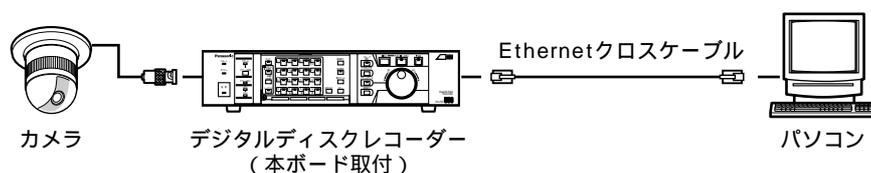
ローカル接続時（ 10ページ）は、デジタルディスクレコーダーのネットワーク設定を変更する必要はありません。初期設定値のままご使用ください。

パソコンのネットワーク設定を行う （ローカル接続時）

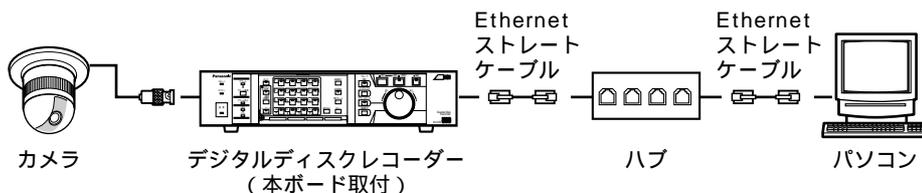
次のようにパソコンと本ボードを1対1でローカル接続している場合は、パソコンのネットワーク設定を行います。

ローカル接続例

ハブを使用しない場合の接続例



ハブを使用する場合の接続例



ネットワークの設定を行う

デジタルディスクレコーダーのネットワーク設定初期設定値に合わせて、パソコンのネットワーク設定を行います。

1. パソコンを起動します。
2. コントロールパネルの“ネットワーク”を選択し、ウィンドウを表示します。
3. “ネットワークの設定”タブをクリックします。
4. “TCP/IP”を選択してプロパティボタンをクリックし、ウィンドウを表示します。
5. IPアドレス、サブネットマスクを次のように設定します。

IPアドレス : 192.168.0.9
サブネットマスク : 255.255.255.0

6. ネットワーク設定を有効にするため、パソコンを再起動します。



基本操作画面を表示する

ブラウザソフトウェアを起動して本ボードにアクセスし、基本操作画面を表示します。

LAN接続時

1. ブラウザソフトウェアを起動します。
2. URLに “ http:// (デジタルディスクレコーダーに設定したIPアドレス) / ” を入力し、基本操作画面を表示します。



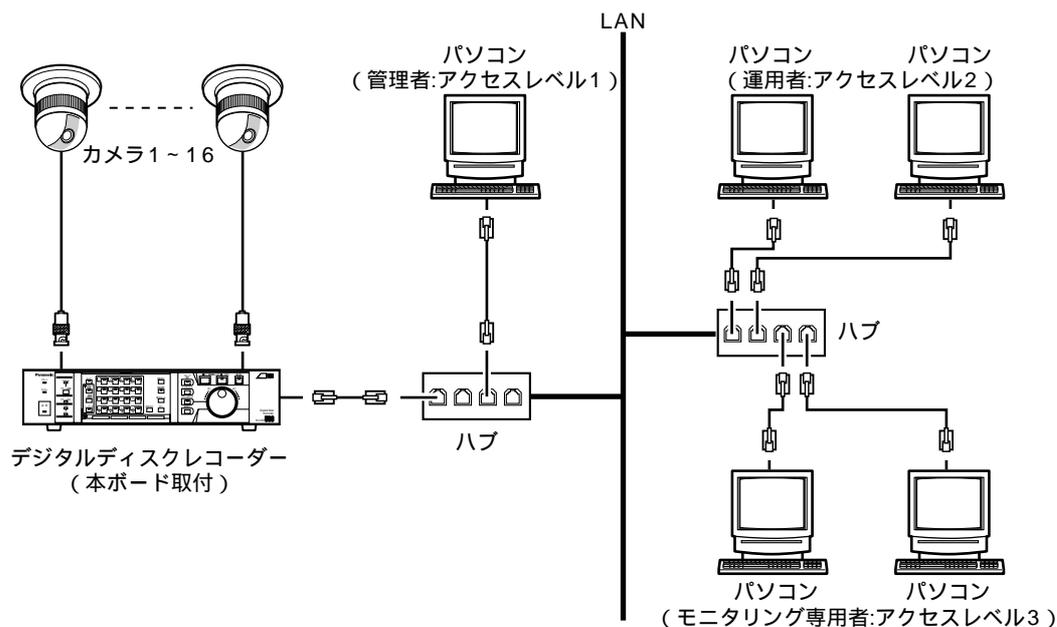
ローカル接続時

1. ブラウザソフトウェアを起動します。
2. ブラウザの設定を “ アドレス 192.168.0.10はプロキシを使用しない ” に設定します。
 - 例えば、Netscape Communicator の場合は、“ 編集 ” “ 設定 ” “ 詳細 ” “ プロキシ ” “ 手動でプロキシを設定 ” “ 次のアドレスで始まるドメインにはプロキシを使用しない ” 欄に、“ 192.168.0.10 ” を指定します。
3. URLに “ http://192.168.0.10/ ” を入力し、基本操作画面 (上記参照) を表示します。

アクセスレベルを設定する

ネットワーク上に接続されている各パソコンにアクセス権を設定し、ユーザーごとにデジタルディスクレコーダーの操作できる範囲を制限します。

アクセスレベルの設定イメージ



アクセスレベルを設定する

ネットワーク設定メニューの表示

1. 基本操作画面上の“ネットワーク設定メニュー”ボタンをクリックします。



ネットワーク設定メニューボタン

(次ページへつづく)

2. 表示されたユーザーID、パスワード入力ウィンドウに、ユーザーID “ admin ” を入力します。パスワードは空白（なし）のままです。
 - ネットワーク設定画面が表示されます。



ホスト設定（ホスト認証）

本ボードへのアクセスを許可するパソコン（ホスト端末）と、そのアクセスレベルを設定します。ホスト端末として設定できるパソコンは、最大8台までです。

1. ネットワーク設定画面下部の“ホスト”をクリックし、ホスト設定メニューを表示します。



(次ページへつづく)

2. ホスト認証を設定します。
 - ①ホスト認証の“使用する”ラジオボタンをクリックします。
 - ②“設定”ボタンをクリックします。



 メモ

ホスト認証を行わず、ユーザー認証だけでアクセスレベルを設定する場合は、上記手順①で“使用しない”ラジオボタンをクリックし、“ユーザー設定(ユーザー認証)”に進んでください。

3. ホスト端末を登録します。
 - ①ホスト端末として登録するパソコンのIPアドレスを入力します。
 - ②アクセスレベルのラジオボタンをクリックし、アクセスレベルを選択します。
 - ③“設定”ボタンをクリックします。
 - ④手順①～③の操作をくり返し、最大8件までホスト端末を登録します。



4. 登録済みのホスト端末を削除するときは、プルダウンリストから削除したいホスト端末を選択し、“削除”ボタンをクリックします。



(次ページへつづく)

ユーザー設定（ユーザー認証）

本ボードへのアクセスを許可するユーザーと、そのアクセスレベルを設定します。ユーザー登録は、最大16件までです。ただし、同時にアクセスできるのは8人までです。

1. ホスト設定画面下部の“ユーザー”をクリックし、ユーザー設定メニューを表示します。



2. ユーザー認証を設定します。
 - ①ユーザー認証の“使用する”ラジオボタンをクリックします。
 - ②“設定”ボタンをクリックします。



(次ページへつづく)

3. ユーザーを登録します。
 - ①ユーザー名を入力します。
 - ②パスワードを入力します。
 - ③アクセスレベルのラジオボタンをクリックし、アクセスレベルを選択します。
 - ④“設定”ボタンをクリックします。
 - ⑤手順①～④の操作をくり返し、最大16件までユーザーを登録します。

ユーザ登録 (パスワード、アクセスレベルの登録/変更)

ユーザ名	admin
パスワード	
アクセスレベル	<input checked="" type="radio"/> 1(管理者) <input type="radio"/> 2(ライブ画モニタリング & 番頭画再生) <input type="radio"/> 3(ライブ画モニタリング)

設定

4. 登録済みのユーザーを削除するときは、プルダウンリストから削除したいユーザーを選択し、“削除”ボタンをクリックします。

登録ユーザの削除

ユーザの削除: admin(1) [▼] 削除

5. “基本画面”ボタンをクリックして、基本操作画面に戻ります。



基本画面ボタン



本ボードの設定

ここでは、本ボードの各種機能を設定する操作方法について説明します。

もくじ

設定メニュー画面について	18
設定メニュー画面を表示する	18
ネットワーク設定を行う	20
ネットワーク設定	20
動作モード設定を行う	21
基本動作モード設定	21
シーケンス設定	22
アラーム通知設定を行う	23
メール基本設定	23
通知先メールアドレスの登録（削除）	24
ユーザー設定を行う	25
ユーザー認証	25
ユーザー登録（削除）	26
ホスト設定を行う	27
ホスト認証	27
ホスト登録（削除）	28
PS・Data設定を行う	29
PS・Data設定（ネットワークカード用）	29

設定メニュー画面について

本ボードの各種機能を設定する場合は、基本操作画面表示後に設定メニュー画面を表示する必要があります。

設定メニュー画面には、次の6種類あります。

ネットワーク設定画面：IPアドレスの設定など、ネットワークに関する設定を行います。

動作モード設定画面：ライブ映像の画質設定やシーケンス設定などを行います。

アラーム通知設定画面：アラーム発生時に、指定したメールアドレスへ自動的にメールを発信し、アラームの発生を知らせる“メール通知機能”を設定します。

ユーザー設定画面：ユーザー認証の設定を行います。

ホスト設定画面：ホスト認証の設定を行います。

PS・Data設定画面：PS・Dataモード使用時の設定を行います。

設定メニュー画面を表示する

1. 基本操作画面上の“ネットワーク設定メニュー”ボタンをクリックします。
 - ユーザーID、パスワードを入力するウィンドウが表示されます。
 - ホスト認証使用時、ホスト登録されているパソコンからアクセスしている場合はネットワーク設定画面が表示されますので、手順3へ進んでください。



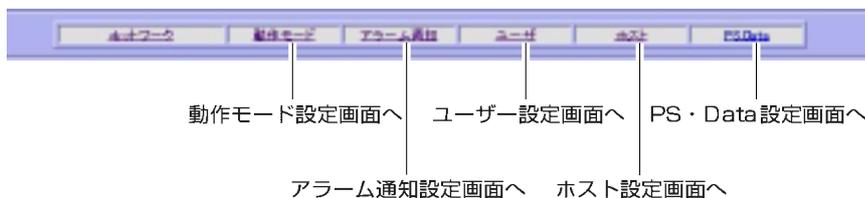
ネットワーク設定メニューボタン

(次ページへつづく)

2. ユーザーID、パスワードを入力します。
 - “第1章 準備” “アクセスレベルを設定する” でユーザーID、パスワードを設定した場合は、その内容を入力します。
設定していない場合は、ユーザーIDに “admin” を入力し、パスワードは空白（なし）のままにしてください。
 - ネットワーク設定画面が表示されます。



3. 他の設定メニュー画面を表示するときは、画面下部の表示をクリックします。



4. 設定を終了するときは、“基本画面” ボタンをクリックして、基本操作画面に戻ります。



ネットワーク設定を行う

ネットワークの設定を変更する場合は、次の操作を行ってください。
この操作を行うと、デジタルディスクレコーダーの“通信設定メニュー”にあるネットワーク設定（IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス）も更新されます。

メモ

本ボードのネットワーク設定は、デジタルディスクレコーダーのネットワーク設定内容が自動的に設定されるようになっています。（ボード取付時）
従って、ネットワークの設定を変更しない場合は、ここで説明する設定操作を行う必要はありません。

ネットワーク設定

1. 各項目を設定します。
 - ① IPアドレスを入力します。（初期設定値：192.168.0.10）
 - ② サブネットマスクを入力します。（初期設定値：255.255.255.0）
 - ③ ゲートウェイアドレスを入力します。（初期設定値：192.168.0.1）
 - ④ ホスト名を入力します。（初期設定値：hdb502）
 - 最大16文字の英大文字、英小文字、数字、記号で設定可能です。
 - ⑤ 通信速度を選択します。（初期設定値：自動設定）
 - “自動設定”、“100Mbps（全二重）”、“100Mbps（半二重）”、“10Mbps”の中から選択してください。



2. “設定 & 再起動” ボタンをクリックします。
 - 設定した内容を確定するとともに、デジタルディスクレコーダーの設定を更新します。

動作モード設定を行う

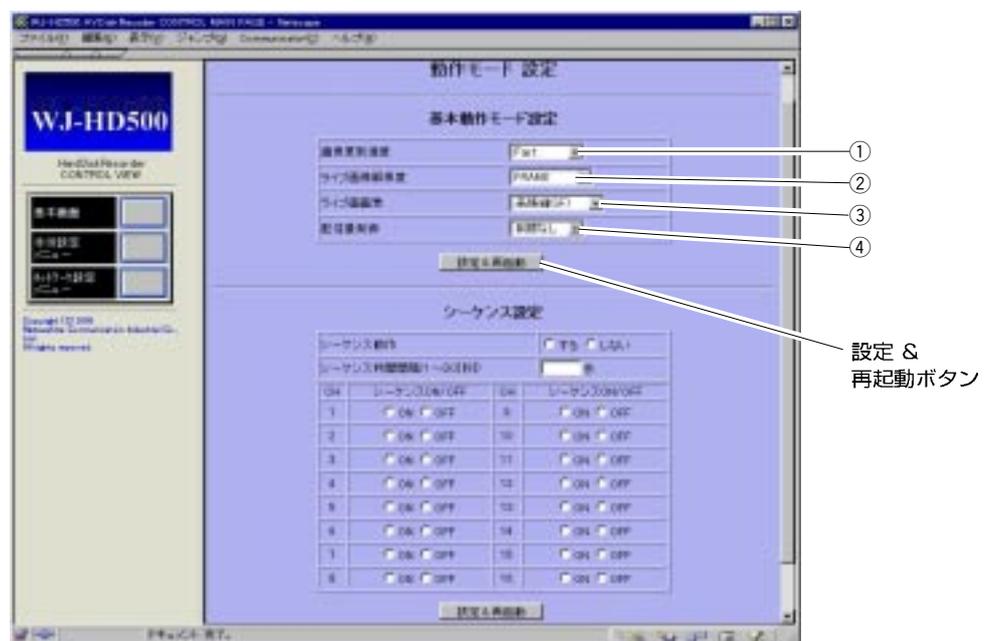
ライブ映像の画質設定やシーケンス設定を行います。

基本動作モード設定

ライブ映像をブラウザソフトウェア上で見るための基本動作を設定します。

1. 各項目を設定します。

- ①画像更新速度を選択します。(初期設定値: Middle)
 - ライブ映像のデータを更新する間隔の設定です。
 - “Fast”、“Middle”、“Slow”、“Very slow”の中から選択してください。
 - “Fast”を選択すると画像更新速度が速く、“Very slow”を選択すると画像更新速度が遅くなります。
- ②ライブ画像解像度を選択します。(初期設定値: FIELD)
 - デジタルディスクレコーダーから送信されるライブ映像の解像度設定です。
 - “FRAME”、“FIELD”、“1/4-FRAME”の中から選択してください。
- ③ライブ画画質を選択します。(初期設定値: 高精細(SF))
 - デジタルディスクレコーダーから送信されるライブ映像の画質設定です。
 - “高精細(SF)”、“高画質(FQ)”、“標準(NQ)”、“長時間用(EX)”の中から選択してください。
- ④配信量制御を選択します。(初期設定値: 制限なし)
 - 本ボードからネットワークへ、1秒あたりに送信するデータ量の設定です。
 - “制限なし”、“32kbps”、“64kbps”、“128kbps”、“256kbps”、“512kbps”、“1024kbps”の中から選択してください。



2. “設定 & 再起動” ボタンをクリックします。

- 設定した内容を確定します。

(次ページへつづく)

シーケンス設定

ライブ映像をブラウザソフトウェア上でシーケンス表示（カメラ16台のライブ映像を自動的に切り換えて表示）するための設定です。

1. 各項目を設定します。
 - ①シーケンス動作の“する”ラジオボタンをクリックします。
（初期設定値：しない）
 - ②シーケンス時間間隔（1～30秒）を入力します。（初期設定値：1秒）
 - ライブ映像を切り換える間隔設定です。
 - 1～30秒の範囲で選択し、入力してください。
 - ③シーケンス表示するカメラを選択します。（初期設定値：OFF）
 - カメラ（CH1～16）の“ON”ラジオボタンをクリックしてください。



2. “設定 & 再起動” ボタンをクリックします。
 - 設定した内容を確定します。

アラーム通知設定を行う

アラームが発生したことを指定したメールアドレスへメールを発信して知らせる“メール通知機能”を使用するための設定です。

メール基本設定

メール通知機能の基本項目を設定します。

1. 各項目を設定します。
 - ①メール通知の“使用する”ラジオボタンをクリックします。
(初期設定値: 使用しない)
 - ②メールサーバアドレスを入力します。
 - デジタルディスクレコーダーが接続されているネットワーク上のメールサーバアドレスを入力してください。
 - ③送信者名を入力します。
 - ここで入力した名前でメールが発信されます。
 - ④画像添付“する”、“しない”を選択します。(初期設定: しない)
 - “する”、“しない”ラジオボタンをクリックしてください。
 - “する”を選択すると、アラーム発生時のカメラ映像をメールに添付して送信します。



2. “設定”ボタンをクリックします。
 - 設定した内容を確定します。

(次ページへつづく)

通知先メールアドレスの登録（削除）

アラーム発生時にメール通知するアドレスを登録します。最大4件まで登録できます。

1. 通知先メールアドレスを登録します。
 - ①通知先のメールアドレスを入力します。
 - ②“登録”ボタンをクリックします。
 - 入力したメールアドレスが登録されます。
 - ③複数のメールアドレスを登録するときは、手順①、②をくり返します。



2. 登録したメールアドレスを削除するときは
 - ①プルダウンリストから削除するメールアドレスを選択します。
 - ②“削除”ボタンをクリックします。
 - 選択したメールアドレスが削除されます。



ユーザー設定を行う

ユーザー認証を行うための設定です。
ユーザー認証を行うと、ここで登録されたユーザーだけがデジタルディスクレコーダーを操作できるようになります。

メモ

ここで説明する内容は、“第1章 準備” “アクセスレベルを設定する”の内容と同じです。

ユーザー認証

1. ユーザー認証の“使用する”ラジオボタンをクリックします。
(初期設定値：使用しない)



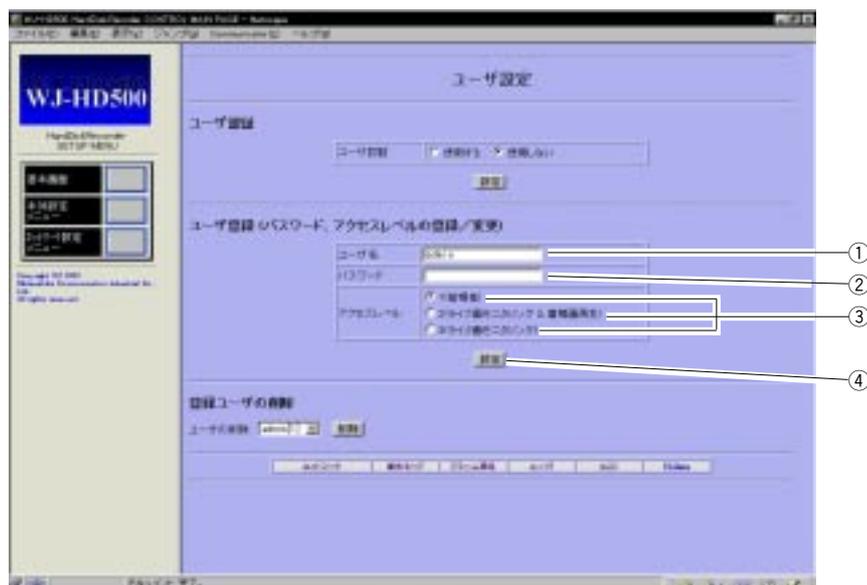
2. “設定” ボタンをクリックします。
ユーザー認証の設定が完了します。

(次ページへつづく)

ユーザー登録（削除）

ユーザーの登録を行います。ユーザーは最大16件まで登録できます。

1. 各項目を設定します。
 - ①ユーザー名を入力します。
 - ②パスワードを入力します。
 - ③アクセスレベルのラジオボタンをクリックし、アクセスレベルを選択します。
 - ④“設定”ボタンをクリックします。
- ⑤手順①～④の操作をくり返し、最大16件までユーザーを登録します。



2. 登録済みのユーザーを削除するときは、プルダウンリストから削除したいユーザーを選択し、“削除”ボタンをクリックします。



ホスト設定を行う

ホスト認証を行うための設定です。
ホスト認証を行うと、ここで登録されたホスト端末からのみデジタルディスクレコーダーを操作できるようになります。

メモ

ここで説明する内容は、“第1章 準備” “アクセスレベルを設定する”の内容と同じです。

ホスト認証

1. ホスト認証の“使用する”ラジオボタンをクリックします。
(初期設定値：使用しない)



2. “設定”ボタンをクリックします。
ホスト認証の設定が完了します。

(次ページへつづく)

ホスト登録（削除）

ホスト端末（パソコン）の登録を行います。ホスト端末は最大8件まで登録できます。

1. 各項目を設定します。
 - ①ホスト端末として登録するパソコンのIPアドレスを入力します。
 - ②アクセスレベルのラジオボタンをクリックし、アクセスレベルを選択します。
 - ③ “設定” ボタンをクリックします。
- ④手順①～③の操作をくり返し、最大8件までユーザーを登録します。



2. 登録済みのホスト端末を削除するときは、プルダウンリストから削除したいホスト端末を選択し、“削除” ボタンをクリックします。



PS・Data設定を行う

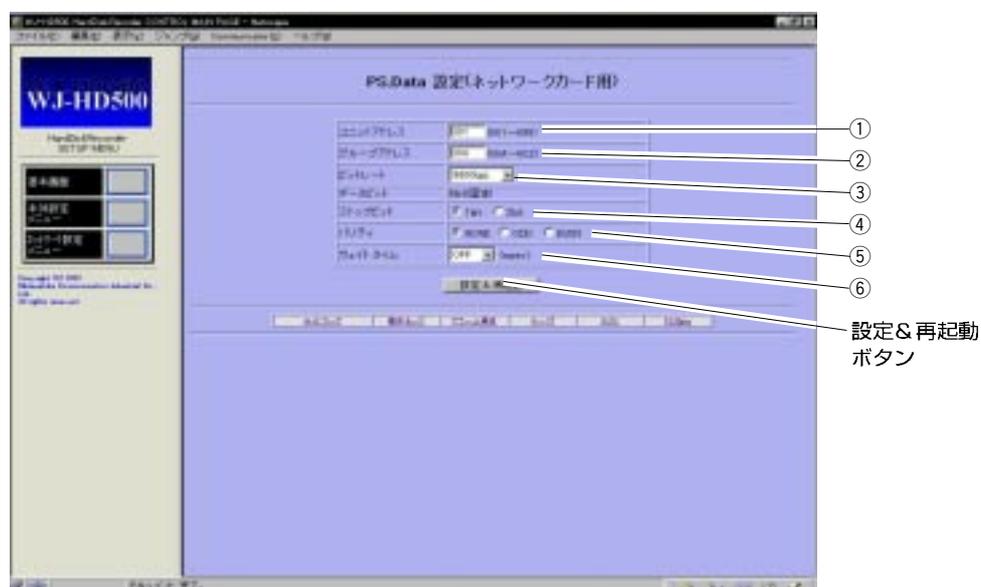
PS・Data（パナソニック・セキュリティ・データシステム）モードを使用する場合の設定です。

PS・Dataモードを使用すると、PS・Data対応機器間をRS-485通信により制御することができます。（[運用編](#)、第2章 カメラ制御）

PS・Data設定（ネットワークカード用）

1. 各項目を設定します。

- ①本ボードのユニットアドレス（001～098）を入力します。（初期設定値：001）
- ②本ボードのグループアドレス（00A～00Z）を入力します。（初期設定値：00A）
- ③ビットレート（データ通信速度）を選択します。（初期設定値：9600bps）
 - “2400bps”、“4800bps”、“9600bps”、“19200bps”、“38400bps”の中から選択してください。
- ④ストップビットを設定します。（初期設定値：1bit）
 - “1bit”または“2bit”ラジオボタンをクリックしてください。
- ⑤パリティを設定します。（初期設定値：NONE）
 - “NONE”または“ODD”または“EVEN”ラジオボタンをクリックしてください。
- ⑥ウェイトタイム（データの再送時間）を選択します。（初期設定値：OFF）
 - “OFF”、“100”、“200”、“400”、“1000”の中から選択してください。



2. “設定” ボタンをクリックします。
PS・Dataの設定が完了します。



第3章

WJ-HD500 の設定

本ボードを使用すると、デジタルディスクレコーダー WJ-HD500の機能設定をブラウザソフトウェア上で行うことができます。

ここでは、WJ-HD500の機能設定方法について説明します。

もくじ

WJ-HD500設定メニュー画面について	...31
タイマーモードを設定する34
共通機能を設定する35
共通設定35
グループ設定（カメラ割当て）38
グループ設定（タイトル）39
マニュアル録画機能を設定する40
内部タイマー録画機能を設定する46
緊急録画機能を設定する66
スイッチャー機能を設定する70
スイッチャー設定71
シーケンス設定72
アラーム機能を設定する81
アラーム設定82
アラーム端子設定84
動き検出エリア設定86
表示機能を設定する89
表示設定89
カメラタイトル設定93
PS・Data設定を行う94
RS232C設定を行う98
システム設定を行う101

WJ-HD500設定メニュー画面について

デジタルディスクレコーダーのメニュー画面と同じ内容の設定メニュー画面をブラウザソフトウェア上に表示し、各種機能の設定を行うことができます。

ここで設定（変更）した内容は、デジタルディスクレコーダーに書き込まれ、デジタルディスクレコーダーのメニュー画面も変更されます。

WJ-HD500本体設定メニュー画面を表示する

設定メニュー画面の中で、一番最初に表示される画面を“WJ-HD500本体設定メニュー”といい、デジタルディスクレコーダーの機能設定は、このメニューを表示したところから始まります。

1. 基本操作画面上の“本体設定メニュー”ボタンをクリックします。
 - ユーザーID、パスワードを入力するウィンドウが表示されます。
 - ホスト認証使用時、ホスト登録されているパソコンからアクセスしている場合は、WJ-HD500本体設定メニュー画面が表示されますので、手順3へ進んでください。



本体設定メニューボタン

(次ページへつづく)

2. ユーザーID、パスワードを入力します。
 - “第1章 準備” “アクセスレベルを設定する” でユーザーID、パスワードを設定した場合は、その内容を入力します。
設定していない場合は、ユーザーIDに “admin” を入力し、パスワードは空白（なし）のままにしてください。
 - WJ-HD500本体設定メニュー画面が表示されます。

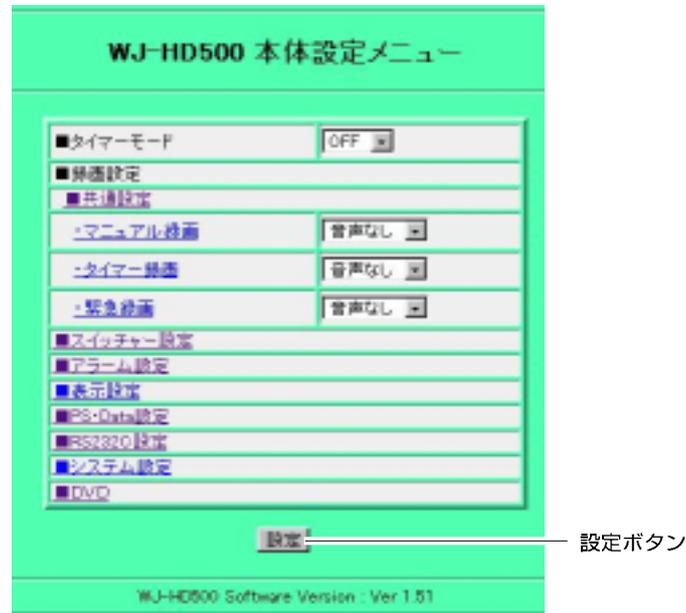


3. WJ-HD500本体設定メニュー画面の内容は、次のとおりです。
 - “共通設定” などの表示をクリックすると、各種設定画面が表示されます。
 - タイマーモードなどのプルダウンリストをクリックすると、設定項目の選択ができます。



(次ページへつづく)

4. “設定” ボタンをクリックすると、デジタルディスクレコーダーの設定が、この設定画面で設定した内容に更新されます。



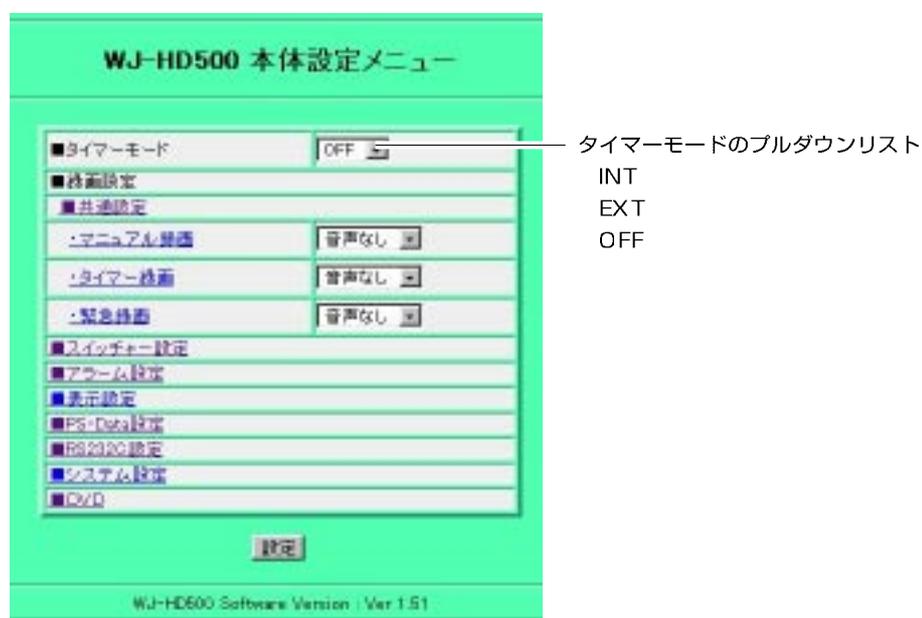
5. 設定を終了するときには、“基本画面” ボタンをクリックして、基本操作画面に戻ります。



タイマーモードを設定する

録画方法に合わせてタイマーモードを選択します。

- プルダウンリストの中から設定したいタイマーモードを選択します。
(初期設定値: OFF)
 - OFF : マニュアル録画を行うときの設定です。
 - INT : デジタルディスクレコーダーの内部タイマーを使用して録画を行うときの設定です。
 - EXT : タイムスイッチなどの外部タイマーを使用して、デジタルディスクレコーダーの電源“入”時に録画を行うときの設定です。



- 他の設定を続けて行うときは、設定したい項目の画面を表示します。
- 設定を終了するときは、“設定”ボタンをクリックします。
 - デジタルディスクレコーダーの設定が、設定した内容に更新されます。

共通機能を設定する

すべての録画方法に共通する設定や再生動作の設定、グループ設定（カメラ割当て、およびタイトル）を行います。

共通機能の設定画面には、“共通設定画面”、“グループ設定（カメラ割当て）画面”、“グループ設定（タイトル）画面”の3種類があり、共通機能の設定は、共通設定画面を表示したところから始まります。

《共通設定画面》



グループ設定（カメラ割り当て）画面へ

グループ設定（タイトル）画面へ

WJ-HD500本体設定メニュー画面へ戻る

共通設定

すべての録画方法に共通する設定と、再生時の動作設定を行います。

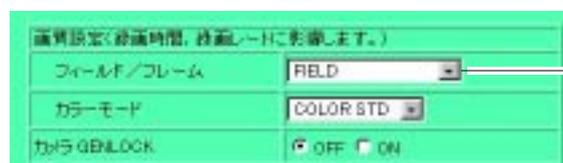
1. フィールド/フレーム（解像度）を設定します。（初期設定値：FIELD）

- プルダウンリストの中から選択してください。

FRAME 3DIM ON : 高解像度、画ブレ補正付き（720×480）

FRAME 3DIM OFF : 高解像度（720×480）

FIELD : 標準解像度（720×240）



プルダウンリスト

（次ページへつづく）

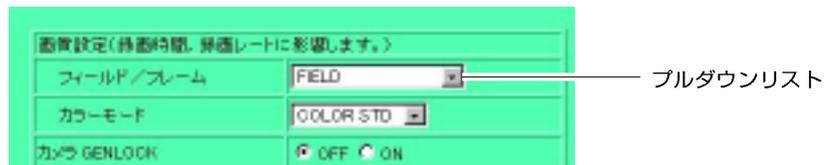
2. カラーモードを設定します。(初期設定値:COLOR STD)

- プルダウンリストの中から選択してください。

COLOR FINE : 高解像度カラー映像で録画

COLOR STD : カラー映像で録画

B/W : 白黒映像で録画(白黒カメラ用)



3. カメラGENLOCKを設定します。(初期設定値:OFF)

- “ON”または“OFF”ラジオボタンをクリックしてください。

OFF : カメラにGEN LOCK同期をかけていない場合

ON : カメラにGEN LOCK同期をかけている場合

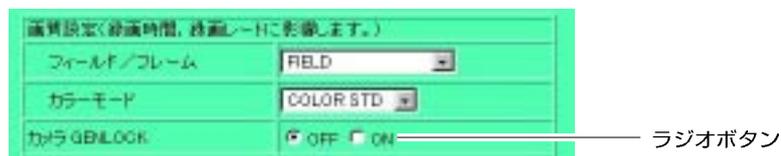


4. タイトル記録のON/OFFを設定します。(初期設定値:OFF)

- “ON”または“OFF”ラジオボタンをクリックしてください。

ON : タイトル表示を録画する

OFF : タイトル表示を録画しない



5. 時刻記録のON/OFFを設定します。(初期設定値:OFF)

- “ON”または“OFF”ラジオボタンをクリックしてください。

ON : 時刻表示を録画する

OFF : 時刻表示を録画しない

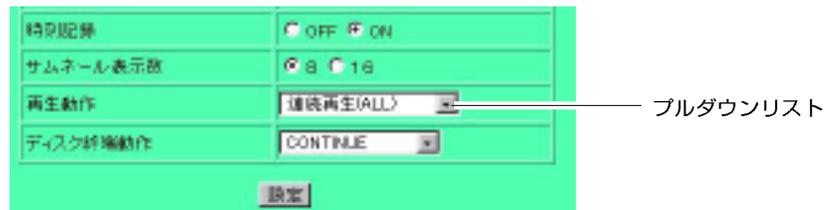


(次ページへつづく)

6. サムネール表示数を設定します。(初期設定値:8)
- 基本操作画面にある“サムネール表示”ボタンをクリックしたときに表示する画面数を選択します。
 - “8”または“16”ラジオボタンをクリックしてください
 - 8 : 8画面表示します
 - 16 : 16画面表示します。



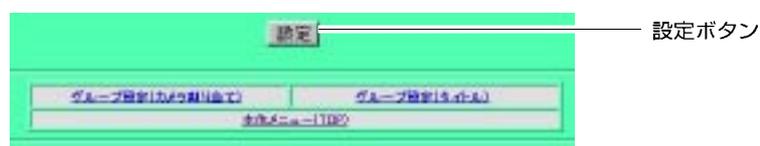
7. 再生動作を設定します。(初期設定値:連続再生(ALL))
- プルダウンリストの中から選択してください。
 - 1回再生 (ONE) : 選択したレコードを1回だけ再生する
 - 繰り返し再生 (LOOP) : 選択したレコードを繰り返し再生する
 - 連続再生 (ALL) : レコードを自動的に切り換えて再生する



8. ディスク終端動作を設定します。(初期設定値:STOP)
- ハードディスクの残容量がなくなったときの動作設定です。
 - プルダウンリストの中から選択してください。
 - STOP : 録画を停止する
 - CONTINUE : 古い録画データに上書きして録画を続ける
 - ALM CONTINUE : アラーム発生時のみ、古い録画データに上書きして録画を続ける



9. “設定”ボタンをクリックします。
- デジタルディスクレコーダーの設定が、設定した内容に更新されます。
 - グループ設定(カメラ割り当て、またはタイトル)を行うときは、画面下部の表示をクリックして、設定画面を表示してください。



グループ設定（カメラ割当て）

デジタルディスクレコーダーに接続されているカメラ（最大16台）を4つのグループに分ける設定です。

グループとは、内部タイマー録画で使用されるもので、内部タイマー録画では、タイマー設定ごとに録画するカメラをグループで指定します。

1. カメラを4つのグループに割り当てます。（初期設定値：1）

- プルダウンリストの中から選択してください。

- 1 : グループ1 (G1)
- 2 : グループ2 (G2)
- 3 : グループ3 (G3)
- 4 : グループ4 (G4)



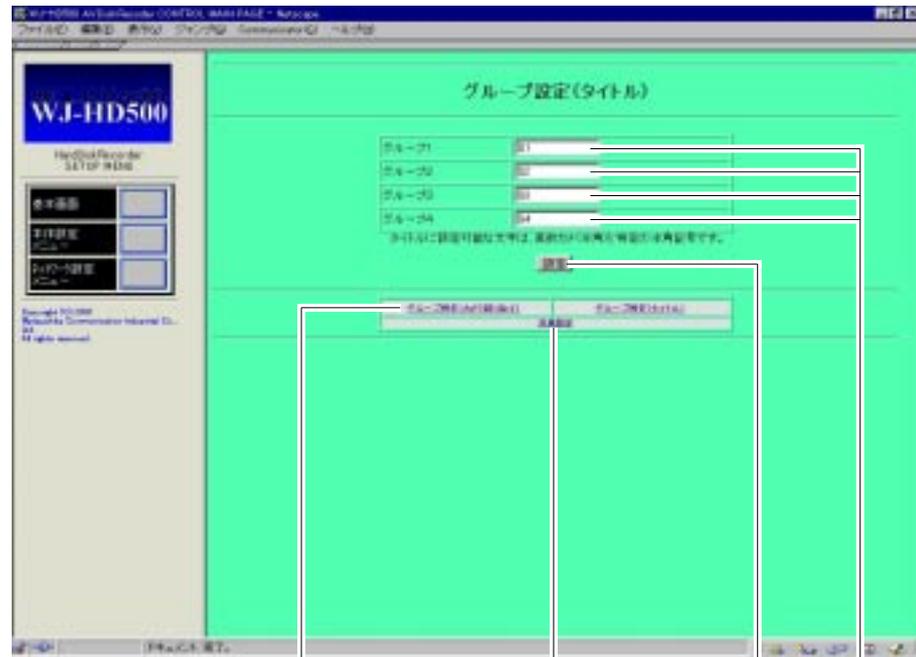
2. “設定” ボタンをクリックします。

- デジタルディスクレコーダーの設定が、設定した内容に更新されます。
- グループ設定（タイトル）を行うときは、画面下部の表示をクリックして、設定画面を表示してください。

グループ設定（タイトル）

画面に表示するグループタイトル（最大8文字）を設定します。

1. グループタイトルを入力します。（初期設定値：G1、G2、G3、G4）
 - グループ1、グループ2、グループ3、グループ4の入力欄にタイトルを入力してください。



グループ設定（カメラ割当て）画面へ

共通設定画面へ戻る

入力欄

設定ボタン

2. “設定” ボタンをクリックします。
 - デジタルディスクレコーダーの設定が、設定した内容に更新されます。
 - グループ設定（カメラ割当て）を行うときは、画面下部の表示をクリックして、設定画面を表示してください。

マニュアル録画機能を設定する

マニュアル録画時の動作設定を行います。

また、この設定内容はマニュアル録画と外部タイマー録画共通の内容です。外部タイマー録画時は、ここで設定した内容で動作します。

WJ-HD500本体設定メニュー画面上的の設定

1. 録画時に音声を録音するか選択します。(初期設定値: 音声なし)
 - プルダウンリストの中から選択してください。

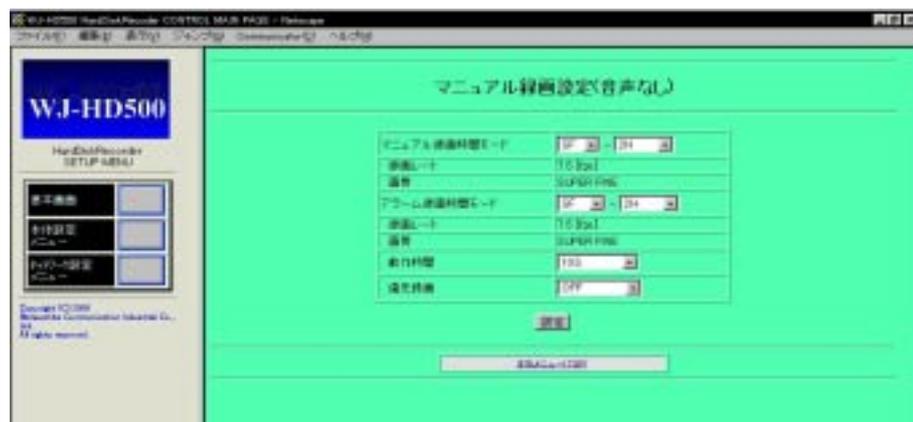


マニュアル録画設定画面へ

プルダウンリスト

2. 画面上の“・マニュアル録画”表示をクリックします。
 - マニュアル録画設定画面が表示されます。

下図は音声を録音しない場合です。音声を録音する場合は「音声あり」と表示されます(設定方法は同じです)



(次ページへつづく)

マニュアル録画設定画面上の設定

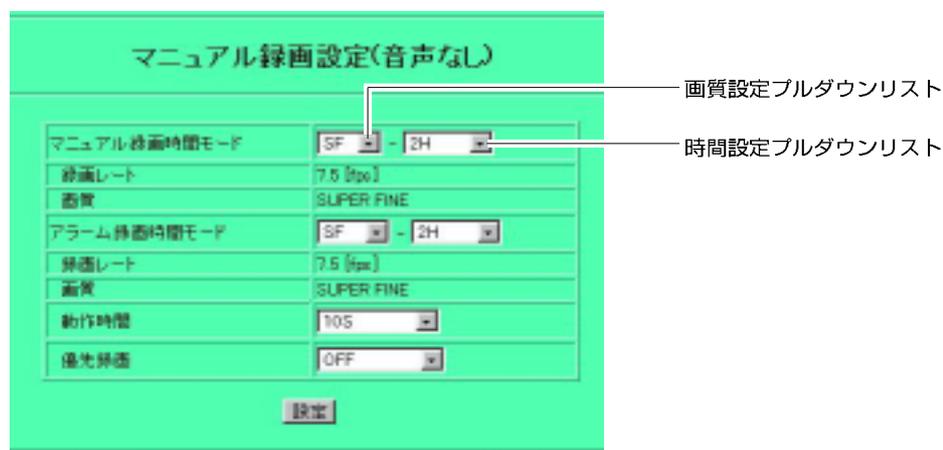
1. マニュアル録画時間モードを設定します。(初期設定値:SF-24H)

①画質設定プルダウンリストから画質を選択します。

- SF : 高精細
- FQ : 高画質
- NQ : 標準
- EX : 長時間用
- SP : 録画時間を制限しない

②時間設定プルダウンリストから時間モードを選択します。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 2H : 2時間録画モード | 12H : 12時間録画モード |
| 18H : 18時間録画モード | 24H : 24時間録画モード |
| 48H : 48時間録画モード | 72H : 72時間録画モード |
| 96H : 96時間録画モード | 120H : 120時間録画モード |
| 180H : 180時間録画モード | 240H : 240時間録画モード |
| 360H : 360時間録画モード | 480H : 480時間録画モード |
| 720H : 720時間録画モード | 960H : 960時間録画モード |
| 1200H : 1200時間録画モード | 1440H : 1440時間録画モード |
| 2160H : 2160時間録画モード | 2880H : 2880時間録画モード |
| 3600H : 3600時間録画モード | 4320H : 4320時間録画モード |
| 6480H : 6480時間録画モード | 8640H : 8640時間録画モード |



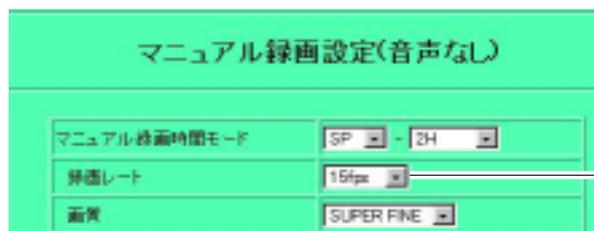
メモ

アラーム録画時間モード(手順4)の設定方法および設定内容は、マニュアル録画時間モードと同じです。手順4では、詳細説明を省略しています。

(次ページへつづく)

2. マニュアル録画時間モード(手順1)を“SP(またはSP-A)”に設定した場合、録画レートを設定します。

- 録画レートとは、カメラ映像を録画する間隔のことで、数値が高いほど、動画に近い状態で録画されます。
- プルダウンリストの中から選択してください。
 - 60fps : 1秒間に60枚の静止画を録画
 - 30fps : 1秒間に30枚の静止画を録画
 - 15fps : 1秒間に15枚の静止画を録画
 - 10fps : 1秒間に10枚の静止画を録画
 - 7.5fps : 1秒間に7.5枚の静止画を録画
 - 6fps : 1秒間に6枚の静止画を録画
 - 5fps : 1秒間に5枚の静止画を録画
 - 3fps : 1秒間に3枚の静止画を録画
 - 2fps : 1秒間に2枚の静止画を録画
 - 1fps : 1秒間に1枚の静止画を録画
 - 0.5fps : 2秒間で1枚の静止画を録画
 - 0.4fps : 2.5秒間で1枚の静止画を録画
 - 0.3fps : 約3.3秒間で1枚の静止画を録画
 - 0.2fps : 5秒間で1枚の静止画を録画
 - 0.1fps : 10秒間で1枚の静止画を録画



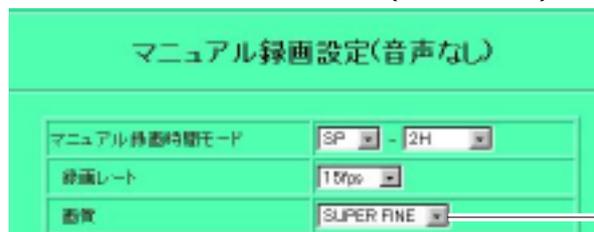
録画レート設定プルダウンリスト

メモ

- “30fps”は、共通設定画面のフィールド/フレーム設定が“FIELD”のときのみ設定可能です。
- “15fps”は、共通設定画面のフィールド/フレーム設定が“FIELD”と“FRAME 3DIM OFF”のときのみ設定可能です。

3. マニュアル録画時間モード(手順1)を“SP”に設定した場合、画質を設定します。

- プルダウンリストの中から選択してください。
 - SUPER FINE : 高精細(圧縮率1/6)
 - FINE : 高画質(圧縮率1/10)
 - NORMAL : 標準(圧縮率1/16)
 - EXTENDED : 長時間用(圧縮率1/25)



画質設定プルダウンリスト

(次ページへつづく)

4. アラーム録画時間モードを設定します。(初期設定値:SF-24H)

①画質設定プルダウンリストから画質を選択します。

- 設定内容は、マニュアル録画時間モードと同じです。(☞手順1参照)

②時間設定プルダウンリストから時間モードを選択します。

- 設定内容は、マニュアル録画時間モードと同じです。(☞手順1参照)



5. アラーム録画時間モード(手順4)を“SP”に設定した場合、録画レートを設定します。

- プルダウンリストの中から選択してください。設定内容は、マニュアル録画時間モードの録画レートと同じです。(☞手順2参照)



6. アラーム録画時間モード(手順4)を“SP”に設定した場合、画質を設定します。

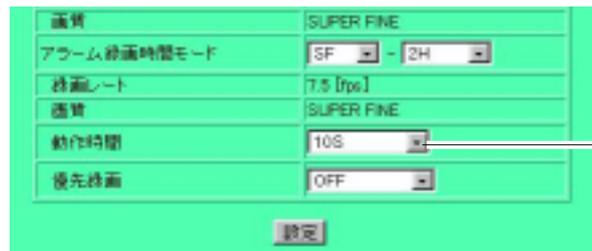
- プルダウンリストの中から選択してください。設定内容は、マニュアル録画時間モードの画質と同じです。(☞手順3参照)



7. 動作時間を設定します。(初期設定値: 10S)

- アラーム発生時の録画動作時間の設定です。
- プルダウンリストの中から選択してください。

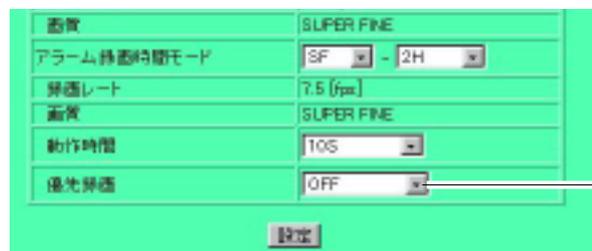
- OFF : アラーム録画しない
- 2S ~ 9S : 2秒 ~ 9秒間録画を行う
- 10S : 10秒間録画を行う
- 20S : 20秒間録画を行う
- 30S : 30秒間録画を行う
- 1M : 1分間録画を行う
- 1.5M : 1分30秒間録画を行う
- 2M : 2分間録画を行う
- 3M : 3分間録画を行う
- 6M : 6分間録画を行う
- MANUAL : デジタルディスクレコーダーのアラーム端子に信号が入力されている間だけ録画を行う
- CONTINUE : 録画停止ボタンを押すまで録画を行う



8. 優先録画を設定します。(初期設定値: OFF)

- アラーム発生時の録画方法の設定です。(45 下記動作イメージ参照)
- プルダウンリストの中から選択してください。

- OFF : 優先録画をしない
- ALM-PRI : アラームが発生したカメラの映像を繰り返し割り込ませて録画する
- ALM-ONLY : アラームが発生したカメラの映像のみを録画する

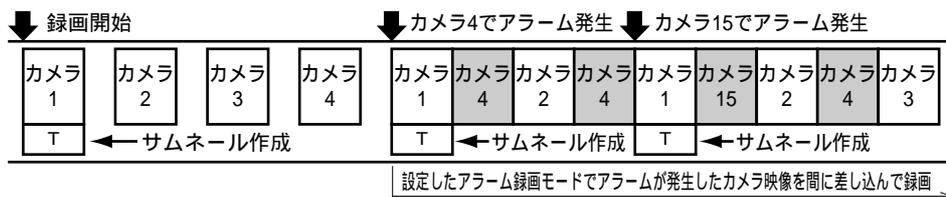


《設定が “ OFF ” 時の動作イメージ》

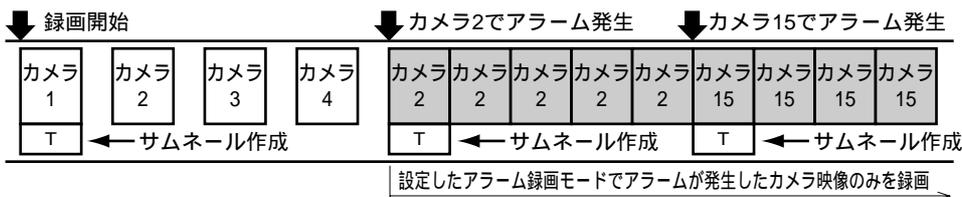


(次ページへつづく)

《設定が “ ALM-PRI ” 時の動作イメージ》



《設定が “ ALM-ONLY ” 時の動作イメージ》



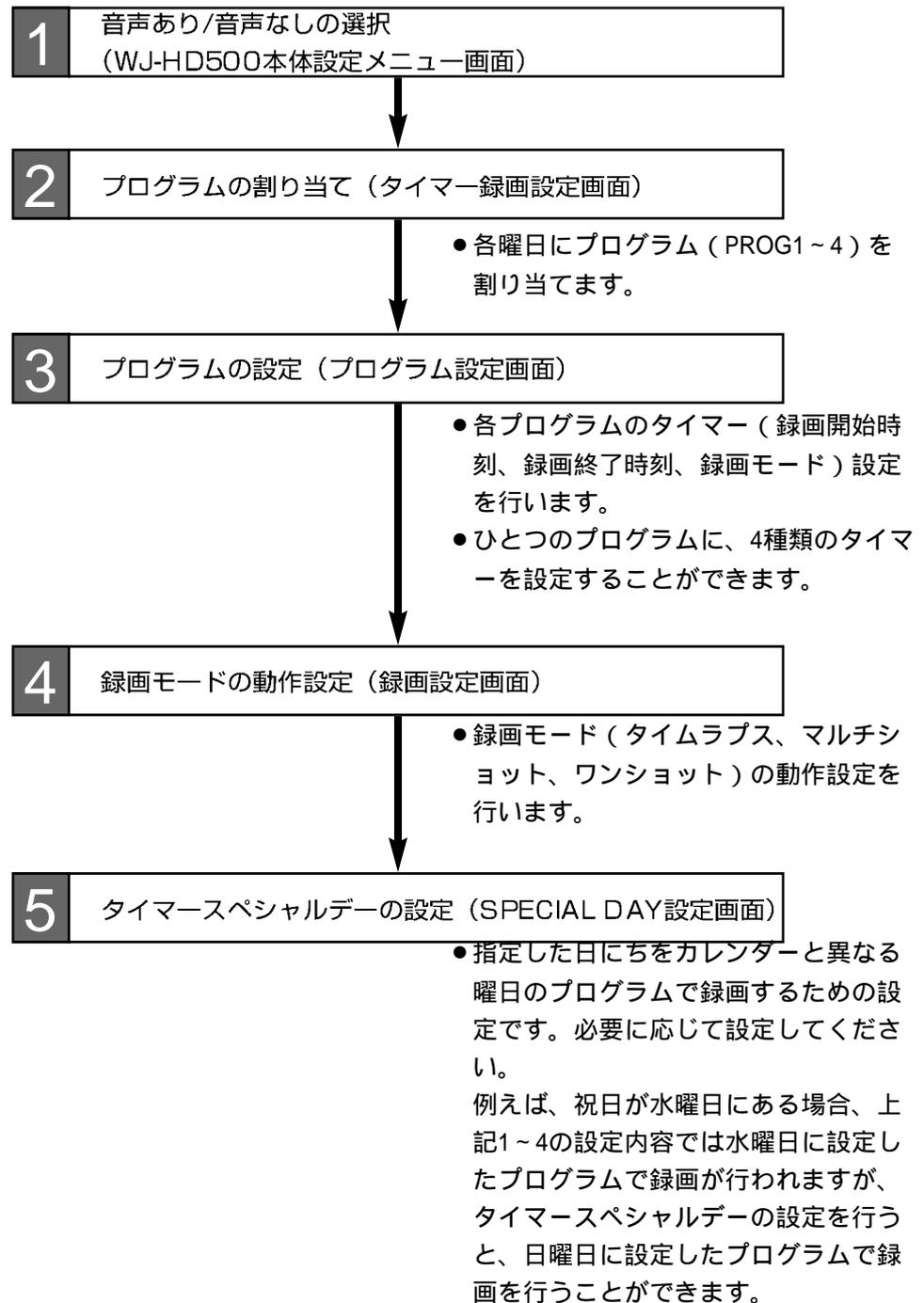
9. “ 設定 ” ボタンをクリックします。
 - デジタルディスクレコーダーの設定が、設定した内容に更新されます。



内部タイマー録画機能を設定する

内部タイマー録画とは、デジタルディスクレコーダーの内部タイマーを使用して、指定した曜日の指定した時刻に録画を自動で行う機能です。

内部タイマー録画機能には6種類の設定画面があり、他の操作と比べると設定操作が複雑になります。設定する順番とその内容は次のとおりです。



上記の順番に沿って、次ページから設定操作の説明を開始します。

1. 音声あり/音声なしの選択

録画時に音声を録音するかを選択します。この設定は、WJ-HD500本体設定メニュー画面で行います。

- 録画時に音声を録音するか選択します。(初期設定値: 音声なし)
 - プルダウンリストの中から選択してください。



タイマー録画設定画面へ

プルダウンリスト

- 画面上の“・タイマー録画”表示をクリックします。
下図は音声を録音しない場合です。音声を録音する場合は「音声あり」と表示されます(設定方法は同じです)。



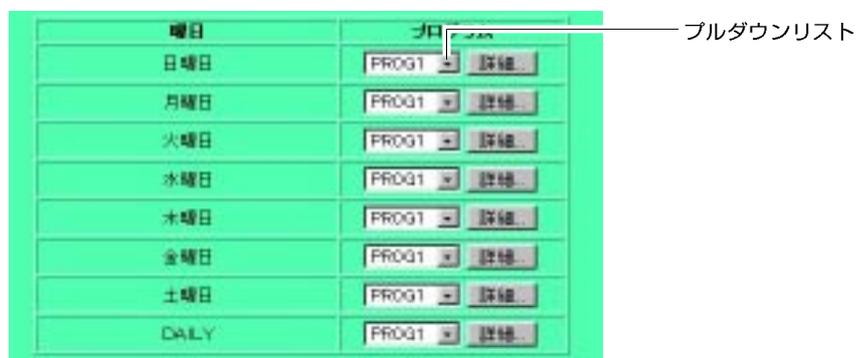
(次ページへつづく)

2. プログラムの割り当て

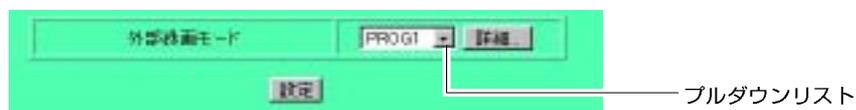
各曜日にプログラム（PROG1～4）を割り当てます。この設定は、タイマー録画設定画面で行います。

プログラムは4種類まで作成することができますので、使用（監視）環境を考えて、各曜日に割り当てることをおすすめします。プログラム内容の設定については、次の“プログラムの設定”で説明します。

- 各曜日にプログラム（PROG1、PROG2、PROG3、PROG4、 - - ）を割り当てます。
 - “DAILY”には、毎日動作させるプログラムを割り当てます。ただし、各曜日にプログラムを割り当てている場合、“DAILY”に割り当てたプログラムは動作しません。（各曜日のプログラムが優先されます。）
 - プログラムを設定しない曜日には、“ - - ”を割り当ててください。
 - プルダウンリストの中から選択してください。



- 外部録画モードにプログラム（PROG1、PROG2、PROG3、PROG4、 - - ）を割り当てます。
 - 外部録画モードとは、デジタルディスクレコーダーのアラーム端子に接続した外部スイッチからの操作でプログラムを切り換える機能です。外部スイッチを押すと、ここで割り当てたプログラムに切り換わります。
 - プルダウンリストの中から選択してください。



- “設定” ボタンをクリックします。
 - デジタルディスクレコーダーの設定が、設定した内容に更新されます。

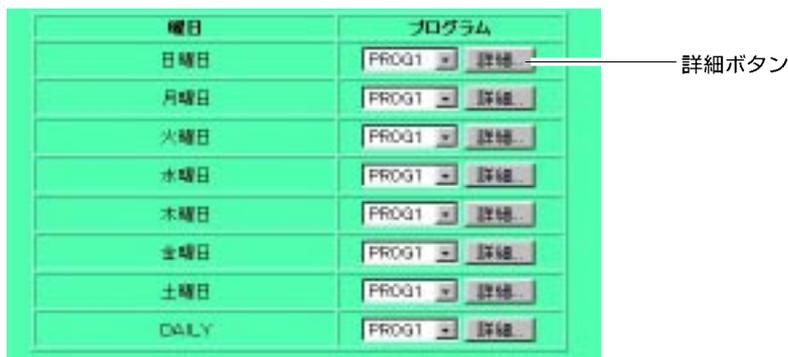


（次ページへつづく）

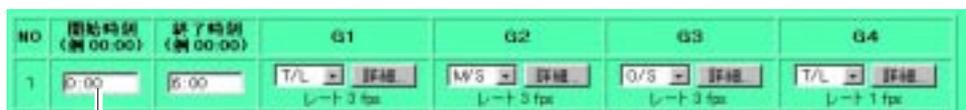
3.プログラムの設定

各プログラム（PROG1～4）のタイマー（録画開始時刻、録画終了時刻、録画モード）設定を行います。ひとつのプログラムには、4種類のタイマーを設定できます。この設定は、プログラム設定画面で行います。

1. タイマー録画設定画面上の“詳細”ボタンをクリックします。
 - プログラム設定画面が表示されます。



2. タイマー設定NO.1の録画開始時刻を入力します。
 - 開始時刻は、“00:00～23:59”の範囲で設定可能です。



録画開始時刻の入力欄

(次ページへつづく)

- タイマー設定NO.1の録画終了時刻を入力します。
 - 終了時刻は、“00:00～24:00”の範囲で設定可能です。
 - 録画終了時刻を“24:00”に設定すると、NO.2～NO.4のタイマー設定はできなくなります。

NO	開始時刻 (例 00:00)	終了時刻 (例 00:00)	G1	G2	G3	G4
1	0:00	5:00	T/L 録画 レート 3 fps	M/S 録画 レート 2 fps	O/S 録画 レート 3 fps	T/L 録画 レート 1 fps

録画終了時刻の入力欄

- グループ1 (G1)、グループ2 (G2)、グループ3 (G3)、グループ4 (G4) の録画モードを設定します。
 - グループとは、デジタルディスクレコーダーに接続されたカメラ (最大16台) を4つのグループに分けたもので、“共通機能を設定する” “グループ設定 (カメラ割当て)” で説明しています。
 - “音声あり” を選択している場合、グループ2, 3, 4は表示されません。
 - プルダウンリストの中から選択してください。
 - T/L : タイムラプス録画モードで録画する
 - M/S : マルチショット録画モードで録画する
 - O/S : ワンショット録画モードで録画する
 - - : 録画しない

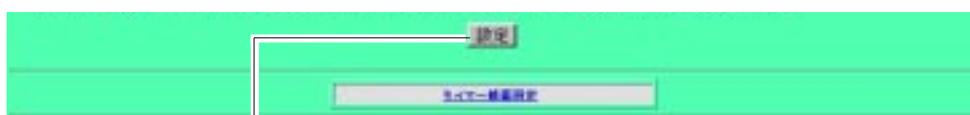
NO	開始時刻 (例 00:00)	終了時刻 (例 00:00)	G1	G2	G3	G4
1	0:00	5:00	T/L 録画 レート 3 fps	M/S 録画 レート 2 fps	O/S 録画 レート 3 fps	T/L 録画 レート 1 fps

録画モード設定プルダウンリスト

- 手順2、3、4の操作を繰り返し、NO.2～NO.4のタイマー設定を行います。

NO	開始時刻 (例 00:00)	終了時刻 (例 00:00)	G1	G2	G3	G4
1	0:00	5:00	T/L 録画 レート 3 fps	M/S 録画 レート 3 fps	O/S 録画 レート 3 fps	T/L 録画 レート 1 fps
2	5:00	12:00	T/L 録画 レート 3.5 fps	M/S 録画 レート 2 fps	O/S 録画 レート 6 fps	T/L 録画 レート 7.5 fps
3	12:00	18:00	T/L 録画 レート 0.4 fps	M/S 録画 レート 1 fps	O/S 録画 レート 1 fps	T/L 録画 レート 1 fps
4	18:00	24:00	T/L 録画 レート 1 fps	M/S 録画 レート 5 fps	O/S 録画 レート 7.5 fps	T/L 録画 レート 1 fps

- “設定” ボタンをクリックします。
 - デジタルディスクレコーダーの設定が、設定した内容に更新されます。



設定ボタン

(次ページへつづく)

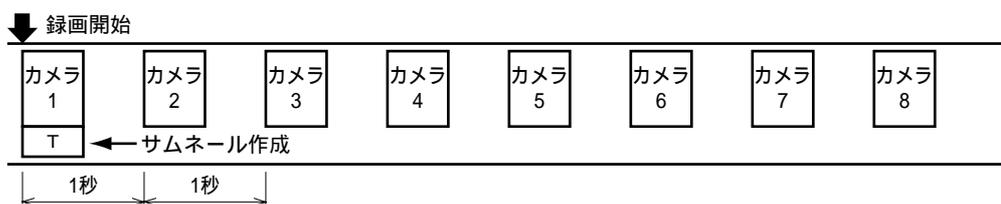
4.録画モードの動作設定

各録画モード（タイムラプス、マルチショット、ワンショット）の動作設定を行います。この設定は、録画設定画面で行います。

タイムラプス録画モードの動作設定

タイムラプス録画モードとは、設定内容に従って、複数の静止画像を連続で録画するモードです。

《動作イメージ（録画時間モードが“SP”で、録画レートの“1fps”の場合）》
1秒間隔で静止画像を録画します。



1. プログラム録画設定画面上の“詳細”ボタンをクリックします。
 - 録画設定画面が表示されます。
 - 下図は本体設定メニューで音声を録音しないを選択した場合です。音声を録音する場合は「音声あり」と表示されます（設定方法は同じです）。

NO	開始時刻 (例 00:00)	終了時刻 (例 00:00)	G1	G2	G3	G4
1	0:00	5:00	T/L 録録 レート 3 fps	M/S 録録 レート 3 fps	O/S 録録 レート 3 fps	T/L 録録 レート 1 fps

詳細ボタン



(次ページへつづく)

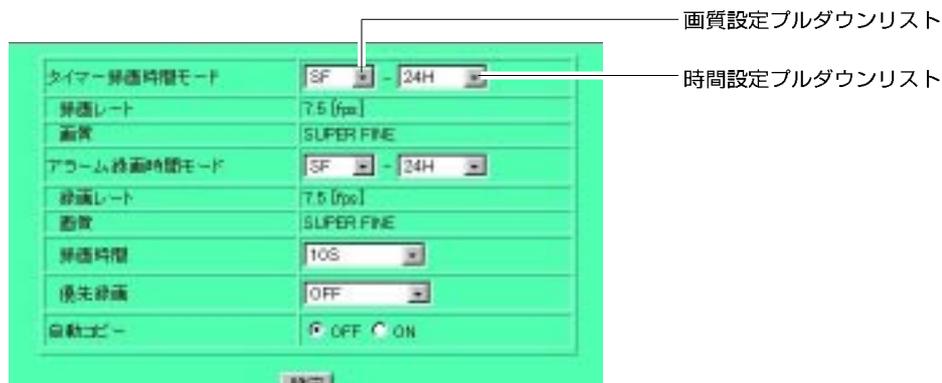
2. タイマー録画時間モードを設定します。(初期設定値:SF-24H)

①画質設定プルダウンリストから画質を選択します。

- SF : 高精細
- FQ : 高画質
- NQ : 標準
- EX : 長時間用
- SP : 録画時間を制限しない

②時間設定プルダウンリストから時間モードを選択します。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 2H : 2時間録画モード | 12H : 12時間録画モード |
| 18H : 18時間録画モード | 24H : 24時間録画モード |
| 48H : 48時間録画モード | 72H : 72時間録画モード |
| 96H : 96時間録画モード | 120H : 120時間録画モード |
| 180H : 180時間録画モード | 240H : 240時間録画モード |
| 360H : 360時間録画モード | 480H : 480時間録画モード |
| 720H : 720時間録画モード | 960H : 960時間録画モード |
| 1200H : 1200時間録画モード | 1440H : 1440時間録画モード |
| 2160H : 2160時間録画モード | 2880H : 2880時間録画モード |
| 3600H : 3600時間録画モード | 4320H : 4320時間録画モード |
| 6480H : 6480時間録画モード | 8640H : 8640時間録画モード |



メモ

アラーム録画時間モード(手順6)の設定方法および設定内容は、タイマー録画時間モードと同じです。手順6では、詳細説明を省略しています。

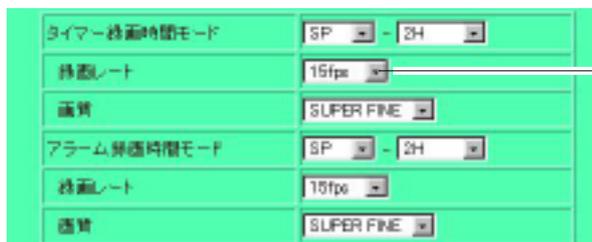
(次ページへつづく)

3. タイマー録画時間モード（手順3）を“SP”に設定した場合、録画レートを設定します。

●録画レートとは、カメラ映像を録画する間隔のことで、数値が高いほど、動画に近い状態で録画されます。

●プルダウンリストの中から選択してください。

- 60fps : 1秒間に60枚の静止画を録画
- 30fps : 1秒間に30枚の静止画を録画
- 15fps : 1秒間に15枚の静止画を録画
- 10fps : 1秒間に10枚の静止画を録画
- 7.5fps : 1秒間に7.5枚の静止画を録画
- 6fps : 1秒間に6枚の静止画を録画
- 5fps : 1秒間に5枚の静止画を録画
- 3fps : 1秒間に3枚の静止画を録画
- 2fps : 1秒間に2枚の静止画を録画
- 1fps : 1秒間に1枚の静止画を録画
- 0.5fps : 2秒間で1枚の静止画を録画
- 0.4fps : 2.5秒間で1枚の静止画を録画
- 0.3fps : 約3.3秒間で1枚の静止画を録画
- 0.2fps : 5秒間で1枚の静止画を録画
- 0.1fps : 10秒間で1枚の静止画を録画



録画レート設定プルダウンリスト

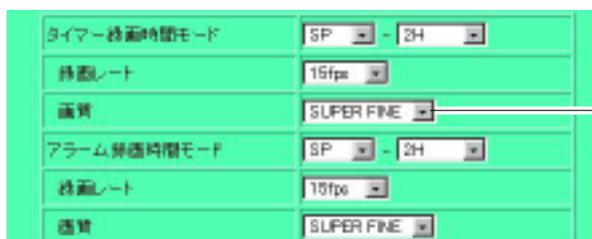
メモ

- “30fps” は、共通設定画面のフィールド/フレーム設定が“FIELD”のときのみ設定可能です。
- “15fps” は、共通設定画面のフィールド/フレーム設定が“FIELD”と“FRAME 3DIM OFF”のときのみ設定可能です。

4. タイマー録画時間モード（手順3）を“SP”に設定した場合、画質を設定します。

●プルダウンリストの中から選択してください。

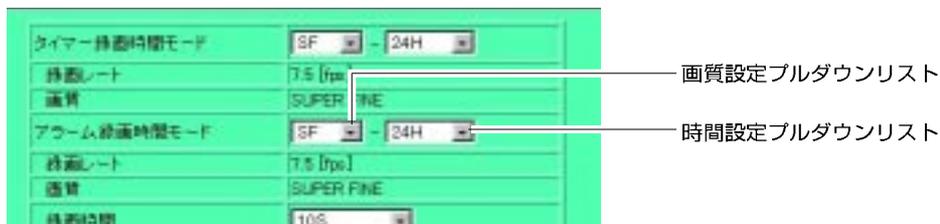
- SUPER FINE : 高精細（圧縮率1/6）
- FINE : 高画質（圧縮率1/10）
- NORMAL : 標準（圧縮率1/16）
- EXTENDED : 長時間用（圧縮率1/25）



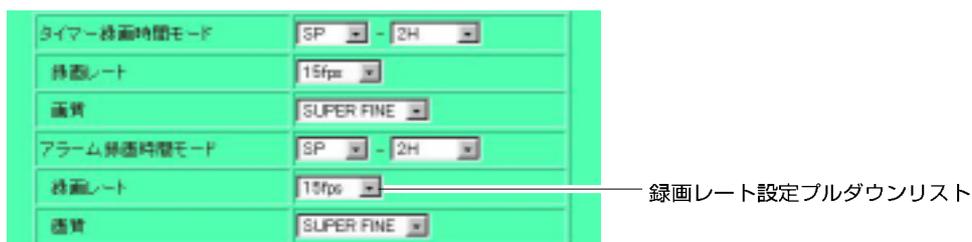
画質設定プルダウンリスト

（次ページへつづく）

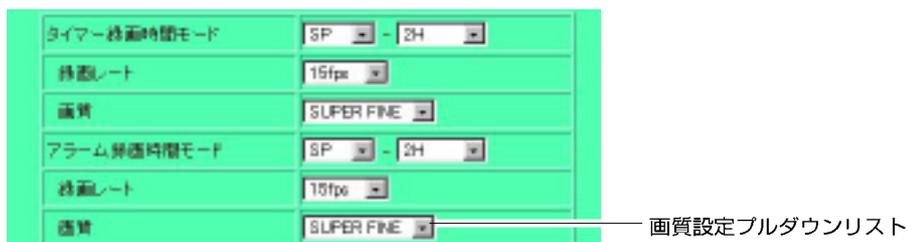
5. アラーム録画時間モードを設定します。(初期設定値:SF-24H)
- ①画質設定プルダウンリストから画質を選択します。
 - 設定内容は、タイマー録画時間モードと同じです。(☞ 手順3参照)
 - ②時間設定プルダウンリストから時間モードを選択します。
 - 設定内容は、タイマー録画時間モードと同じです。(☞ 手順3参照)



6. アラーム録画時間モード(手順6)を“SP”に設定した場合、録画レートを設定します。
- プルダウンリストの中から選択してください。設定内容は、タイマー録画時間モードの録画レートと同じです。(☞ 手順4参照)



7. アラーム録画時間モード(手順6)を“SP”に設定した場合、画質を設定します。
- プルダウンリストの中から選択してください。設定内容は、タイマー録画時間モードの画質と同じです。(☞ 手順5参照)



(次ページへつづく)

8. 録画時間を設定します。(初期設定値: 10S)

- アラーム発生時の録画動作時間の設定です。
- プルダウンリストの中から選択してください。

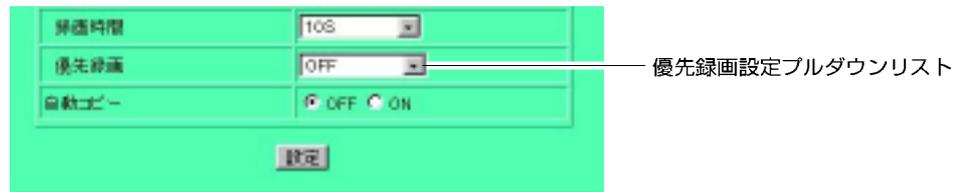
- OFF : アラーム録画しない
- 2S ~ 10S : 10秒間録画を行う
- 20S : 20秒間録画を行う
- 30S : 30秒間録画を行う
- 1M : 1分間録画を行う
- 1.5M : 1分30秒間録画を行う
- 2M : 2分間録画を行う
- 3M : 3分間録画を行う
- 6M : 6分間録画を行う
- MANUAL : デジタルディスクレコーダーのアラーム端子に信号が入力されている間だけ録画を行う
- CONTINUE : 録画停止ボタンを押すまで録画を行う



9. 優先録画を設定します。(初期設定値: OFF)

- アラーム発生時の録画方法の設定です。(📷 下記動作イメージ参照)
- プルダウンリストの中から選択してください。

- OFF : 優先録画をしない
- ALM-PRI : アラームが発生したカメラの映像を繰り返し割り込ませて録画する
- ALM-ONLY : アラームが発生したカメラの映像のみを録画する

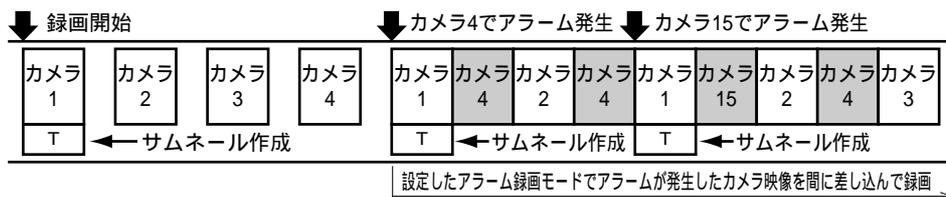


《設定が “ OFF ” 時の動作イメージ》

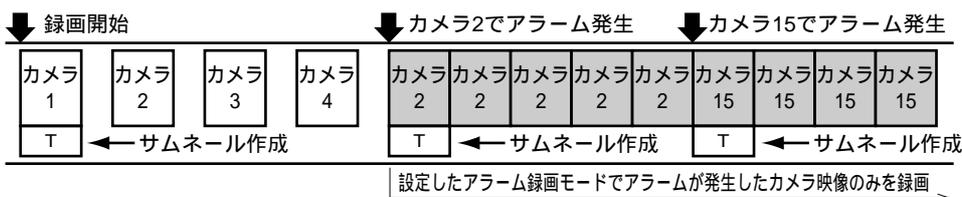


(次ページへつづく)

《設定が “ ALM-PRI ” 時の動作イメージ》



《設定が “ ALM-ONLY ” 時の動作イメージ》



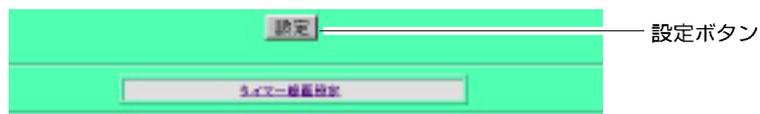
10. 自動コピーのON/OFFを設定します。(初期設定値：OFF)

- “ ON ” または “ OFF ” ラジオボタンをクリックしてください。
ON : 自動コピーする
OFF : 自動コピーしない



11. “ 設定 ” ボタンをクリックします。

- デジタルディスクレコーダーの設定が、設定した内容に更新されます。
マルチショット録画モードの動作設定に進んでください。



マルチショット録画モードの動作設定

マルチショット録画モードとは、外部からアラーム信号が入力されたときに、設定内容に従って設定した枚数（プレ録画枚数、ポスト録画枚数）の静止画像を連続で録画するモードです。

1. プログラム録画設定画面上の“詳細”ボタンをクリックします。
 - 録画設定画面が表示されます。
 - 下図は本体設定メニューで音声を録音しないを選択した場合です。
音声を録音する場合は「音声あり」と表示されます（設定方法は同じです）。

NO	開始時刻 (例 00:00)	終了時刻 (例 00:00)	G1	G2	G3	G4
1	7:00	8:00	T/L 詳細 レート 3 fps	M/S 詳細 レート 3 fps	O/S 詳細 レート 3 fps	T/L 詳細 レート 3 fps

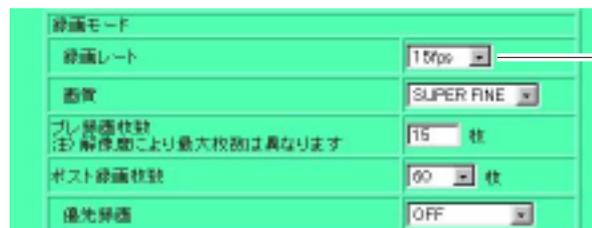
詳細ボタン



(次ページへつづく)

2. 録画レートを設定します。(初期設定値: 15fps)

- 録画レートとは、カメラ映像を録画する間隔のことで、数値が高いほど、動画に近い状態で録画されます。
- プルダウンリストの中から選択してください。
 - 60fps : 1秒間に60枚の静止画を録画
 - 30fps : 1秒間に30枚の静止画を録画
 - 15fps : 1秒間に15枚の静止画を録画
 - 10fps : 1秒間に10枚の静止画を録画
 - 7.5fps : 1秒間に7.5枚の静止画を録画
 - 6fps : 1秒間に6枚の静止画を録画
 - 5fps : 1秒間に5枚の静止画を録画
 - 3fps : 1秒間に3枚の静止画を録画
 - 2fps : 1秒間に2枚の静止画を録画
 - 1fps : 1秒間に1枚の静止画を録画
 - 0.5fps : 2秒間で1枚の静止画を録画
 - 0.4fps : 2.5秒間で1枚の静止画を録画
 - 0.3fps : 約3.3秒間で1枚の静止画を録画
 - 0.2fps : 5秒間で1枚の静止画を録画
 - 0.1fps : 10秒間で1枚の静止画を録画



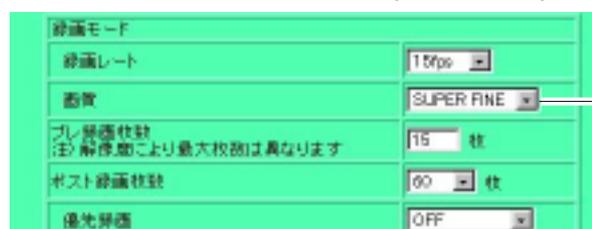
プルダウンリスト

メモ

- “30fps” は、共通設定画面のフィールド/フレーム設定が“FIELD” のときのみ設定可能です。
- “15fps” は、共通設定画面のフィールド/フレーム設定が“FIELD” と “FRAME 3DIM OFF” のときのみ設定可能です。

3. 画質を設定します。(初期設定値: SUPER FINE)

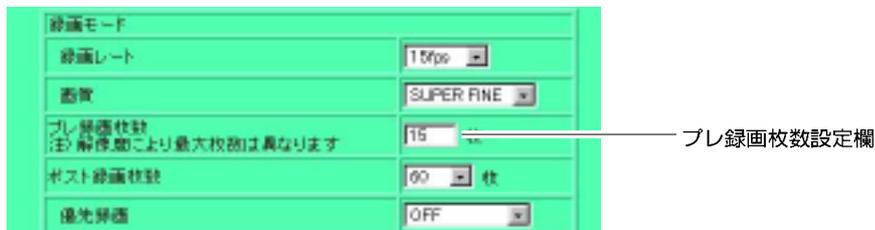
- プルダウンリストの中から選択してください。
 - SUPER FINE : 高精細 (圧縮率1/6)
 - FINE : 高画質 (圧縮率1/10)
 - NORMAL : 標準 (圧縮率1/16)
 - EXTENDED : 長時間用 (圧縮率1/25)



プルダウンリスト

(次ページへつづく)

4. プレ録画枚数を設定します。(初期設定値: 15)
- プレ録画枚数とは、アラーム発生時からさかのぼって録画する静止画の枚数です。
 - プルダウンリストの中から選択してください。
最大枚数は、画質やフィールド/フレーム設定により決まります。



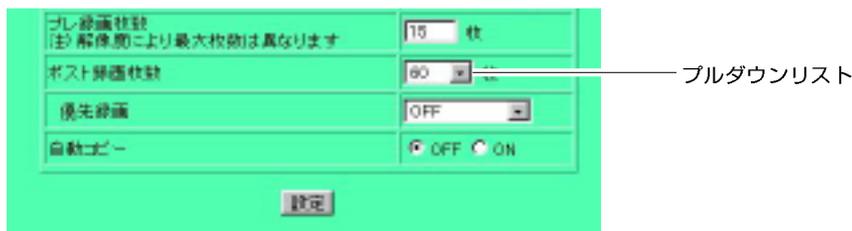
《プレ録画の最大枚数（解像度がFRAME 3DIM ON / OFFの場合）》

[画質]	[カラーモード]		
	COLOR FINE	COLOR STD	B/W
SUPER FINE	26	35	51
FINE	44	57	83
NORMAL	68	93	136
EXTENDED	107	136	187

《プレ録画の最大枚数（解像度がFIELDの場合）》

[画質]	[カラーモード]		
	COLOR FINE	COLOR STD	B/W
SUPER FINE	51	68	100
FINE	83	115	166
NORMAL	136	166	250
EXTENDED	187	250	375

5. ポスト録画枚数を設定します。(初期設定値: 60)
- ポスト録画枚数とは、アラーム発生時に録画する静止画の枚数です。
 - プルダウンリストの中から選択してください。
設定内容はプレ録画枚数と同じですが、最大枚数は200枚です。

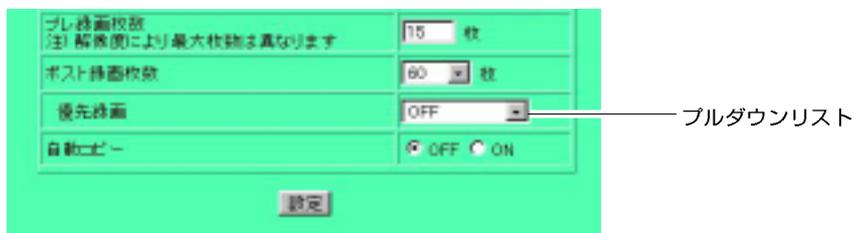


6. 優先録画を設定します。(初期設定値: OFF)

- プルダウンリストの中から選択してください。

OFF : 優先録画をしない

ALM-ONLY : アラームが発生したカメラの映像のみを録画する



《設定が“OFF”時の動作イメージ》



《設定が“ALM-ONLY”時の動作イメージ》



7. 自動コピーのON/OFFを設定します。(初期設定値: OFF)

- “ON”または“OFF”ラジオボタンをクリックしてください。

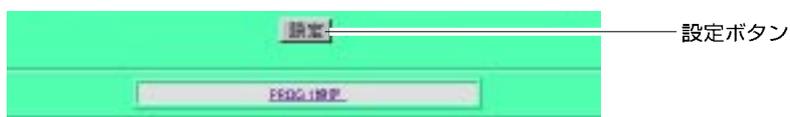
ON : 自動コピーする

OFF : 自動コピーしない



8. “設定” ボタンをクリックします。

- デジタルディスクレコーダーの設定が、設定した内容に更新されます。ワンショット録画モードの動作設定に進んでください。

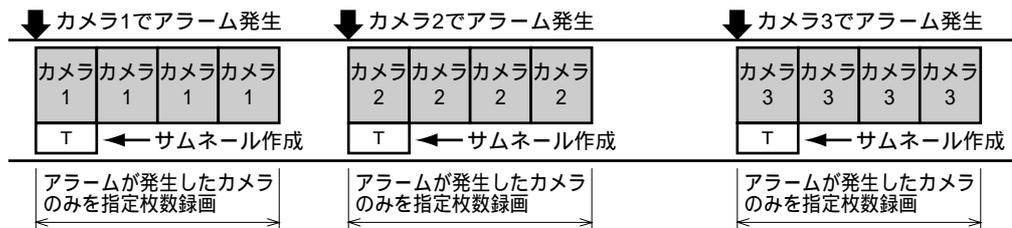


ワンショット録画モードの動作設定

ワンショット録画モードとは、外部からアラーム信号が入力されたときに、設定内容に従って、複数の静止画像を録画するモードです。

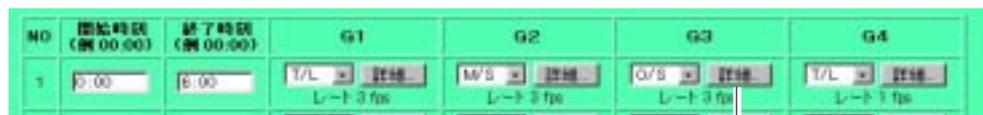
アラーム発生時、発生した瞬間からの映像を、ある枚数だけ連続写真のように録画したいときは、このモードを使用します。

《動作イメージ》



1. プログラム録画設定画面上の“詳細”ボタンをクリックします。

- 録画設定画面が表示されます。
- 下図は本体設定メニューで音声を録音しないを選択した場合です。
音声を録音する場合は「音声あり」と表示されます（設定方法は同じです）。



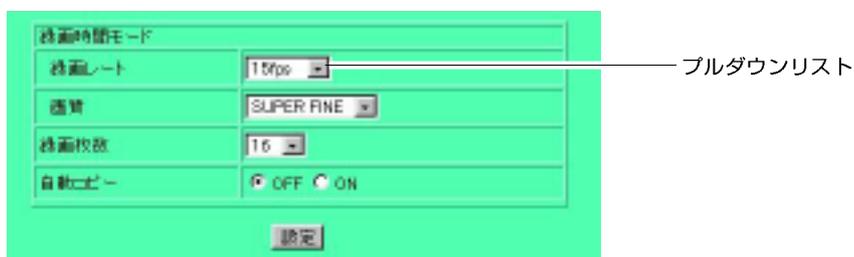
詳細ボタン



(次ページへつづく)

2. 録画レートを設定します。(初期設定値: 15fps)

- 録画レートとは、カメラ映像を録画する間隔のことで、数値が高いほど、動画に近い状態で録画されます。
- プルダウンリストの中から選択してください。
 - 60fps : 1秒間に30枚の静止画を録画
 - 30fps : 1秒間に30枚の静止画を録画
 - 15fps : 1秒間に15枚の静止画を録画
 - 10fps : 1秒間に10枚の静止画を録画
 - 7.5fps : 1秒間に7.5枚の静止画を録画
 - 6fps : 1秒間に6枚の静止画を録画
 - 5FPS : 1秒間に5枚の静止画を録画
 - 3FPS : 1秒間に3枚の静止画を録画
 - 2FPS : 1秒間に2枚の静止画を録画
 - 1FPS : 1秒間に1枚の静止画を録画

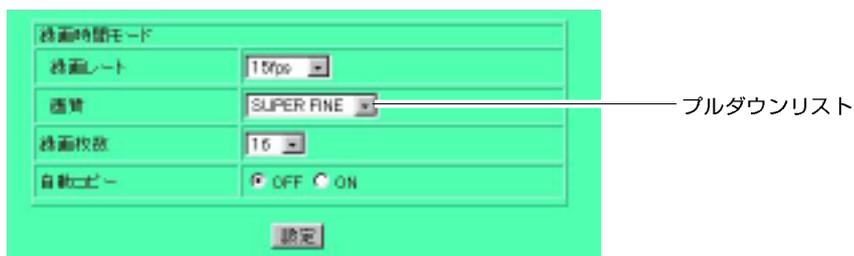


メモ

- “30fps” は、共通設定画面のフィールド/フレーム設定が “FIELD” のときのみ設定可能です。
- “15fps” は、共通設定画面のフィールド/フレーム設定が “FIELD” と “FRAME 3DIM OFF” のときのみ設定可能です。

3. 画質を設定します。(初期設定値: SUPER FINE)

- プルダウンリストの中から選択してください。
 - SUPER FINE : 高精細 (圧縮率1/6)
 - FINE : 高画質 (圧縮率1/10)
 - NORMAL : 標準 (圧縮率1/16)
 - EXTENDED : 長時間用 (圧縮率1/25)

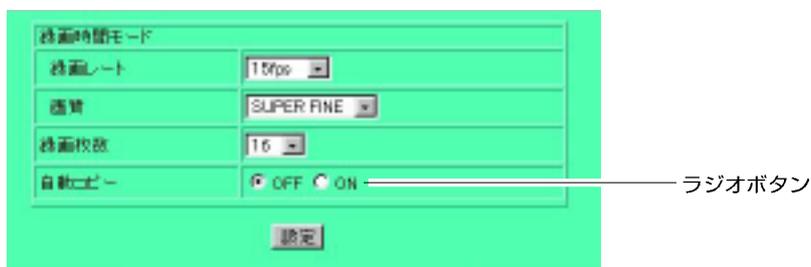


(次ページへつづく)

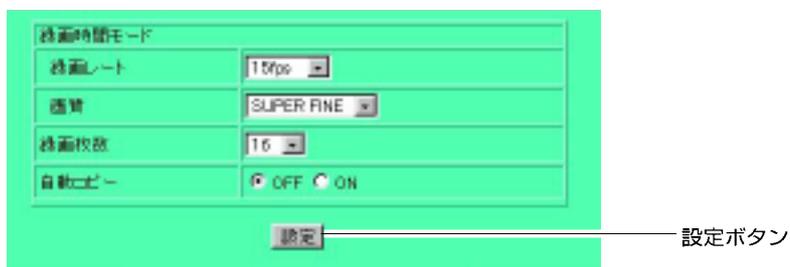
4. 録画枚数を設定します。(初期設定値:16)
- 録画枚数とは、アラーム発生時に録画する静止画の枚数です。
 - プルダウンリストの中から選択してください。
- 最大枚数は、画質やフィールド/フレーム設定により決まります。
- | | |
|------|----------------|
| 4~20 | : 4~20枚の静止画を録画 |
| 30 | : 30枚の静止画を録画 |
| 40 | : 40枚の静止画を録画 |
| 50 | : 50枚の静止画を録画 |
| 60 | : 60枚の静止画を録画 |



7. 自動コピーのON/OFFを設定します。(初期設定値:OFF)
- “ON”または“OFF”ラジオボタンをクリックしてください。
- | | |
|-----|------------|
| ON | : 自動コピーする |
| OFF | : 自動コピーしない |



5. “設定”ボタンをクリックします。
- デジタルディスクレコーダーの設定が、設定した内容に更新されます。



5. タイマースペシャルデーの動作設定

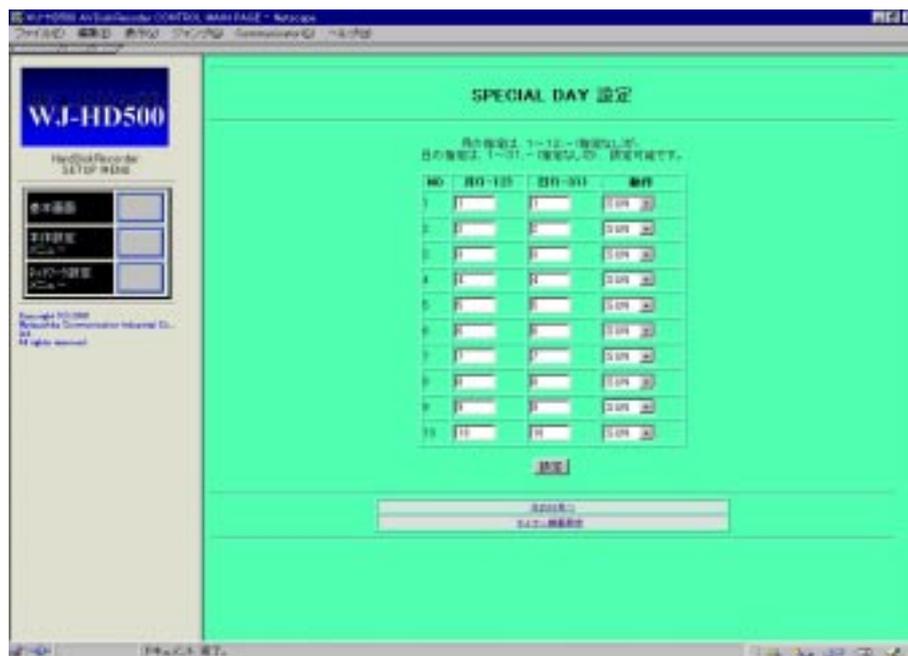
指定した日にちをカレンダーと異なる曜日のプログラムで動作（録画）させる設定です。必要に応じて設定してください。（最大30件）

例えば、祝日が水曜日にある場合、通常の設定では水曜日に設定したプログラムで録画が行われますが、タイマースペシャルデーの設定により、この祝日を日曜日のプログラムで録画することが可能となります。

1. タイマー録画設定画面下部の“タイマースペシャルデー設定”表示をクリックします。
 - SPECIAL DAY設定画面が表示されます。



SPECIAL DAY設定画面へ

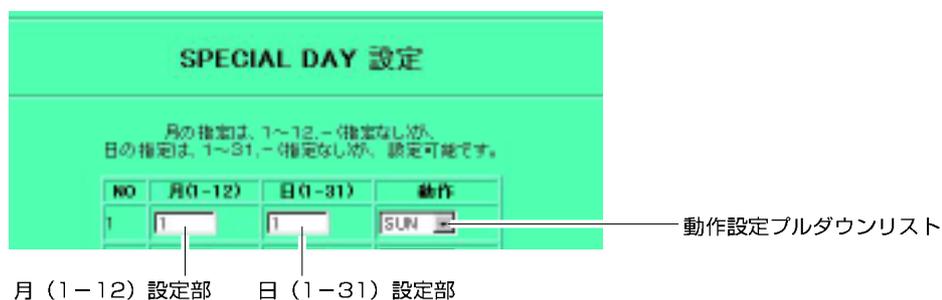


(次ページへつづく)

2. 画面上の“ NO.1 ” 設定部から順番に、日付と動作の設定を行います。

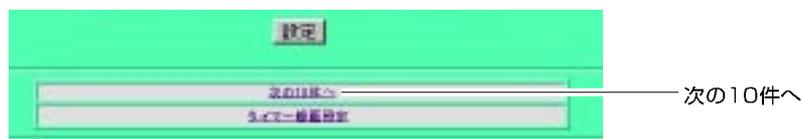
- ①月（1 - 12）を入力します。
- ②日（1 - 31）を入力します。
- ③動作をプルダウンリストから選択します。

SUN : 日曜日に設定したプログラムで録画
 MON : 月曜日に設定したプログラムで録画
 TUE : 火曜日に設定したプログラムで録画
 WED : 水曜日に設定したプログラムで録画
 THU : 木曜日に設定したプログラムで録画
 FRI : 金曜日に設定したプログラムで録画
 SAT : 土曜日に設定したプログラムで録画



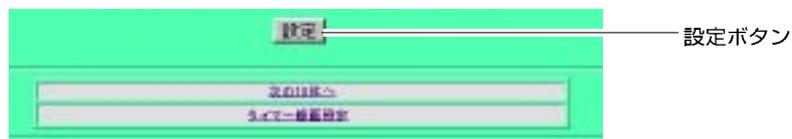
3. 続けて設定するとき、手順2の操作を繰り返し行います。

- NO.10以降の設定は、画面下部の“ 次の10件へ ” 表示をクリックしてください。
 NO.11～20までの設定部が表示されます。（設定部はNO.30まであります）



4. “ 設定 ” ボタンをクリックします。

- デジタルディスクレコーダーの設定が、設定した内容に更新されます。



緊急録画機能を設定する

緊急録画とは、緊急事態が発生したときに、外部に設置したスイッチなどの操作で録画モードを切り換えて、緊急事態を鮮明に録画するものです。従って、どの録画方法よりも優先して動作し、16chすべてのカメラ映像を録画します。

例えば、足元や監視ルームにスイッチを設置しておく、強盗事件などが発生したときにスイッチを押すことで、設定内容に従って録画を行います。

WJ-HD500本体設定メニュー画面上的設定

- 録画時に音声を録音するか選択します。(初期設定値: 音声なし)
 - プルダウンリストの中から選択してください。



緊急録画設定画面へ

プルダウンリスト

- 画面上の“・緊急録画”表示をクリックします。
 - 緊急録画設定画面が表示されます。
 - 下図は本体設定メニューで音声を録音しないを選択した場合です。
音声を録音する場合は「音声あり」と表示されます(設定方法は同じです)。



(次ページへつづく)

3. マニュアル録画時間モードを設定します。(初期設定値:SF-24H)

①画質設定プルダウンリストから画質を選択します。

- SF : 高精細
- FQ : 高画質
- NQ : 標準
- EX : 長時間用
- SP : 録画時間を制限しない

②時間設定プルダウンリストから時間モードを選択します。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 2H : 2時間録画モード | 12H : 12時間録画モード |
| 18H : 18時間録画モード | 24H : 24時間録画モード |
| 48H : 48時間録画モード | 72H : 72時間録画モード |
| 96H : 96時間録画モード | 120H : 120時間録画モード |
| 180H : 180時間録画モード | 240H : 240時間録画モード |
| 360H : 360時間録画モード | 480H : 480時間録画モード |
| 720H : 720時間録画モード | 960H : 960時間録画モード |
| 1200H : 1200時間録画モード | 1440H : 1440時間録画モード |
| 2160H : 2160時間録画モード | 2880H : 2880時間録画モード |
| 3600H : 3600時間録画モード | 4320H : 4320時間録画モード |
| 6480H : 6480時間録画モード | 8640H : 8640時間録画モード |



(次ページへつづく)

4. マニュアル録画時間モード（手順3）を“SP”に設定した場合、録画レートを設定します。

- 録画レートとは、カメラ映像を録画する間隔のことで、数値が高いほど、動画に近い状態で録画されます。
- プルダウンリストの中から選択してください。
 - 60fps : 1秒間に30枚の静止画を録画
 - 30fps : 1秒間に30枚の静止画を録画
 - 15fps : 1秒間に15枚の静止画を録画
 - 10fps : 1秒間に10枚の静止画を録画
 - 7.5fps : 1秒間に7.5枚の静止画を録画
 - 6fps : 1秒間に6枚の静止画を録画
 - 5FPS : 1秒間に5枚の静止画を録画
 - 3FPS : 1秒間に3枚の静止画を録画
 - 2FPS : 1秒間に2枚の静止画を録画
 - 1FPS : 1秒間に1枚の静止画を録画
 - 0.5FPS : 2秒間で1枚の静止画を録画
 - 0.4FPS : 2.5秒間で1枚の静止画を録画
 - 0.3FPS : 約3.3秒間で1枚の静止画を録画
 - 0.2FPS : 5秒間で1枚の静止画を録画
 - 0.1FPS : 10秒間で1枚の静止画を録画



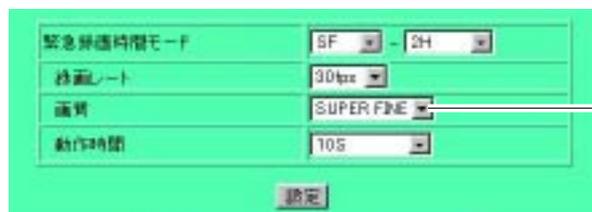
録画レート設定プルダウンリスト

メモ

- “30fps”は、共通設定画面のフィールド/フレーム設定が“FIELD”のときのみ設定可能です。
- “15fps”は、共通設定画面のフィールド/フレーム設定が“FIELD”と“FRAME 3DIM OFF”のときのみ設定可能です。

5. マニュアル録画時間モード（手順3）を“SP”に設定した場合、画質を設定します。

- プルダウンリストの中から選択してください。
 - SUPER FINE : 高精細（圧縮率1/6）
 - FINE : 高画質（圧縮率1/10）
 - NORMAL : 標準（圧縮率1/16）
 - EXTENDED : 長時間用（圧縮率1/25）



画質設定プルダウンリスト

（次ページへつづく）

6. 動作時間を設定します。(初期設定値: 10S)
- プルダウンリストの中から選択してください。
 - 2S ~ 10S : 設定した秒の間録画を行う
 - 20S : 20秒間録画を行う
 - 30S : 30秒間録画を行う
 - 1M : 1分間録画を行う
 - 1.5M : 1分30秒間録画を行う
 - 2M : 2分間録画を行う
 - 3M : 3分間録画を行う
 - 6M : 6分間録画を行う
 - MANUAL : 制御入力/出力端子へ信号が入力されている間だけ録画を行う
 - CONTINUE : 録画停止ボタンを押すまで録画を行う



7. “設定” ボタンをクリックします。
- デジタルディスクレコーダーの設定が、設定した内容に更新されます。

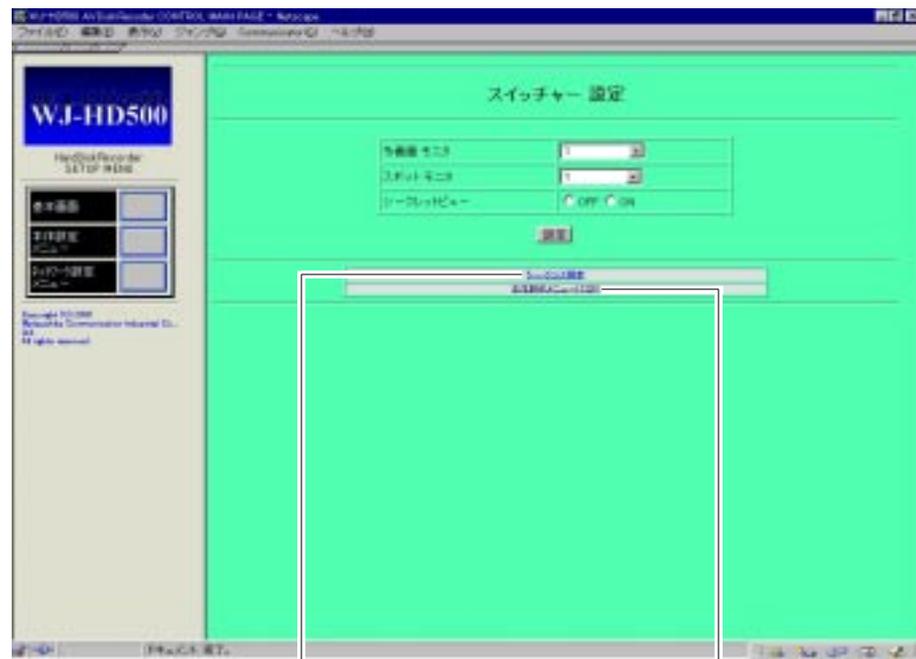


スイッチャー機能を設定する

カメラ映像の表示方法（多画面モニターの動作設定、スポットモニターの動作設定、シーケンス設定）を設定します。

スイッチャー機能の設定画面には、“スイッチャー設定画面”と“シーケンス設定画面”があり、最初に表示される画面が“スイッチャー設定画面”です。

《スイッチャー設定画面》



シーケンス設定画面へ

WJ-HD500本体設定メニュー画面へ戻る

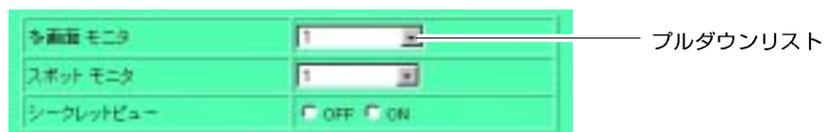
スイッチャー設定

多画面モニター・スポットモニターへの表示方法とシークレットビュー機能の設定を行います。

1. 多画面モニターへの表示方法を設定します。(初期設定値: QUAD-4A)

- プルダウンリストの中から選択してください。

1~16	: カメラ1~16をスポット表示
SPOT SEQ	: カメラ1~16を1画面シーケンス表示
QUAD-4A~4D	: 多画面モニター4画送り設定画面 (79ページ) で設定した4画面をシーケンス表示
QUAD SEQ	: 4画面シーケンス表示
7SCREEN	: 7画面スポット表示
9SCREEN	: 9画面スポット表示
10SCREEN	: 10画面スポット表示
13SCREEN	: 13画面スポット表示
16SCREEN	: 16画面スポット表示



2. スポットモニターへの表示方法を設定します。(初期設定値: 1)

- プルダウンリストの中から選択してください。

1~16	: カメラ1~16をスポット表示
SPOT SEQ	: カメラ1~16を1画面シーケンス表示



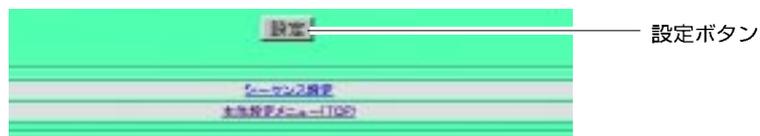
3. シークレットビュー機能のON/OFFを設定します。(初期設定値: OFF)

- シークレットビュー機能とは、スポットモニターに1画面表示したカメラ映像を、多画面モニターのシーケンス表示から外す(スキップする)機能です。
- “ON”または“OFF”ラジオボタンをクリックしてください。



(次ページへつづく)

4. “設定” ボタンをクリックします。
 - デジタルディスクレコーダーの設定が、設定した内容に更新されます。
 - シーケンス設定を行うときは、画面下部の“シーケンス設定”表示をクリックしてください。シーケンス設定画面が表示されます。



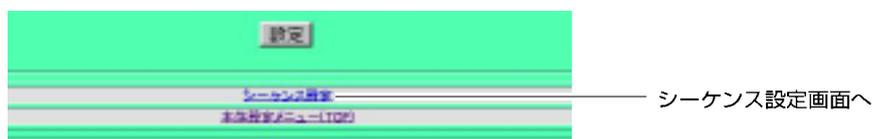
シーケンス設定

シーケンス設定とは、カメラ映像の表示を自動的に切り換えるための設定です。シーケンスの設定画面には、“シーケンス設定画面”“多画面ライブシーケンス設定画面”“多画面モニタ4画送り設定画面”“スポットライブシーケンス設定画面”の4種類があり、最初に表示される画面が“シーケンス設定画面”です。

シーケンス設定画面上の設定

シーケンス表示の動作設定を行います。

1. スイッチャー設定画面下部の“シーケンス設定”表示をクリックします。
 - シーケンス設定画面が表示されます。

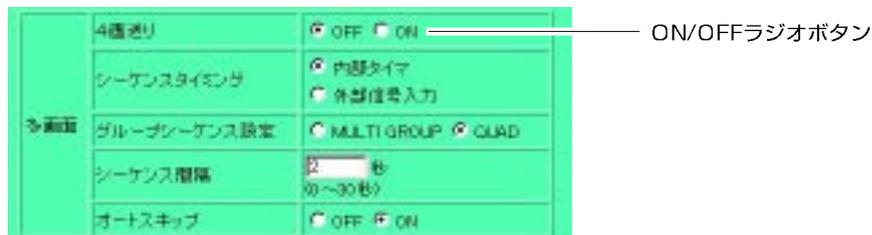


(次ページへつづく)

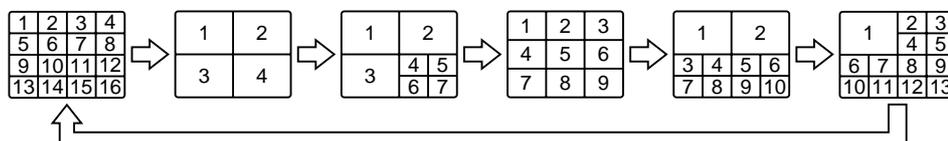
2. 多画面モニターへのシーケンス表示動作を設定します。

①4画送り表示のON/OFFを設定します。(初期設定値: OFF)

- “ON” または “OFF” ラジオボタンをクリックしてください。

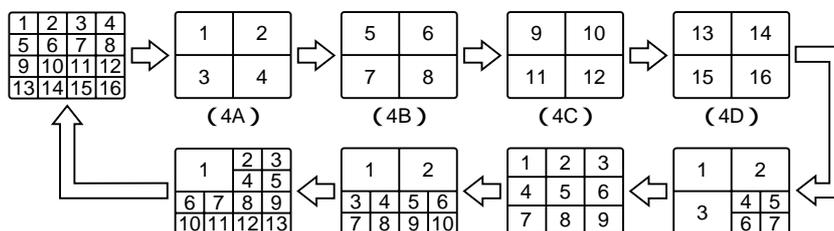


《設定が “ON” 時の動作イメージ》



《設定が “OFF” 時の動作イメージ》

4A、4B、4C、4D画面とは、多画面モニター4画送り設定画面 (79ページ) で設定した4画面のことです。



②シーケンスタイミングを設定します。(初期設定値: 内部タイマ)

- シーケンスタイミングとは、映像の切換方法のことです。
- “内部タイマ” または “外部信号入力” ラジオボタンをクリックしてください。

内部タイマ : 多画面ライブシーケンス設定画面で設定した内容で映像を切り換える (77ページ)

外部信号入力 : アラーム端子 “シーケンス切換入力” への信号入力映像を切り換える



(次ページへつづく)

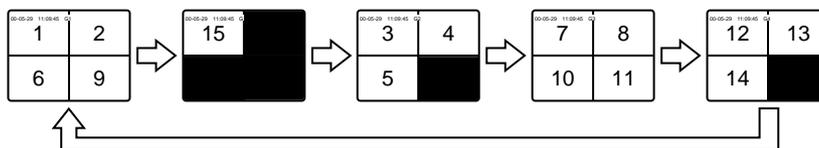
③グループシーケンス設定を行います。(初期設定値: QUAD)

- グループシーケンス設定とは、グループ1~4に割り当てられているカメラ映像をグループごとに多画面シーケンス表示するときの動作設定です。
- “QUAD”または“MULTI GROUP”ラジオボタンをクリックしてください。

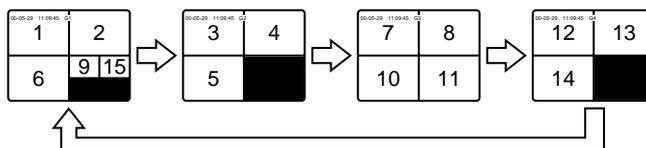
QUAD : 4画面でシーケンス表示する
MULTI GROUP : 最小分割数でシーケンス表示する



《設定が“QUAD”時の動作イメージ》

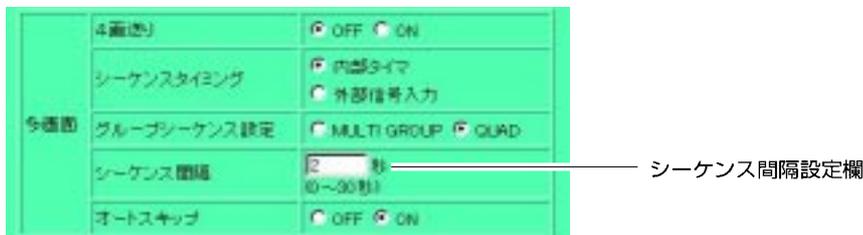


《設定が“MULTI GROUP”時の動作イメージ》



④シーケンス間隔を設定します。(初期設定値: 2秒)

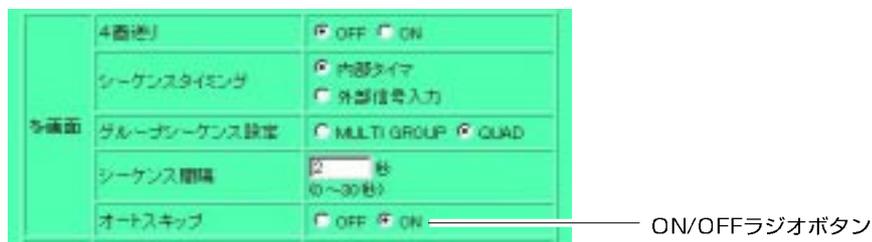
- グループ1画面、多画面シーケンス表示の映像表示間隔の設定です。
- 設定欄に1~30秒の範囲で入力してください。



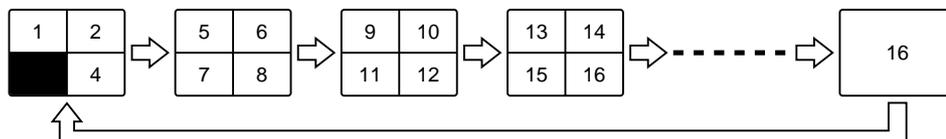
(次ページへつづく)

⑤ オートスキップのON/OFFを設定します。(初期設定値: ON)

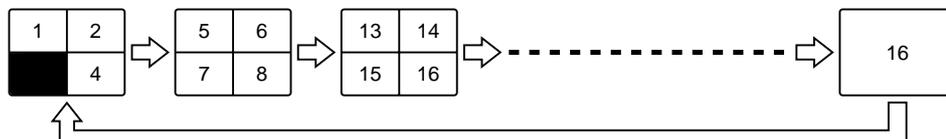
- オートスキップ機能とは、映像入力のないステップを自動的にスキップ(飛びこす)してシーケンス表示することです。
- “ON” または “OFF” ラジオボタンをクリックしてください。



《設定が “ OFF ” 時の動作イメージ》
チャンネル3に映像入力がない場合



《設定が “ ON ” 時の動作イメージ》
チャンネル3と9, 10, 11, 12に映像入力がない場合

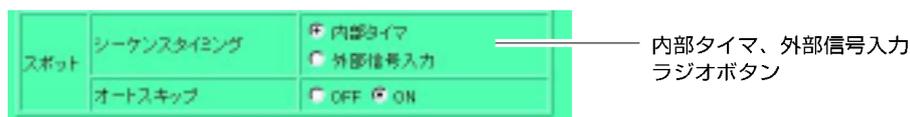


3. スポットモニターへのシーケンス表示動作を設定します。

① シーケンスタイミングを設定します。(初期設定値: 内部タイマ)

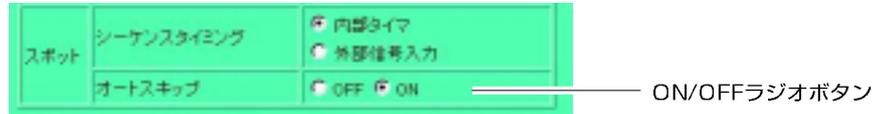
- シーケンスタイミングとは、映像の切替方法のことです。
- “内部タイマ” または “外部信号入力” ラジオボタンをクリックしてください。

内部タイマ : 多画面ライブシーケンス設定画面で設定した内容で映像を切り換える (77ページ)
外部信号入力 : アラーム端子 “シーケンス切替入力” への信号入力で映像を切り換える

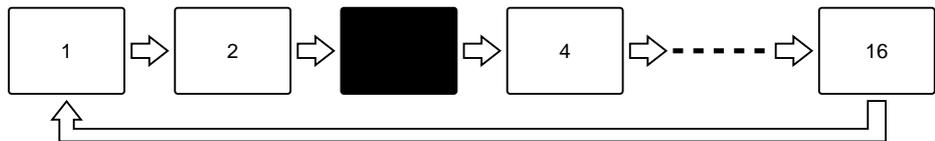


②オートスキップのON/OFFを設定します。(初期設定値: ON)

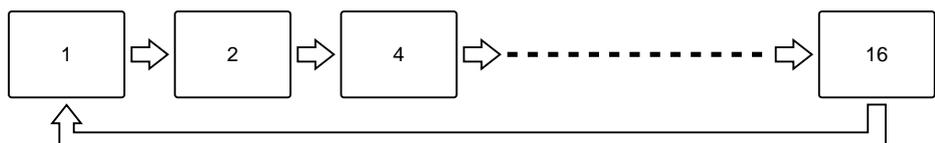
- オートスキップ機能とは、映像入力のないステップを自動的にスキップ(飛びこす)してシーケンス表示することです。
- “ON” または “OFF” ラジオボタンをクリックしてください。



《設定が “ OFF ” 時の動作イメージ》
 ステップの3番目に映像入力がない場合



《設定が “ ON ” 時の動作イメージ》
 ステップの3番目に映像入力がない場合



4. “設定” ボタンをクリックします。
- デジタルディスクレコーダーの設定が、設定した内容に更新されます。

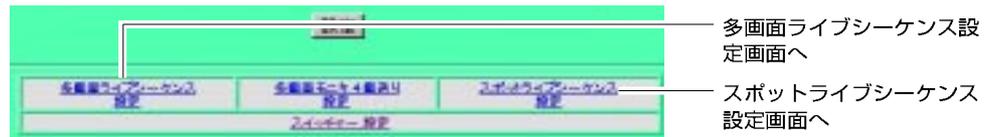


(次ページへつづく)

多画面ライブシーケンス設定画面、スポットライブシーケンス設定画面上の設定
 シーケンス表示の順番や映像の切換間隔を設定します。

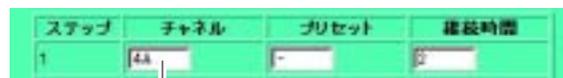
多画面ライブシーケンス設定画面とスポットライブシーケンス設定画面は、設定内容
 が同じですので、まとめて説明します。

1. シーケンス設定画面下部の“多画面ライブシーケンス設定”または“スポットラ
 イブシーケンス設定”表示をクリックします。
 - 設定画面が表示されます。



2. ステップ1から順番に、“チャンネル”“プリセット”“継続時間”を設定します。
 - ①チャンネルを設定します。

- チャンネルとは、そのステップで表示するカメラ映像の設定です。
 - - : なし（このステップをスキップします）
 - 1～16 : カメラ1～16のカメラ映像を表示する
 - 4A～4D : 多画面モニター4画送り設定画面（79ページ）で設定した4画
 面を表示する（多画面ライブシーケンス設定画面のみ）



チャンネル設定欄

（次ページへつづく）

②プリセットを設定します。(PS・Dataモード使用時のみ有効な設定です)

- プリセットとは、当社製コンビネーションカメラで設定するプリセットポジション(カメラの向き)のことです。プリセットが設定されているステップでは、カメラの向きをそのプリセットポジションに移動して表示します。

- - : プリセットなし

1~64 : プリセット番号1~64のプリセットポジションにカメラの向きを合わせる

ステップ	チャンネル	プリセット	継続時間
1	4A	-	0

プリセット設定欄

③継続時間を設定します。

- 映像を表示する時間(映像を切り換える間隔)の設定です。

0~30 : 0秒~30秒

ステップ	チャンネル	プリセット	継続時間
1	4A	-	0

継続時間設定欄

- 手順2(①, ②, ③)の操作を繰り返し、すべてのステップ(1~16)を設定します。
- “設定”ボタンをクリックします。
 - デジタルディスクレコーダーの設定が、設定した内容に更新されます。



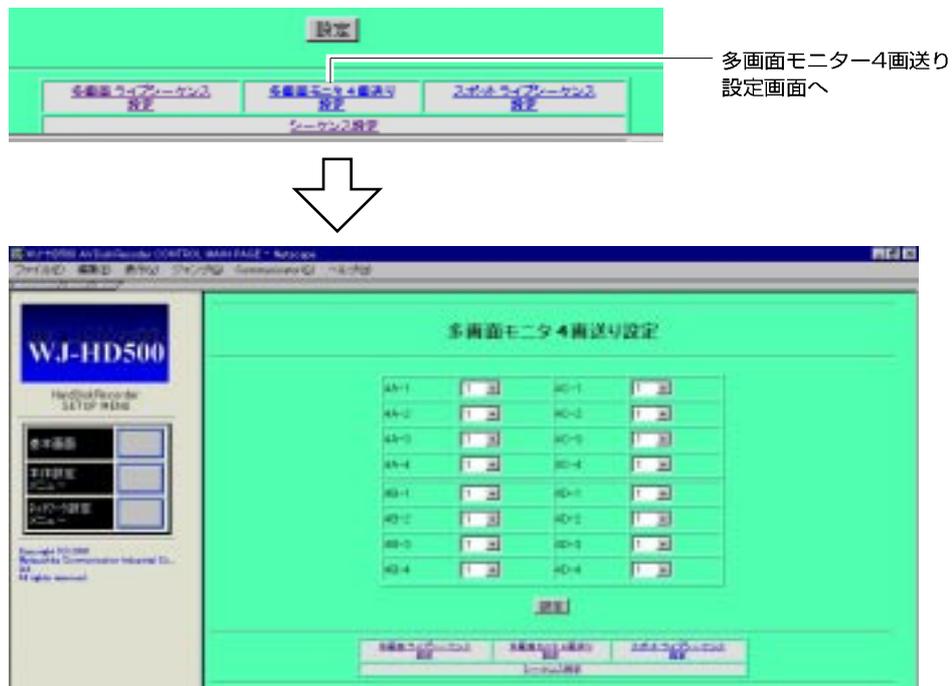
設定ボタン

(次ページへつづく)

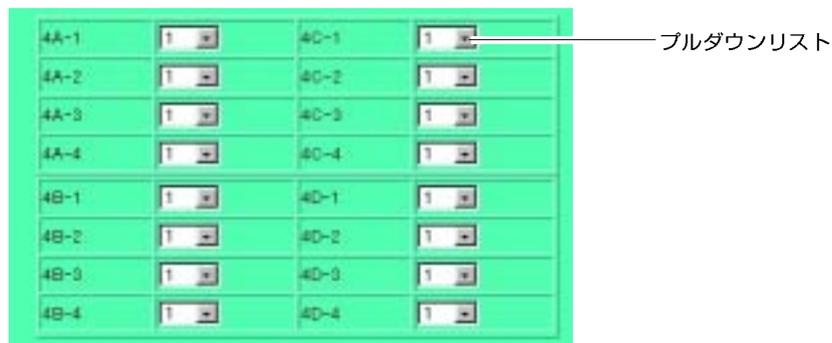
多画面モニター4画送り設定画面上の設定

多画面モニターへ表示する4分割画面（4A, 4B, 4C, 4D）にカメラを割り当てます。

1. 多画面ライブシーケンス設定画面またはスポットライブシーケンス設定画面下部の“多画面モニター4画送り”表示をクリックします。
 - 多画面モニター4画送り設定画面が表示されます。



2. “4A-1”～“4D-4”にカメラを割り当てます。
 - プルダウンリストの中から選択してください。
 - 1～16 : カメラ1～16のカメラ映像を表示する
 - : カメラを割り当てない

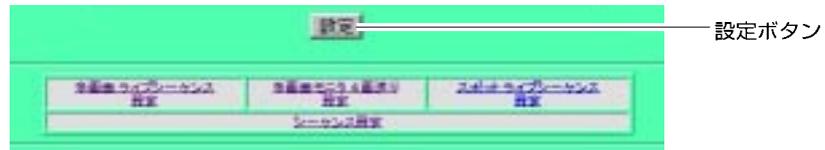


《4分割画面の表示位置》



(次ページへつづく)

3. “設定” ボタンをクリックします。
 - デジタルディスクレコーダーの設定が、設定した内容に更新されます。



アラーム機能を設定する

アラーム発生時の動作を設定します。また、別売のモーションディテクターボード装着時は、動き検出アラームの設定も行います。

アラーム機能の設定画面には、“アラーム設定画面”と“アラーム端子設定画面”、“動き検出エリア設定画面”があり、最初に表示される画面が“アラーム設定画面”です。

《アラーム設定画面》



アラーム端子設定画面へ

動き検出エリア設定画面へ

WJ-HD500本体設定メニュー画面へ戻る

アラーム設定

アラーム発生時の基本動作を設定します。

1. オートリセットを設定します。(初期設定値: OFF)

- アラーム発生時、発生前の状態に自動復帰する時間の設定です。
- プルダウンリストの中から選択してください。

自動復帰しない: アラーム復帰(アラームリセット)ボタンが押されるまで復帰しない

1~30秒: 1~30秒後に自動復帰する
“1~30秒”選択時は、すぐ下の設定欄に数値(秒数)を入力してください。

40秒: 40秒後に自動復帰する

50秒: 50秒後に自動復帰する

1分: 1分後に自動復帰する

2分: 2分後に自動復帰する

3分: 3分後に自動復帰する

4分: 4分後に自動復帰する

5分: 5分後に自動復帰する



2. アラーム アウトプットを設定します。(初期設定値: 2秒)

- アラーム発生時、アラーム出力端子から信号を出力する時間の設定です。
- プルダウンリストの中から選択してください。

OFF: 信号を出力しない

1~30秒: 1~30秒間信号を出力する
“1~30秒”選択時は、すぐ下の設定欄に数値(秒数)を入力してください。

40秒: 40秒間信号を出力する

50秒: 50秒間信号を出力する

1分: 1分間信号を出力する

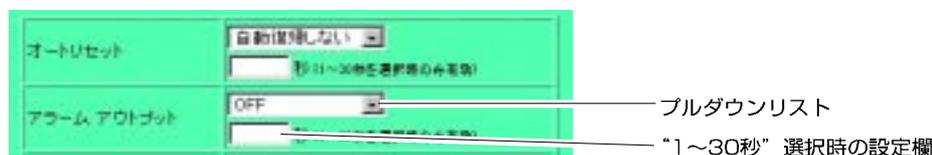
2分: 2分間信号を出力する

3分: 3分間信号を出力する

4分: 4分間信号を出力する

5分: 5分間信号を出力する

自動停止しない: アラーム復帰(アラームリセット)ボタンが押されるまで、信号を出力する



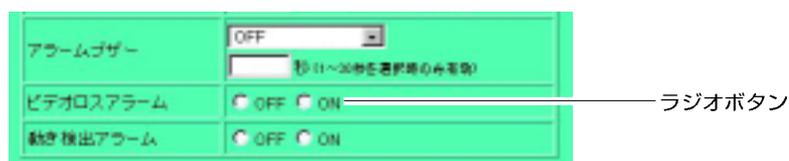
(次ページへつづく)

3. アラームブザーを設定します。(初期設定値: 2秒)
- アラーム発生時、ブザーを鳴らす時間の設定です。
 - プルダウンリストの中から選択してください。

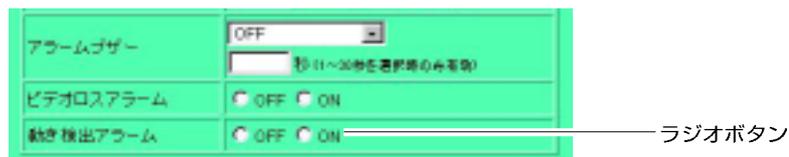
OFF	: ブザーを鳴らさない
1~30秒	: 1~30秒間ブザーを鳴らす “1~30秒” 選択時は、すぐ下の設定欄に数値(秒数)を入力してください。
40秒	: 40秒間ブザーを鳴らす
50秒	: 50秒間ブザーを鳴らす
1分	: 1分間ブザーを鳴らす
2分	: 2分間ブザーを鳴らす
3分	: 3分間ブザーを鳴らす
4分	: 4分間ブザーを鳴らす
5分	: 5分間ブザーを鳴らす
自動停止しない	: アラーム状態から復帰するまでブザーを鳴らす



4. ビデオロスアラームのON/OFFを設定します。(初期設定値: ON)
- カメラの故障やケーブルの断線などにより、映像信号が途切れたときに発生するアラームの設定です。
 - “ON” または “OFF” ラジオボタンをクリックしてください。

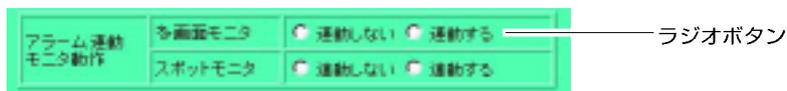


5. 動き検出アラームのON/OFFを設定します。(初期設定値: OFF)
- 動き検出アラームとは、カメラ映像の中で人の動きなどを検出したときに発生するアラームです。別売のモーションディテクターボード装着時に使用可能な機能です。
 - “ON” または “OFF” ラジオボタンをクリックしてください。

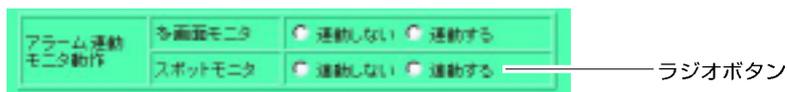


(次ページへつづく)

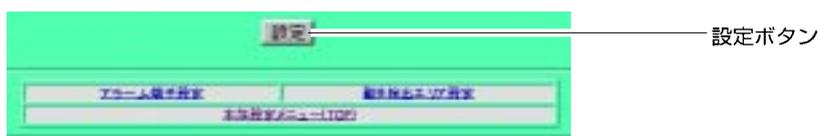
6. 多画面モニターのアラーム連動動作を設定します。(初期設定値:連動する)
 - “連動しない” または “連動する” ラジオボタンをクリックしてください。



7. スポットモニターのアラーム連動動作を設定します。(初期設定値:連動する)
 - “連動しない” または “連動する” ラジオボタンをクリックしてください。



8. “設定” ボタンをクリックします。
 - デジタルディスクレコーダーの設定が、設定した内容に更新されます。
 - 画面下部の “本体設定メニュー (TOP)” 表示をクリックすると、WJ-HD500本体設定メニュー画面に戻ります。
 設定を続けるときは、他の設定画面を表示してください。



アラーム端子設定

アラーム端子 “アラーム入力1～16 (アラーム1CH～16CH)” へのカメラ割当て、および信号の入力方法を設定します。

1. アラーム設定画面下部の “アラーム端子設定” 表示をクリックします。
 - アラーム端子設定画面が表示されます。



(次ページへつづく)

2. アラーム1CH～16CHへのカメラ割当て、および信号の入力方法を設定します。

①設定するアラーム入力（CH）を選択します。

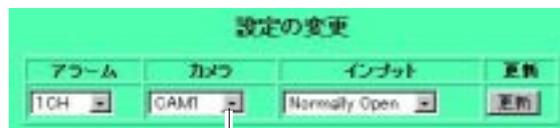
- プルダウンリスト（1CH～16CH）の中から選択してください。



プルダウンリスト

②カメラを割り当てます。

- プルダウンリスト（CAM1～CAM16）の中から選択してください。
CAM1～CAM16は、カメラ1～16を表しています。



プルダウンリスト

③インプット（信号の入力方法）を設定します。（初期設定値：Normally Open）

- プルダウンリストの中から選択してください。

Normally Open：アラーム端子のアラーム入力とアースをショートしたときに信号が入力されます。

Normally Close：アラーム端子のアラーム入力とアースをオープンしたときに信号が入力されます。



プルダウンリスト

3. “更新” ボタンをクリックします。

- 設定した内容が確定します。



更新ボタン

4. 手順2, 3の操作を繰り返し、すべてのアラーム入力の設定を行います。

動き検出エリア設定

カメラごとに検出レベルと検出エリアを設定します。検出エリアは、最大4地点まで設定することができます。

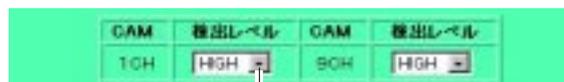
メモ

検出エリアが小さい場合、検出レベルの設定（特にLOWのとき）により正常に動作しないことがありますので、動作テストを行い検出レベル・検出エリアの設定をすることをおすすめします。

1. アラーム設定画面下部の“動き検出エリア設定”表示をクリックします。
 - 動き検出エリア設定画面が表示されます。



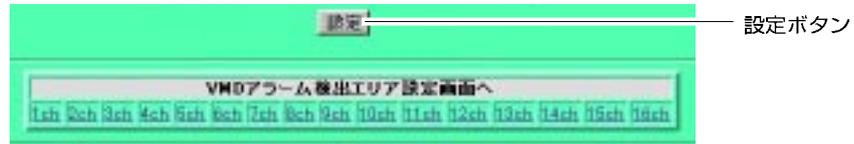
2. カメラ1～16（CAM 1CH～16CH）の検出レベルを設定します。
（初期設定値：OFF）
 - プルダウンリストの中から選択してください。
 - HIGH：検出感度 精細
 - MID：検出感度 普通
 - LOW：検出感度 粗い
 - OFF：動き検出をしない



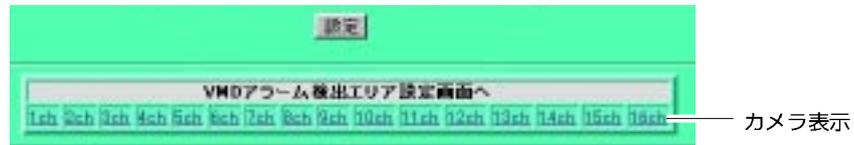
プルダウンリスト

（次ページへつづく）

3. “設定” ボタンをクリックします。
- デジタルディスクレコーダーの設定が、設定した内容に更新されます。



4. “VMDアラーム検出エリア設定画面” を表示します。
- 検出エリアを設定したいカメラ表示 (1CH ~ 16CH) をクリックすると、VMDアラーム検出エリア設定画面が表示されます。

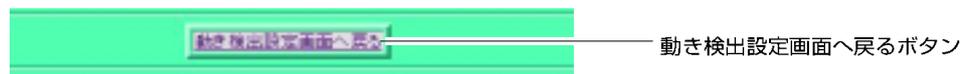


(次ページへつづく)

5. 検出エリアを設定します。
 - 設定したいエリアの始点から終点までをドラッグしてください。
 - 4地点までエリアを設定することができます。



6. “設定” ボタンをクリックします。
 - デジタルディスクレコーダーの設定が、設定した内容に更新されます。
 - 設定した検出エリアを削除するときは、“エリア削除”、“設定” ボタンの順にクリックします。
7. “動き検出設定画面へ戻る” ボタンをクリックします。
 - 動き検出設定画面が表示されます。



8. 手順4～7の操作を繰り返し、カメラごとに検出エリアを設定します。

表示機能を設定する

時刻表示やタイトル表示など画面上に表示する項目についての設定と、カメラタイトルの設定を行います。

表示機能の設定画面には、“表示設定画面”と“カメラタイトル設定画面”があり、最初に表示される画面が“表示設定画面”です。

《表示設定画面》



カメラタイトル設定画面へ

WJ-HD500本体設定メニュー画面へ戻る

表示設定

画面上に表示する項目を設定します。

1. 多画面モニターに表示する項目を設定します。
 - ①時刻表示のON/OFFを設定します。(初期設定値: ON)
 - “ON” または “OFF” ラジオボタンをクリックしてください。



(次ページへつづく)

- ②タイトル（グループタイトルとカメラタイトル）表示のON/OFFを設定します。
（初期設定値：ON）

- “ON” または “OFF” ラジオボタンをクリックしてください。

多画面モニタ	時刻表示	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
	タイトル表示	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
	ステータス表示	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
	分割線表示	OFF
スポット出力	タイトル表示	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
	アラーム表示	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
時刻/ステータス表示位置		左上(L-UPPER)
タイトル表示位置		左上(L-UPPER)

ラジオボタン

- ③ステータス（動作状態など）表示のON/OFFを設定します。（初期設定値：ON）

- “ON” または “OFF” ラジオボタンをクリックしてください。

多画面モニタ	時刻表示	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
	タイトル表示	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
	ステータス表示	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
	分割線表示	OFF
スポット出力	タイトル表示	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
	アラーム表示	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
時刻/ステータス表示位置		左上(L-UPPER)
タイトル表示位置		左上(L-UPPER)

ラジオボタン

- ④分割線表示を設定します。（初期設定値：白）

- 多画面表示時の分割線設定です。
- プルダウンリストの中から選択してください。
 - OFF : 分割線を表示しない
 - 白 : 白の分割線を表示する
 - グレー : グレーの分割線を表示する
 - 黒 : 黒の分割線を表示する

多画面モニタ	時刻表示	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
	タイトル表示	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
	ステータス表示	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
	分割線表示	OFF
スポット出力	タイトル表示	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
	アラーム表示	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
時刻/ステータス表示位置		左上(L-UPPER)
タイトル表示位置		左上(L-UPPER)

プルダウンリスト

（次ページへつづく）

2. スポットモニターへのタイトル（グループタイトルとカメラタイトル）表示のON/OFFを設定します。（初期設定値：ON）

- “ON” または “OFF” ラジオボタンをクリックしてください。

多画面モニター	時刻表示	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON	
	タイトル表示	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON	
	ステータス表示	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON	
	分割線表示	OFF	
スポット出力	タイトル表示	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON	ラジオボタン
アラーム表示		<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON	
時刻/ステータス表示位置		左上(L-UPPER)	
タイトル表示位置		左上(L-UPPER)	

3. アラーム表示のON/OFFを設定します。（初期設定値：ON）

- アラーム発生時に、カメラタイトル表示位置へ “ALARM（端子アラーム発生時）”、“VMD（動き検出アラーム発生時）”、“CH* * LOSS（ビデオロスアラーム発生時）” と表示することができます。
- “ON” または “OFF” ラジオボタンをクリックしてください。

多画面モニター	時刻表示	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON	
	タイトル表示	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON	
	ステータス表示	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON	
	分割線表示	OFF	
スポット出力	タイトル表示	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON	
アラーム表示		<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON	ラジオボタン
時刻/ステータス表示位置		左上(L-UPPER)	
タイトル表示位置		左上(L-UPPER)	

4. 時刻・ステータス表示の表示位置を設定します。（初期設定値：左上(L-UPPER)）

- プルダウンリストの中から選択してください。
左上（L-UPPER） 右上（R-UPPER） 左下（L-LOWER） 右下（R-LOWER）

多画面モニター	時刻表示	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON	
	タイトル表示	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON	
	ステータス表示	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON	
	分割線表示	OFF	
スポット出力	タイトル表示	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON	
アラーム表示		<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON	
時刻/ステータス表示位置		左上(L-UPPER)	プルダウンリスト
タイトル表示位置		左上(L-UPPER)	

（次ページへつづく）

5. タイトル（グループタイトルとカメラタイトル）の表示位置を設定します。

（初期設定値：右下(R-LOWER)）

- プルダウンリストの中から選択してください。

左上（L-UPPER） 右上（R-UPPER） 左下（L-LOWER） 右下（R-LOWER）
中央（CENTER）

多画面モニタ	時刻表示	<input type="radio"/> OFF <input type="radio"/> ON
	タイトル表示	<input type="radio"/> OFF <input type="radio"/> ON
	ステータス表示	<input type="radio"/> OFF <input type="radio"/> ON
	分割線表示	OFF
スポット出力	タイトル表示	<input type="radio"/> OFF <input type="radio"/> ON
アラーム表示		<input type="radio"/> OFF <input type="radio"/> ON
時刻/ステータス表示位置		左上(L-UPPER)
タイトル表示位置		左上(L-UPPER)

プルダウンリスト

6. “設定” ボタンをクリックします。

- デジタルディスクレコーダーの設定が、設定した内容に更新されます。
- カメラタイトルを設定するときは、画面下部の“カメラタイトル設定”表示をクリックして、カメラタイトル設定画面を表示してください。

設定
カメラタイトル設定 カメラ設定メニュー(TOP)

設定ボタン

カメラタイトル設定

画面上に表示するカメラタイトル（最大8文字）を設定します。

1. カメラタイトルを入力します。
 - CAM1～16の入力欄にタイトルを入力してください。



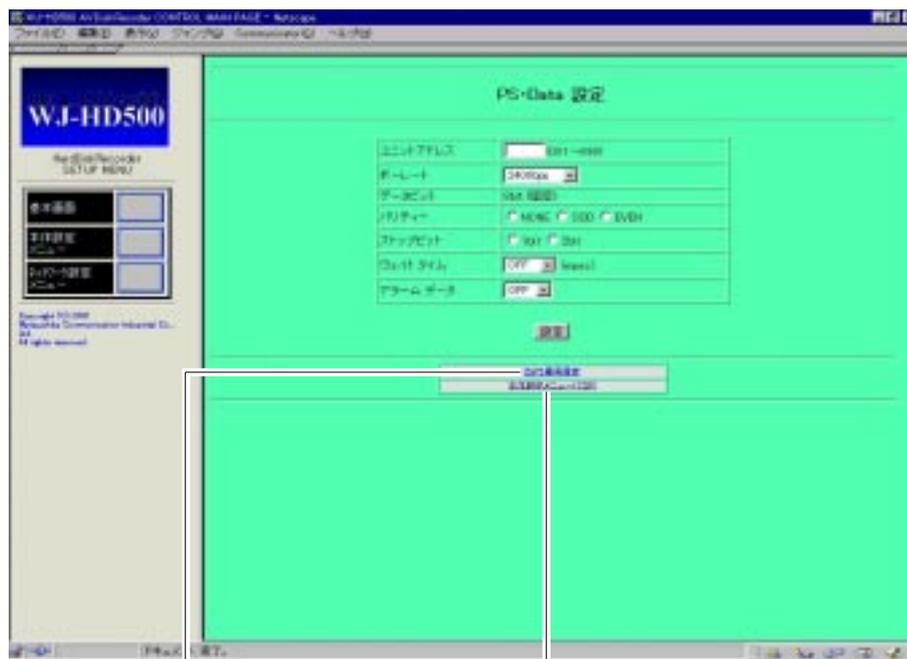
2. “設定” ボタンをクリックします。
 - デジタルディスクレコーダーの設定が、設定した内容に更新されます。
 - 表示設定画面に戻るときは、画面下部の“表示設定”表示をクリックしてください。

PS・Data設定を行う

PS・Dataモード使用時の通信設定と制御するカメラ番号の設定を行います。

PS・Dataの設定画面には、“PS・Dataセットアップ画面”と“カメラ番号設定画面”があり、最初に表示される画面が“PS・Dataセットアップ画面”です。

《PS・Dataセットアップ画面》



カメラ番号設定画面へ

WJ-HD500本体設定メニュー画面へ戻る

PS・Dataセットアップ

通信設定を行います。

1. デジタルディスクレコーダーのユニットアドレスを設定します。
(初期設定値：001)
 - 入力欄にユニットアドレス (001～099) を入力してください。



(次ページへつづく)

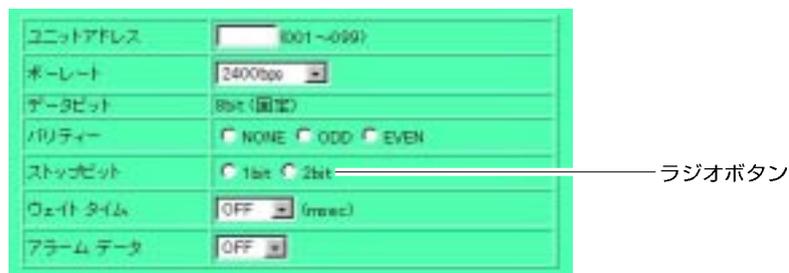
2. ボーレートを設定します。(初期設定値: 9600)
 - データ通信速度の設定です。
 - プルダウンリスト (2400bps, 4800bps, 9600bps, 19200 bps, 38400bps) の中から選択してください。



3. パリティを設定します。(初期設定値: NONE)
 - 伝送誤りをチェックするために付加するビットの設定です。
 - ラジオボタンをクリックしてください。
 - NONE : パリティチェックをしない
 - ODD : 偶数
 - EVEN : 奇数



4. ストップビットを設定します。(初期設定値: 1)
 - データの終わりを表すビットの設定です。
 - “1bit” または “2bit” ラジオボタンをクリックしてください。



(次ページへつづく)

5. ウェイトタイムを設定します。(初期設定値: OFF)

- 送信したデータの受信確認 (ACK) がなかったときに、再度データを送るまでの時間設定です。
- プルダウンリストの中から選択してください。
 - OFF : データの再送をしない
 - 100 : 100 ms
 - 200 : 200 ms
 - 400 : 400 ms
 - 1000 : 1000 ms

ユニットアドレス	001~099
ボーレート	2400bps
データビット	8bit (固定)
パリティ	<input type="radio"/> NONE <input type="radio"/> ODD <input checked="" type="radio"/> EVEN
ストップビット	<input type="radio"/> 1bit <input checked="" type="radio"/> 2bit
ウェイトタイム	OFF
アラームデータ	OFF

6. アラームデータを設定します。(初期設定値: 1S)

- アラーム発生時、システムコントローラーへ通知する方法の設定です。
- プルダウンリストの中から選択してください。
 - OFF : システムコントローラーが接続されていないときの設定
 - 0秒 : アラームを検出するたびに、システムコントローラーへ通知する
 - 1秒 : アラーム検出時、アラーム情報を1秒間蓄えてからシステムコントローラーへ通知する
 - 5秒 : アラーム検出時、アラーム情報を5秒間蓄えてからシステムコントローラーへ通知する

ユニットアドレス	001~099
ボーレート	2400bps
データビット	8bit (固定)
パリティ	<input type="radio"/> NONE <input type="radio"/> ODD <input checked="" type="radio"/> EVEN
ストップビット	<input type="radio"/> 1bit <input checked="" type="radio"/> 2bit
ウェイトタイム	OFF (ms)
アラームデータ	OFF

7. “設定” ボタンをクリックします。

- デジタルディスクレコーダーの設定が、設定した内容に更新されます。
- カメラ番号を設定するときは、画面下部の“カメラ番号設定”表示をクリックして、カメラ番号設定画面を表示してください。

設定

カメラ番号設定
本機設定メニュー(TOP)

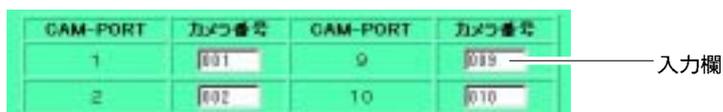
カメラ番号設定

PS・Dataモードを使用して制御するカメラの番号を設定します。

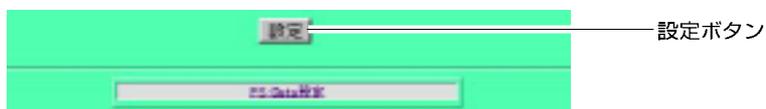
- PS・Dataセットアップ画面下部の“カメラ番号設定”表示をクリックします。
 - カメラ番号設定画面が表示されます。



- CAM-PORT1～16にカメラ番号（001～128）を割り当てます。
 - 割り当てたいカメラ番号を入力欄に入力してください。
 - CAM-PORT1～16は、デジタルディスクレコーダーの映像入力端子1～16に対応しています。



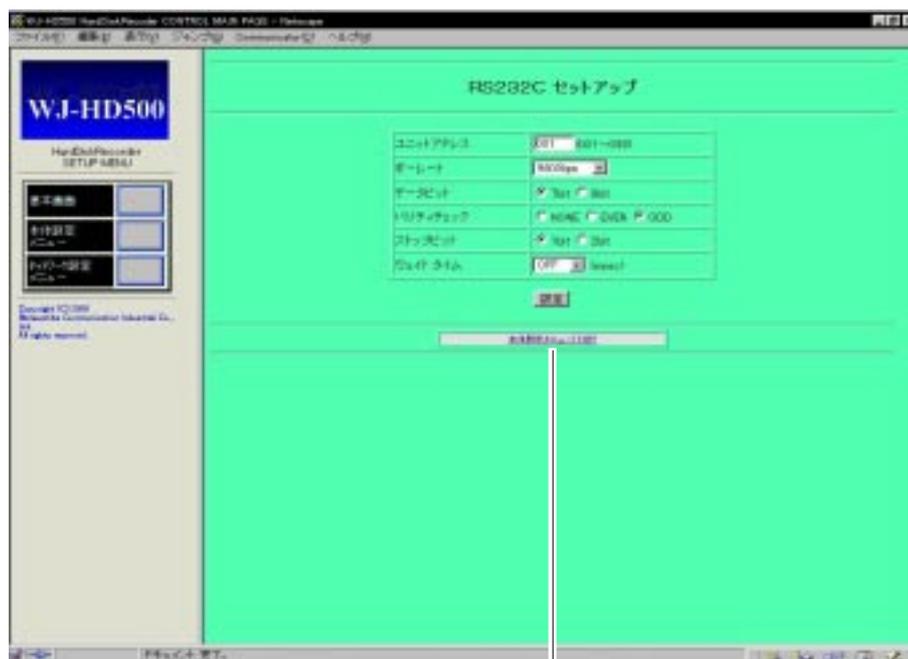
- “設定” ボタンをクリックします。
 - デジタルディスクレコーダーの設定が、設定した内容に更新されます。



RS232C設定を行う

デジタルディスクレコーダーのシリアル端子を使用するときの通信設定を行います。各設定内容は、接続する機器の設定と合わせてください。

《RS232Cセットアップ画面》



WJ-HD500本体設定メニュー画面へ戻る

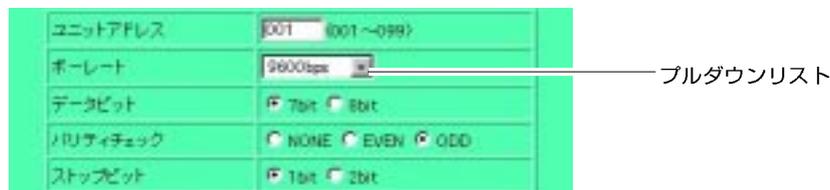
RS232Cセットアップ

1. デジタルディスクレコーダーのユニットアドレスを設定します。
(初期設定値 : 001)
 - 入力欄にユニットアドレス (001 ~ 099) を入力してください。



(次ページへつづく)

2. ボーレートを設定します。(初期設定値: 9600)
 - データ通信速度の設定です。
 - プルダウンリスト (2400bps, 4800bps, 9600bps, 19200 bps, 38400bps, 57600bps, 115200bps) の中から選択してください。



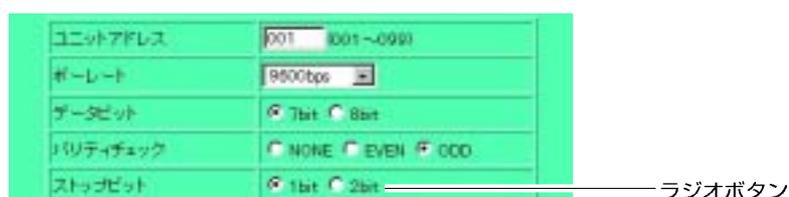
3. データビットを設定します。(初期設定値: 8)
 - データを構成するビット数の設定です。
 - “7bit” または “8bit” ラジオボタンをクリックしてください。



4. パリティを設定します。(初期設定値: NONE)
 - 伝送誤りをチェックするために付加するビットの設定です。
 - ラジオボタンをクリックしてください。
 - NONE : パリティチェックをしない
 - EVEN : 奇数
 - ODD : 偶数

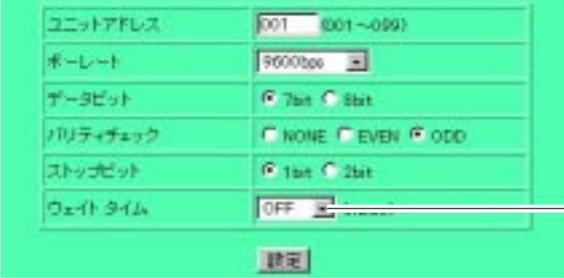


5. ストップビットを設定します。(初期設定値: 1)
 - データの終わりを表すビットの設定です。
 - “1bit” または “2bit” ラジオボタンをクリックしてください。



(次ページへつづく)

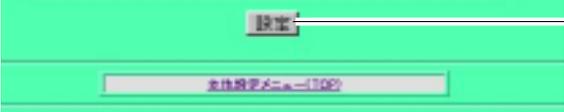
6. ウェイトタイムを設定します。(初期設定値: OFF)
- 送信したデータの受信確認 (ACK) がなかったときに、再度データを送るまでの時間設定です。
 - プルダウンリストの中から選択してください。
 - OFF : データの再送をしない
 - 100 : 100 ms
 - 200 : 200 ms
 - 400 : 400 ms
 - 1000 : 1000 ms



ユニットアドレス	001 (001~099)
ボーレート	9600bps
データビット	<input checked="" type="radio"/> 7bit <input type="radio"/> 8bit
パリティチェック	<input type="radio"/> NONE <input type="radio"/> EVEN <input checked="" type="radio"/> ODD
ストップビット	<input checked="" type="radio"/> 1bit <input type="radio"/> 2bit
ウェイトタイム	OFF

設定

7. “設定” ボタンをクリックします。
- デジタルディスクレコーダーの設定が、設定した内容に更新されます。



設定

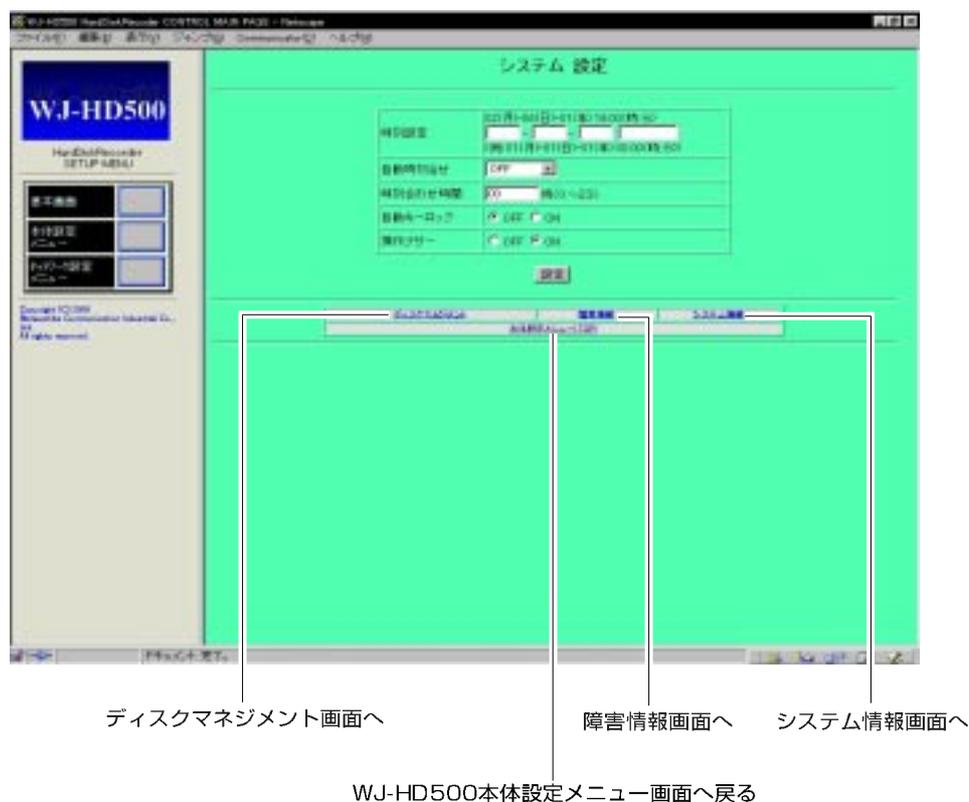
デジタルディスクレコーダー

システム設定を行う

日付・時刻、自動キーロック、操作ブザーの設定を行います。また、ユーザー設定の保存（セーブ）や復旧（ロード）、障害情報やシステム情報の確認を行います。

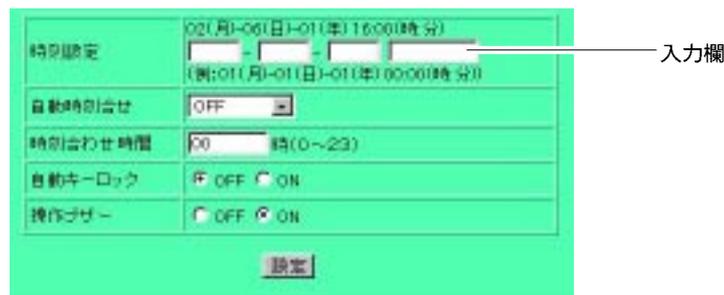
システムの設定には、“システム設定画面”と“障害情報画面”、“システム情報画面”があり、最初に表示される画面が“システム設定画面”です。

《システム画面》



システム設定

- 時刻設定（日付・時刻）を行います。
 - 合わせたい日付と時刻を入力してください。
 - “設定” ボタンをクリックしたときに、日付・時刻が合わされます。



(次ページへつづく)

2. 自動時刻合わせを設定します。(初期設定値: OFF)

- プルダウンリストの中から選択してください。

MASTER : “時刻合わせ時間”に入力した時刻に、制御入力/出力端子から信号を出力し、他の機器の時刻をデジタルディスクレコーダーの時刻と合わせる

SLAVE : 制御入力/出力端子に接続した外部スイッチなどの操作で、“時刻合わせ時間”に入力した時刻にデジタルディスクレコーダーの時刻を合わせる

OFF : 自動時刻合わせを行わない

時刻設定: 02(月)-06(日)-01(年) 16:00(時:分)
(例:01(月)-01(日)-01(年) 00:00(時:分))

自動時刻合わせ: OFF (プルダウンリスト)

時刻合わせ時間: 00 時(0~23)

自動キーロック: OFF ON

操作ブザー: OFF ON

設定

3. 時刻合わせ時間(0~23)を設定します。

- 自動時刻合わせ(手順2)を実行する時刻の設定です。
- 入力欄に実行する時刻を入力してください。

時刻設定: 02(月)-06(日)-01(年) 16:00(時:分)
(例:01(月)-01(日)-01(年) 00:00(時:分))

自動時刻合わせ: OFF

時刻合わせ時間: 00 (入力欄)

自動キーロック: OFF ON

操作ブザー: OFF ON

設定

4. 自動キーロックのON/OFFを設定します。(初期設定値: OFF)

- 約5分間操作しないと自動でキーロックをかける設定です。
- “ON”または“OFF”ラジオボタンをクリックしてください。

時刻設定: 02(月)-06(日)-01(年) 16:00(時:分)
(例:01(月)-01(日)-01(年) 00:00(時:分))

自動時刻合わせ: OFF

時刻合わせ時間: 00 時(0~23)

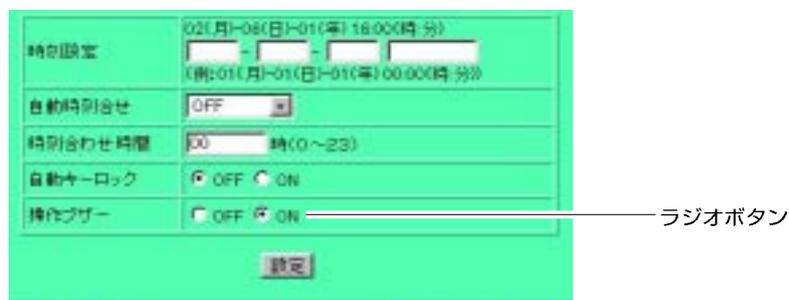
自動キーロック: OFF ON (ラジオボタン)

操作ブザー: OFF ON

設定

(次ページへつづく)

5. 操作ブザーのON/OFFを設定します。(初期設定値: ON)
- デジタルディスクレコーダーのボタンを操作したときに、ブザーを鳴らす設定です。
 - “ON” または “OFF” ラジオボタンをクリックしてください。



6. “設定” ボタンをクリックします。
- デジタルディスクレコーダーの設定が、設定した内容に更新されます。
 - ディスクマネジメント画面を表示するときは、画面下部の“ディスクマネジメント”表示をクリックしてください。
 - 障害情報を確認するときは、画面下部の“障害情報”表示をクリックして、障害情報画面を表示してください。
 - システム情報を確認するときは、画面下部の“システム情報”表示をクリックして、システム情報画面を表示してください。



ディスクマネジメント

ハードディスクの残容量警告表示を設定します。

1. システム設定画面下部の“ディスクマネジメント”表示をクリックします。
 - ディスクマネジメント画面が表示されます。



2. ハードディスクの残容量警告表示を設定します。(初期設定値: OFF)
 - プルダウンリストの中から選択してください。
 - OFF : 警告表示をしない
 - 1% : 残容量1%で警告表示を行う
 - 2% : 残容量2%で警告表示を行う
 - 3% : 残容量3%で警告表示を行う
 - 4% : 残容量4%で警告表示を行う
 - 5% : 残容量5%で警告表示を行う
 - 6% : 残容量6%で警告表示を行う
 - 7% : 残容量7%で警告表示を行う
 - 8% : 残容量8%で警告表示を行う
 - 9% : 残容量9%で警告表示を行う
 - 10% : 残容量10%で警告表示を行う



(次ページへつづく)

3. 設定ボタンをクリックします。
 - デジタルディスクレコーダーの設定が、設定した内容に更新されます。



障害情報

障害情報を確認します。最新の障害情報100件が表示されます。

1. システム設定画面下部の“ 障害情報 ” 表示をクリックします。
 - 障害情報画面が表示され、障害の起きた日付・時間・障害理由が確認できます。
 - 画面下部の“ 前の10件へ ” または“ 後の10件へ ” 表示をクリックすると、表示内容が切り換わります。
 - システム設定画面に戻るときは、画面下部の“ システム設定 ” 表示をクリックします。



前の10件を表示

ディスクマネージメント画面へ

システム設定画面へ戻る

システム情報画面へ

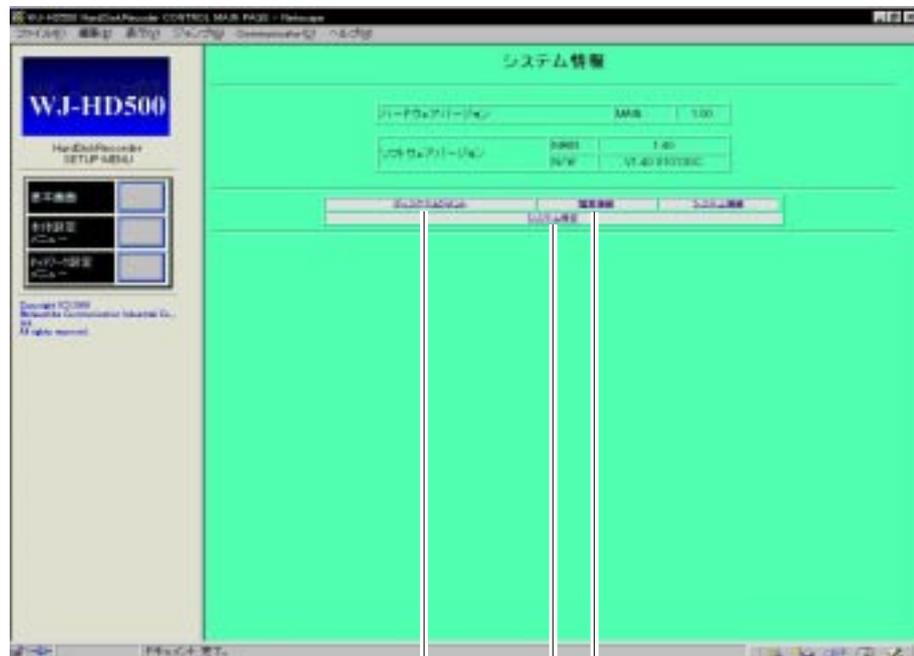
次の10件を表示

システム情報

システム情報を確認します。

デジタルディスクレコーダーとネットワークインターフェイスボードのハードウェア・ソフトウェアバージョンと、モーションディテクターボードのハードウェアバージョンが確認できます。

1. システム設定画面下部の“システム情報”表示をクリックします。
 - システム情報画面が表示されます。
 - MAIN : デジタルディスクレコーダーを表す
 - NW : ネットワークインターフェイスボードを表す
 - システム設定画面に戻るときは、画面下部の“システム設定”表示をクリックします。



ディスク管理画面へ

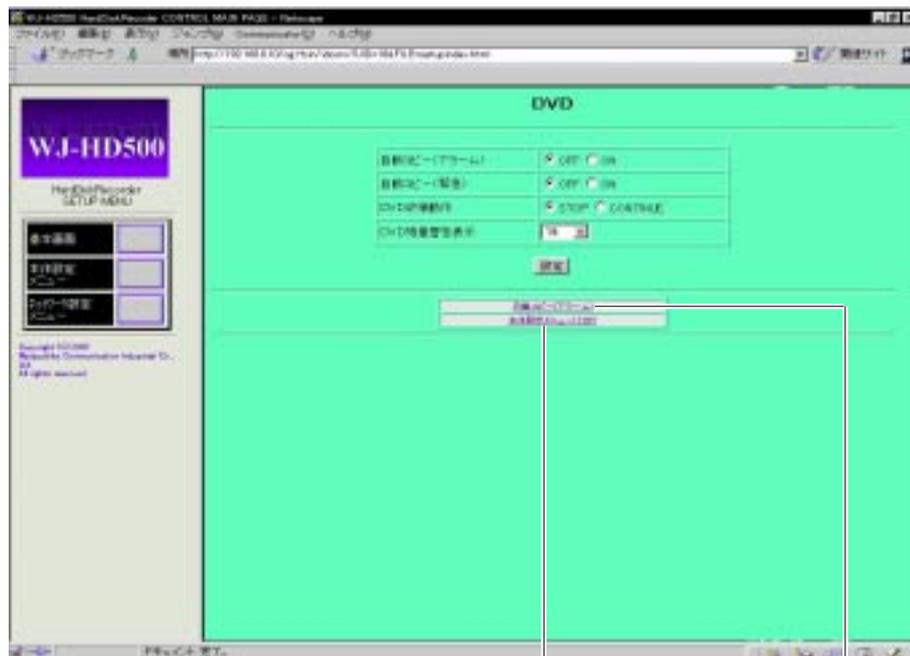
障害情報画面へ

システム設定画面へ戻る

DVD

DVDに関する設定を確認します。

1. システム設定画面下部の“DVD”表示をクリックします。
 - DVD設定画面が表示されます。
 - システム設定画面に戻るときは、画面下部の“本体設定メニュー（TOP）”表示をクリックします。



自動コピー（アラーム）画面へ
システム設定画面へ戻る

2. 自動コピー（アラーム）のON/OFFを設定します。（初期設定値：OFF）
 - マニュアル録画、外部タイマー録画を行うときに、選択したカメラの録画データを自動でコピー（バックアップ）するかどうかを設定します。
 - “ON” または “OFF” ラジオボタンをクリックしてください。
 - ON : 録画と同時にDVD-RAMディスクへ自動コピーする
 - OFF : 自動コピーしない



ラジオボタン

（次ページへつづく）

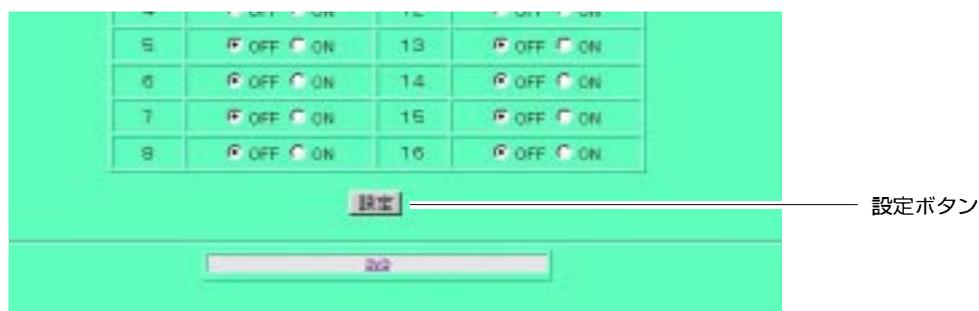
3. 自動コピー（アラーム）をONに設定した場合は、DVD設定画面下部の“自動コピー（アラーム）”表示をクリックし、自動コピー（アラーム）設定画面でカメラごとに自動コピーの設定（ON/OFF）を行います。
 - “ON” または “OFF” ラジオボタンをクリックしてください。
 - ON : 録画と同時にDVD-RAMディスクへ自動コピーする
 - OFF : 自動コピーしない



メモ

自動コピー（アラーム）設定画面のカメラごとの“ON”または“OFF”の設定は、DVD設定画面の「自動コピー（アラーム）」を“ON”にしているときのみ有効です。

4. 設定ボタンをクリックします。
 - 設定した内容に更新され、DVD設定画面に戻ります。



（次ページへつづく）

5. 自動コピー（緊急）のON/OFFを設定します。（初期設定値：OFF）
- 緊急録画を行うときに、録画データを自動でコピー（バックアップ）するかどうかを設定します。
 - “ON” または “OFF” ラジオボタンをクリックしてください。
 - ON : 録画と同時にDVD-RAMディスクへ自動コピーする
 - OFF : 自動コピーしない



6. DVD終端動作を設定します。（初期設定値：STOP）
- DVD-RAMディスクの残容量がなくなったときの動作を設定します。
 - “STOP” または “CONTINUE” ラジオボタンをクリックしてください。
 - STOP : 録画を停止する
 - CONTINUE : 古い録画データに上書きして録画を続ける



7. DVD残量警告表示を設定します。(初期設定値：1%)

- DVD-RAMディスクの残容量の警告表示を設定します。
- プルダウンリストの中から選択してください。

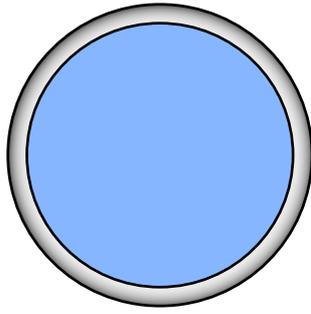
OFF	: 残容量警告しない
1%	: DVD-RAMディスクの残容量が1%で警告表示する
2%	: DVD-RAMディスクの残容量が2%で警告表示する
3%	: DVD-RAMディスクの残容量が3%で警告表示する
4%	: DVD-RAMディスクの残容量が4%で警告表示する
5%	: DVD-RAMディスクの残容量が5%で警告表示する
6%	: DVD-RAMディスクの残容量が6%で警告表示する
7%	: DVD-RAMディスクの残容量が7%で警告表示する
8%	: DVD-RAMディスクの残容量が8%で警告表示する
9%	: DVD-RAMディスクの残容量が9%で警告表示する
10%	: DVD-RAMディスクの残容量が10%で警告表示する



8. 設定ボタンをクリックします。

- DVDの設定が設定した内容に更新されます。





付 録

ここでは、コンテンツのアップロード方法や基本操作画面のHTML記述による制御方法について説明します。

もくじ

コンテンツアップロード112
アップロード手順112
コンテンツ記憶領域について112
HTML記述による制御方法113
ユーザーIDの取得、通知処理113
各フレームでの処理113

コンテンツアップロード

パソコンなどで作成したコンテンツファイルを、FTP (File Transfer Protocol) を用いてアップロードすることができます。

アップロード手順

1. Windows 95 / Windows 98上でMS-DOSプロンプトを起動し、DOS画面を開きます。
2. DOS上でFTPコマンドを入力し、FTPを起動します。
 - 起動時に、本機のIPアドレスを続けて入力してください。
C : ¥CONTENTS > FTP 192.168.0.10
3. ユーザーアカウントの入力要求に対して、システム管理者レベル (レベル1) のユーザーでログインします。
User (192.168.0.10 : (none)) : admin
4. パスワードを入力します。
Password :
5. ログイン後、binコマンドを入力し、バイナリ転送モードに設定します。
ftp > bin
6. putコマンドでファイルをアップロードします。
ftp > put upload.html
7. ファイル転送終了後、quitコマンドを入力し、ftpを終了します。
ftp > quit

メモ

複数のファイルをまとめて転送する場合は、promptコマンドでインタラクティブモードを解除して、mputコマンドでファイル名にワイルドカードを使用します。

```
ftp > prompt
Interactive mode off.
ftp > mput *.html
```

コンテンツ記憶領域について

- FTPを用いてアップロードしたHTMLなどのコンテンツファイルは、本ボードのFLASH ROM内に記憶されるため、電源を切っても消えることはありません。ただし、バージョンアップ時や初期化時は、初期状態に戻りますので必ずバックアップを取ってください。
- コンテンツの記憶領域にディレクトリを作成することはできません。
- コンテンツファイル名の大文字、小文字は区別しません。

記憶可能容量 : 合計約640 KB

記憶可能ファイル : 最大320個

上記数字は、個々のファイルサイズや記憶領域の使用状況によって変わります。

HTML記述による制御方法

HTMLファイルによって記述されたコマンドをWWWブラウザから実行することにより、映像表示やカメラ操作などの各種機能操作が可能になります。

本ボードでは、次の各種機能をCGI（Common Gateway Interface）関数として実現しています。

ユーザーIDの取得、通知処理（ファイル名：hdrindex.html）

```
<HTML>
<HEAD><TITLE>WJ-HD500 AVDiskRecorder CONTROL MAIN PAGE
</TITLE></HEAD>
<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript">
① UID=% i
  if(UID != 0xFFFF)
  {
    document.writeln( "<FRAMESET COLS="216,*.>" );
    document.writeln( " <NOFRAME>" );
    document.writeln( "   Need frame." );
    document.writeln( " </NOFRAME>" );
    document.writeln( " <FRAME SRC=/cgi-bin/idconv?ID=UID&FILE=
                                hdmainpanel.html NAME=mainpanel>" );
    document.writeln( " <FRAMESET ROWS="32*,174">" );
    document.writeln( "   <FRAME SRC=/cgi-bin/idconv?ID=UID&FILE=
                                status.html NAME=status MARGINHEIGHT=6
                                FRAMEBORDER=0 SCROLLING=NO>" );
    document.writeln( "   <FRAME SRC=/cgi-bin/idconv?ID=UID&FILE=
                                hdmainview.html NAME=mainview FRAMEBORDER=
                                0>" );
    document.writeln( "   <FRAME SRC=/cgi-bin/idconv?ID=UID&FILE=
                                hdrctrl.html NAME=hdctrl>" );
    document.writeln( " </FRAMESET>" );
    document.writeln( "</FRAMESET>" );
  }
  else
  {
    document.writeln("<H3><IMG SRC=LOGO.jpg ALIGN=absmiddle HSPACE
                                =20>ユーザ数超過のためアクセスできません。</H3>");
    document.writeln("<HR>");
    document.writeln("現在、本機へのアクセスが集中しており、同時アクセス可能な
                                ユーザ数の制限を超えております。");
    document.writeln("しばらくしてから、再度アクセスしてください。");
  }
</SCRIPT>
</HTML>
```

① : %iを実際のユーザーIDに変換し、内部変数UIDに記憶させる。

②~⑤ : 各フレーム内の%iをCGI関数“idconv”を使用して実際のユーザーIDに変換。

各フレームでの処理

録画・再生操作（ファイル名：hdrctrl.html）

基本操作画面にある“録画・再生操作ボタン”部のHTMLファイルです。

```
<HTML>
<HEAD><BODY BGCOLOR=#DDDDCC></HEAD>
<table border=3 bordercolor=black bgcolor="#DCfeff" width=95%
ALIGN="right">
  <TR>
    <TH border=3 COLSPAN=1 BGCOLOR=black><FONT SIZE=2 color=
"#DCfeff">高速<BR>逆再生</TH>
    <TH border=3 COLSPAN=1 BGCOLOR=black><FONT SIZE=2 color=
"#DCfeff">逆再生</TH>
    <TH border=3 COLSPAN=1 BGCOLOR=black><FONT SIZE=2 color=
"#DCfeff">1 コマ<BR>戻し</TH>
    <TH border=3 COLSPAN=1 BGCOLOR=black><FONT SIZE=2 color=
"#DCfeff">一時<BR>停止</TH>
    <TH border=3 COLSPAN=1 BGCOLOR=black><FONT SIZE=2 color=
"#DCfeff">1 コマ<BR>送り</TH>
    <TH border=3 COLSPAN=1 BGCOLOR=black><FONT SIZE=2 color=
"#DCfeff">再生</TH>
    <TH border=3 COLSPAN=1 BGCOLOR=black><FONT SIZE=2 color=
"#DCfeff">高速<BR>再生</TH>
  </TR>
  <TR ALIGN="center">
    <TD><A HREF="/cgi-bin/hdrctrl?CMD=REW&ID=%i"><IMG SRC=
"button.jpg" border=0></A></TD>
    <TD><A HREF="/cgi-bin/hdrctrl?CMD=REVP&ID=%i"><IMG SRC=
"button.jpg" border=0></A></TD>
    <TD><A HREF="/cgi-bin/hdrctrl?CMD=PREV&ID=%i"><IMG SRC=
"button.jpg" border=0></A></TD>
    <TD><A HREF="/cgi-bin/hdrctrl?CMD=PAUSE&ID=%i"><IMG SRC=
"button.jpg" border=0></A></TD>
    <TD><A HREF="/cgi-bin/hdrctrl?CMD=NEXT&ID=%i"><IMG SRC=
"button.jpg" border=0></A></TD>
    <TD><A HREF="/cgi-bin/hdrctrl?CMD=PLAY&ID=%i"><IMG SRC=
"button.jpg" border=0></A></TD>
    <TD><A HREF="/cgi-bin/hdrctrl?CMD=FF&ID=%i"><IMG SRC=
"button.jpg" border=0></A></TD>
  </TR>
  (以下省略)
```

①～⑦：HTML内に埋め込まれた%iをCGI関数“idconv”で実際のユーザーIDに変換。

映像表示（ファイル名：hdrmainview.html）

基本操作画面にある“映像表示”部のHTMLファイルです。

```
<HTML>
<BODY BGCOLOR="#DDDDCC">
<CENTER>
<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript">
var myDate = new Date();
var tmpImg = new Image(720,480);
var width=540; // 360*1.5;
var height=360; // 240*1.5;

function drawcamera() {
  document.CamImg.src=this.src;
}
① function loadcamera() {
  myDate = new Date();
  tmpImg.src = "/cgi-bin/camera?UID=%i&PAGE="+ myDate.getTime();
  tmpImg.onload = drawcamera;
  tmpImg.onerror= drawcamera;
}

② document.write("<IMG SRC=/cgi-bin/camera?UID=%i&PAGE="
"+myDate.getTime()+
"NAME=CamImgonLoad= \"TimerID=setTimeout('loadcamera()',%i); \"
onError= \"TimerID=setTimeout('loadcamera()',%i); \" WIDTH="+width+
HEIGHT="+height+ \" VSPACE=3>");

</SCRIPT>
</CENTER>
</BODY>
</HTML>
```

- ①：JavaScriptを使用して最新画像を呼び出すための関数です。
- ②：最新画像を%iで変換される時間間隔（単位：ミリ秒）で要求します。
引数の“PAGE”は、キャッシュを無効にするために付加しています。

メイン操作（ファイル名：hdrmainpanel.html）

基本操作画面にあるカメラ選択ボタンや本体設定メニューボタンなど、メイン操作部のHTMLファイルです。

```
<HTML>
<HEAD>
</HEAD>
<BODY BGCOLOR=#DDDDCC>
<CENTER>
<!-- TITLE LOGO IMAGE -->
<IMG SRC="/LOGO.jpg" VSPACE=5>
<BR>基本操作画面<BR>
<P>
<TABLE BORDER=3 BORDERCOLOR=black WIDTH=172 BGCOLOR=
#DCfeff>
<TR><TH BORDER=3 COLSPAN=4 BGCOLOR=black><FONT SIZE=
3 COLOR=#DCfeff>
カメラ選択</TH></TR>
<FONT SIZE=4>
<TR ALIGN=CENTER><TD>1 </TD><TD>2</TD><TD>3</TD><TD>4</TD>
</TR>
<TR ALIGN=CENTER>
① <TD><A HREF=/cgi-bin/camctrl?UID=%i&CHSEL=1>
<IMG SRC="/button.jpg" border=0 WIDTH=35 HEIGHT=28></a>
</TD>
<TD><A HREF=/cgi-bin/camctrl?UID=%i&CHSEL=2>
<IMG SRC="/button.jpg" border=0 WIDTH=35 HEIGHT=28></a>
</TD>
<TD><A HREF=/cgi-bin/camctrl?UID=%i&CHSEL=3>
<IMG SRC="/button.jpg" border=0 WIDTH=35 HEIGHT=28></a>
</TD>
<TD><A HREF=/cgi-bin/camctrl?UID=%i&CHSEL=4>
<IMG SRC="/button.jpg" border=0 WIDTH=35 HEIGHT=28></a>
</TD>
(中略)
</TR>
</FONT>
</TABLE>
<P>
<TABLE border=3 bordercolor=black width=98% BGCOLOR=#DCfeff>
<TR>
<TD BGCOLOR=black width=66% ><FONT SIZE=3 color=#DCfeff>
リスト表示</TD>
② <TD><AHREF=/cgi-bin/reclist?UID=%i&INDEX=0><IMGSRC=
"/button.jpg" border=0></a></TD>
```

(次ページへつづく)

```

</TR>
<TR>
<TD BGCOLOR=black width=66% ><FONT SIZE=3 color=#DCfeff>
サムネイル表示</TD>
③ <TD><AHREF=/cgi-bin/reclist?UID=%i&INDEX=1><IMG SRC=
"/button.jpg" border=0></a></TD>
</TR>
</TABLE>
<P>
<TABLE border=3 bordercolor=black width=98% BGCOLOR=#DCfeff>
<TR>
<TD BGCOLOR=black width=66% ><FONT SIZE=3 color=#DCfeff>
アラーム<BR>リセット</TD>
④ <TD><AHREF=/cgi-bin/alarm?UID=%i&ALM=reset><IMG SRC=
"/button.jpg" border=0></a></TD>
</TR>
</TABLE>
<P>
<TABLE border=3 bordercolor=black width=98% BGCOLOR=#DCfeff>
<TR>
<TD BGCOLOR=black width=66% ><FONT SIZE=3 color=#DCfeff>
ライブ画ON</TD>
⑤ <TD><AHREF=/cgi-bin/live?UID=%i&LIVE=ON><IMG SRC=
"/button.jpg" border=0></a></TD>
</TR>
<TR>
<TD BGCOLOR=black width=66% ><FONT SIZE=3 color=#DCfeff>
ライブ画<BR>シーケンス</TD>
⑥ <TD><AHREF=/cgi-bin/camctrl?UID=%i&SEQ=ON><IMG SRC=
"/button.jpg" border=0></a></TD>
</TR>
</TABLE>
<P>
ABLE border=3 bordercolor=black width=98% BGCOLOR=#DCfeff>
<TABLE border=3 bordercolor=black width=98% BGCOLOR=#DCfeff>
<TR>
<TD BGCOLOR=black width=66% ><FONT SIZE=3 color=#DCfeff>
本体設定<BR>メニュー</TD>
⑦ <TD><AHREF=/cgi-bin/setupindex><IMG SRC="/button.jpg" border=
0></a></TD>
</TR>
<TR>
<TD BGCOLOR=black width=66% ><FONT SIZE=3 color=#DCfeff>
ネットワーク設定<BR>メニュー</TD>
⑧ <TD><AHREF=/cgi-bin/nwindex><IMG SRC="/button.jpg" border=0></a>
</TD>

```

```
</TR>  
</TABLE>  
</CENTER>  
<HR>  
<FONT SIZE=2 COLOR=blue>
```

- ① : チャンネルを切り換える場合は、引数 “ CHSEL ” に値をセットして、CGI関数 “ camctrl ” を実行します。
- ② : リストを表示する場合は、引数 “ INDEX = 0 ” をセットして、CGI関数 “ reclist ” を実行します。
- ③ : サムネールを表示する場合は、引数 “ INDEX = 1 ” をセットして、CGI関数 “ reclist ” を実行します。
- ④ : アラームをリセットする場合は、引数 “ ALM = reset ” をセットして、CGI関数 “ alarm ” を実行します。
- ⑤ : ライブ画表示を行う場合は、引数 “ LIVE = ON ” をセットして、CGI関数 “ live ” を実行します。
- ⑥ : ライブ画シーケンスを行う場合は、引数 “ SEQ = ON ” をセットして、CGI関数 “ camctrl ” を実行します。
- ⑦ : 本体設定メニューの表示を行う場合は、CGI関数 “ setupindex ” を実行します。
- ⑧ : ネットワーク設定を行う場合は、CGI関数 “ nwindex ” を実行します。



第1章

基本操作

ここでは、基本操作画面からデジタルディスクレコーダーを操作する方法について説明します。

もくじ

アクセス制限について	120
基本操作画面を表示する	122
ライブ映像のモニタリングを行う	123
見たいカメラ映像を選択して表示する	123
カメラ映像を自動的に切り換える(シーケンス表示).....	124
録画された映像の再生を行う	125
最新レコードを再生する	125
検索機能を利用して再生する	127
ライブ映像を録画する	133
アラームリセット	134

アクセス制限について

アクセスレベルとは

本ボードのホスト認証機能・ユーザー認証機能により、ユーザー（使用者）のアクセス権を設定することができます。

アクセス権は、3種類のアクセスレベルに分かれており、ホスト端末（パソコン）ごと、およびユーザーごとにシステム管理者が設定することができます。各レベルの内容は次のとおりです。

《レベル1（システム管理者向け）》

- ライブ映像のモニタリング
- カメラ制御
- 録画された映像の再生操作
- ライブ映像の録画操作
- アラームリセット操作
- デジタルディスクレコーダーの設定操作
- ネットワーク設定操作
- コンテンツアップロード

《レベル2（運用者向け）》

- ライブ映像のモニタリング
- カメラ制御
- 録画された映像の再生操作

《レベル3（モニタリング専用者向け）》

- ライブ映像のモニタリング
- カメラ制御

メモ

ユーザーは、16人まで登録できます。ただし、アクセス権に関係なく、同時にアクセスできるのは8人までです。また、アクセスしている人の中で録画映像を再生できるのは1人だけです。

ログイン操作

ホスト認証機能・ユーザー認証機能の設定により、ブラウザソフトウェアを起動して“レベル1”および“レベル2”の操作を初めて行うときは、ユーザーIDとパスワードを入力する画面が表示されます。

この画面に、ユーザーごとに設定されたユーザーIDとパスワードを入力すると、基本操作が行えるようになります。これをログイン操作と呼びます。

一度ログイン操作を行えば、操作を終了するまで行う必要はありません。

ホスト認証とユーザー認証の設定内容によるログイン動作は次ページのようになります。（アクセスレベル2の再生操作をした場合を例にしています。）

《ホスト登録端末からアクセスしている場合》

[設定内容]	[再生操作時の動作]
ホスト認証 “ する ” ユーザー認証 “ する ”	<ul style="list-style-type: none"> ● ホスト登録アクセスレベルが “ 1 ”、“ 2 ” のときは再生を開始。 ● ホスト登録アクセスレベルが “ 3 ” のときは、ユーザーID、パスワードを入力するウィンドウが表示。ユーザーID、パスワード入力により、ユーザー登録アクセスレベルが “ 1 ”、“ 2 ” のときは再生を開始。“ 3 ” のときは操作不可。
ホスト認証 “ する ” ユーザー認証 “ しない ”	<ul style="list-style-type: none"> ● ホスト登録アクセスレベルが “ 1 ”、“ 2 ” のときは再生を開始。“ 3 ” のときは操作不可。
ホスト認証 “ しない ” ユーザー認証 “ する ”	<ul style="list-style-type: none"> ● ユーザーID、パスワードを入力するウィンドウが表示。ユーザーID、パスワード入力により、ユーザー登録アクセスレベルが “ 1 ”、“ 2 ” のときは再生を開始。“ 3 ” のときは操作不可。
ホスト認証 “ しない ” ユーザー認証 “ しない ”	<ul style="list-style-type: none"> ● 操作不可。

《ホスト未登録端末からアクセスしている場合》

[設定内容]	[再生操作時の動作]
ホスト認証 “ する ” ユーザー認証 “ する ”	<ul style="list-style-type: none"> ● ユーザーID、パスワードを入力するウィンドウが表示。ユーザーID、パスワード入力により、ユーザー登録アクセスレベルが “ 1 ”、“ 2 ” のときは再生を開始。“ 3 ” のときは操作不可。
ホスト認証 “ する ” ユーザー認証 “ しない ”	<ul style="list-style-type: none"> ● 操作不可。
ホスト認証 “ しない ” ユーザー認証 “ する ”	<ul style="list-style-type: none"> ● ユーザーID、パスワードを入力するウィンドウが表示。ユーザーID、パスワード入力により、ユーザー登録アクセスレベルが “ 1 ”、“ 2 ” のときは再生を開始。“ 3 ” のときは操作不可。
ホスト認証 “ しない ” ユーザー認証 “ しない ”	<ul style="list-style-type: none"> ● 操作不可。

基本操作画面を表示する

ブラウザソフトウェアを起動して本ボードにアクセスし、基本操作画面を表示します。

1. ブラウザソフトウェアを起動します。
2. URLに“http://(デジタルディスクレコーダーに設定したIPアドレス)/”を入力し、基本操作画面を表示します。
 - IPアドレスは、システム管理者にご確認ください。

《基本操作画面 各部のなまえ》



- | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>① カメラ選択ボタン</p> <p>② リスト表示ボタン
録画されたデータをリスト表示します。</p> <p>③ サムネール表示ボタン
録画されたデータをサムネール（代表小画面）表示します。</p> <p>④ アラームリセットボタン
アラーム動作およびアラーム停止状態から通常状態に復帰します。</p> <p>⑤ ライブ画ONボタン
ライブ映像（1ch）を表示します。</p> <p>⑥ ライブ画シーケンスボタン
本ボードのシーケンス設定に従って、シーケンス動作を行います。</p> | <p>⑦ カメラ制御画面へボタン
カメラ制御画面を表示します。</p> <p>⑧ 本体設定メニューボタン
デジタルディスクレコーダーの機能設定画面を表示します。
システム管理者のみ使用可能です。</p> <p>⑨ ネットワーク設定メニューボタン
ネットワーク設定画面を表示します。
システム管理者のみ使用可能です。</p> <p>⑩ 情報表示
表示している映像の情報を表示します。</p> <p>⑪ 映像表示位置</p> <p>⑫ 録画・再生操作ボタン
録画および再生時に使用するボタンです。</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

ライブ映像のモニタリングを行う

デジタルディスクレコーダーに接続されたカメラの映像を基本操作画面上に表示して、モニタリング（監視）を行います。

モニタリングには、見たいカメラ映像を選択する方法と、カメラ映像を自動的に切り換えるシーケンス表示の2種類があります。

見たいカメラ映像を選択して表示する

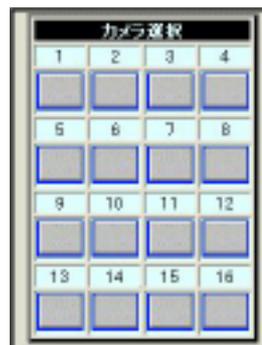
デジタルディスクレコーダーに接続されたカメラ（最大16台）の中から見たいカメラを選択し、その映像を表示します。

1. “ライブ画ON” ボタンをクリックします。
 - カメラ1（1ch）の映像が表示されます。



ライブ画ONボタン

2. 見たいカメラを選択します。
 - カメラ選択ボタン（1～16）のひとつをクリックしてください。選択したカメラの映像が表示されます。
 - カメラ選択ボタン（1～16）をクリックするたびに、映像が切り換わります。



カメラ映像を自動的に切り換える（シーケンス表示）

本ボードのシーケンス設定に従って、カメラの映像を自動的に切り換え表示します。

1. “ライブ画ON” ボタンをクリックします。
 - カメラ1（1ch）の映像が表示されます。



ライブ画ONボタン

2. “ライブ画シーケンス” ボタンをクリックします。
 - シーケンス表示が開始されます。



ライブ画シーケンスボタン

録画された映像の再生を行う

再生には、最新のレコードを再生する方法と、検索機能を利用した再生方法の2種類があり、録画されたカメラ映像を基本操作画面上に表示して、確認することができます。

再生操作が行えるのは、アクセスレベルの設定が“1(システム管理者)”および“2(運用者)”のユーザーです。

メモ

- ネットワークの状況によりコマ送りのように再生されることがありますので、時刻表示を“ON”にして再生することをおすすめします。(初期設定値はONです。)
- アクセスしている人の中で録画映像を再生できるのは1人だけです。
- 本体前面パネルで再生すると、カメラ映像上側の情報表示位置に“Main PLAY”と表示されます

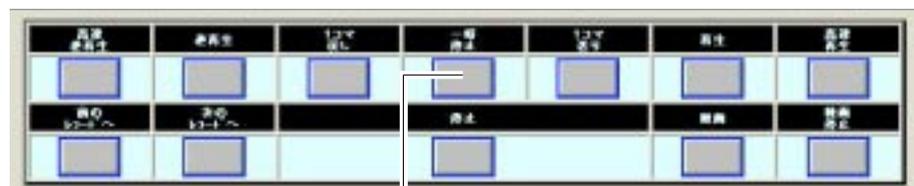
最新レコードを再生する

1. “再生” ボタンをクリックします。
 - 最新レコードのカメラ映像が再生されます。
 - ユーザーIDとパスワードを入力する画面が表示されたときは、ユーザーIDとパスワードを入力し、ログイン操作を行ってください。



再生ボタン

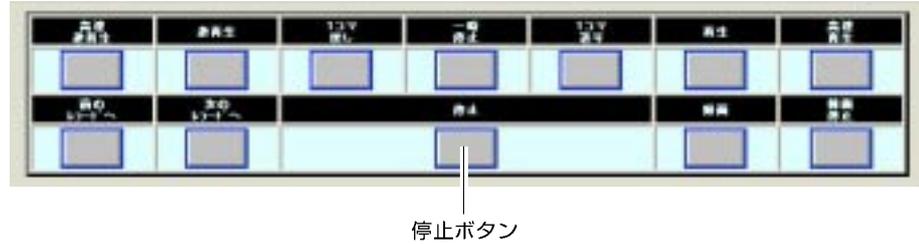
2. 再生を一時停止するときは、“一時停止” ボタンをクリックします。
 - カメラ映像上側の情報表示位置に“PAUSE”と表示されます。
 - 再生を開始するときは、もう一度“一時停止” ボタンをクリックしてください。



一時停止ボタン

(次ページへつづく)

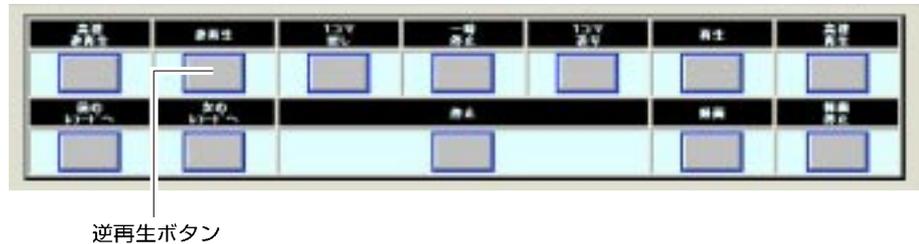
3. 再生を停止するときは、“停止” ボタンをクリックします。



4. 再生中、および一時停止中は次の操作を行うことができます。

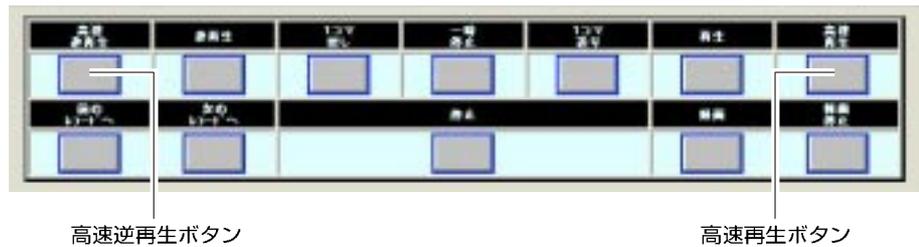
①逆再生（再生中、一時停止中）

- “逆再生” ボタンをクリックしてください。逆方向の再生が開始されます。
- カメラ映像上側の情報表示位置に “R-PLAY” と表示されます。



②高速再生、高速逆再生（再生中、一時停止中）

- “高速再生” または “高速逆再生” ボタンをクリックしてください。
高速再生ボタン：順方向の再生
高速逆再生ボタン：逆方向の再生
- カメラ映像上側の情報表示位置に “FF” または “REW” と表示されます。
- ボタンをクリックするたびに、再生の速度が切り換わります。



③1コマ送り、1コマ戻し（一時停止中）

- “1コマ送り” または “1コマ戻し” ボタンをクリックしてください。
クリックするたびに、1コマずつコマ送りします。
1コマ送り：順方向のコマ送り再生
1コマ戻し：逆方向のコマ送り再生



(次ページへつづく)

④レコードスキップ（再生中）

- “次のレコードへ” または “前のレコードへ” ボタンをクリックしてください。再生中レコードの次または前のレコード先頭へスキップし、そのレコードを再生します。

次のレコードへ : 次のレコードの先頭にスキップ

前のレコードへ : 前のレコードの先頭にスキップ

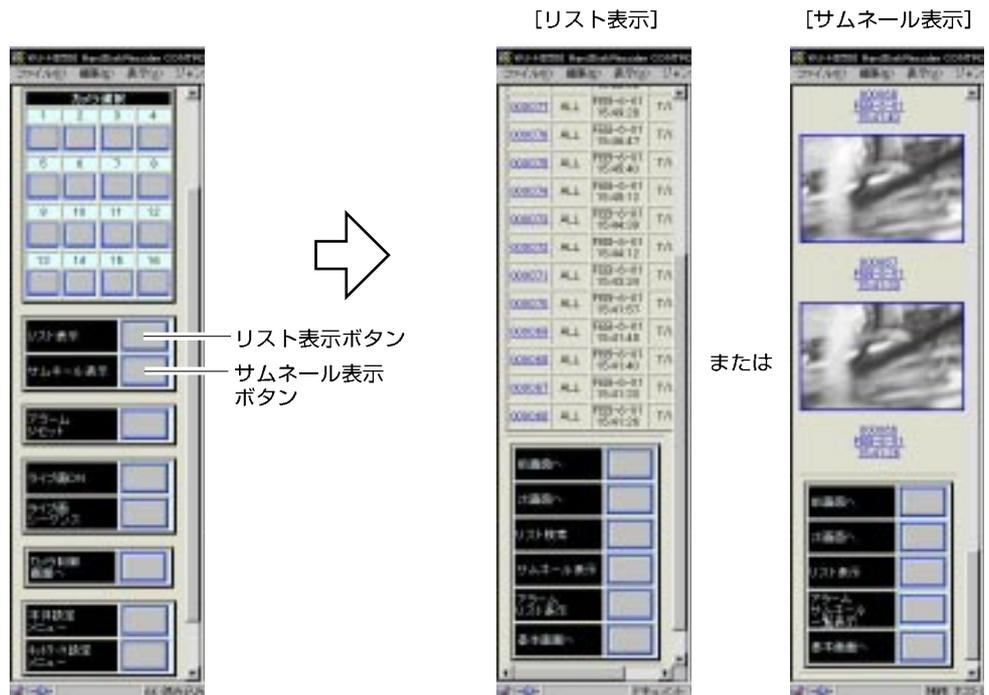


検索機能を利用して再生する

録画されたレコードをリストまたはサムネール（代表小画面）で表示し、その中から再生するレコードを検索します。

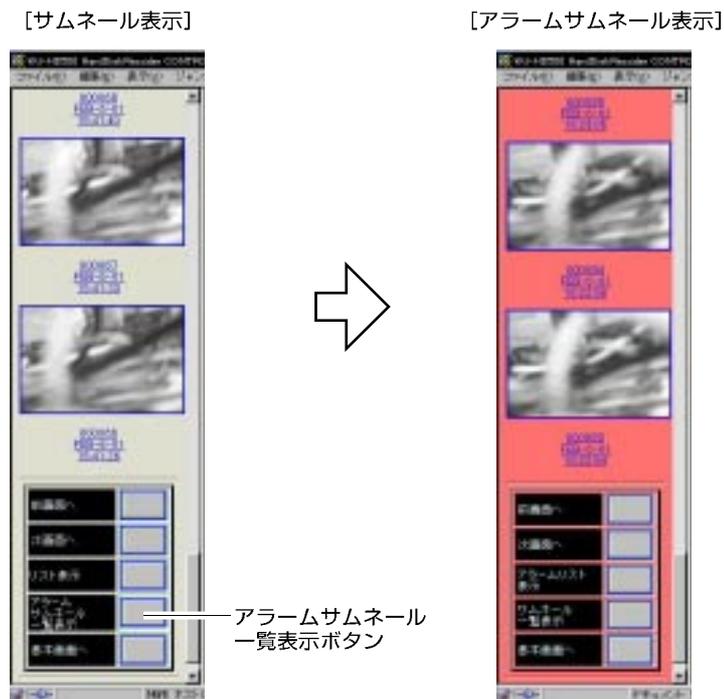
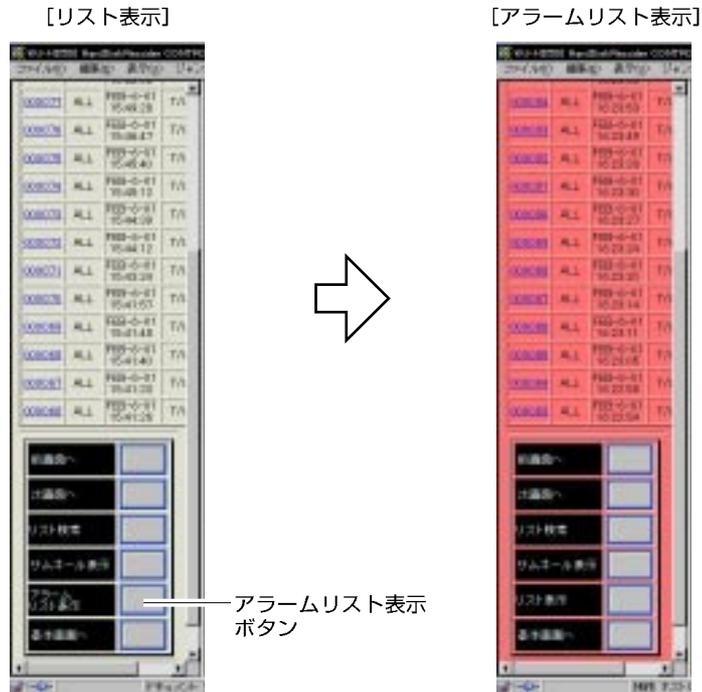
リストまたはサムネールの表示

1. “リスト表示” または “サムネール表示” ボタンをクリックします。
 - リストまたはサムネールが表示されます。（それぞれ最大16件分を表示）
 - ユーザーIDとパスワードを入力する画面が表示されたときは、ユーザーIDとパスワードを入力し、ログイン操作を行ってください。



(次ページへつづく)

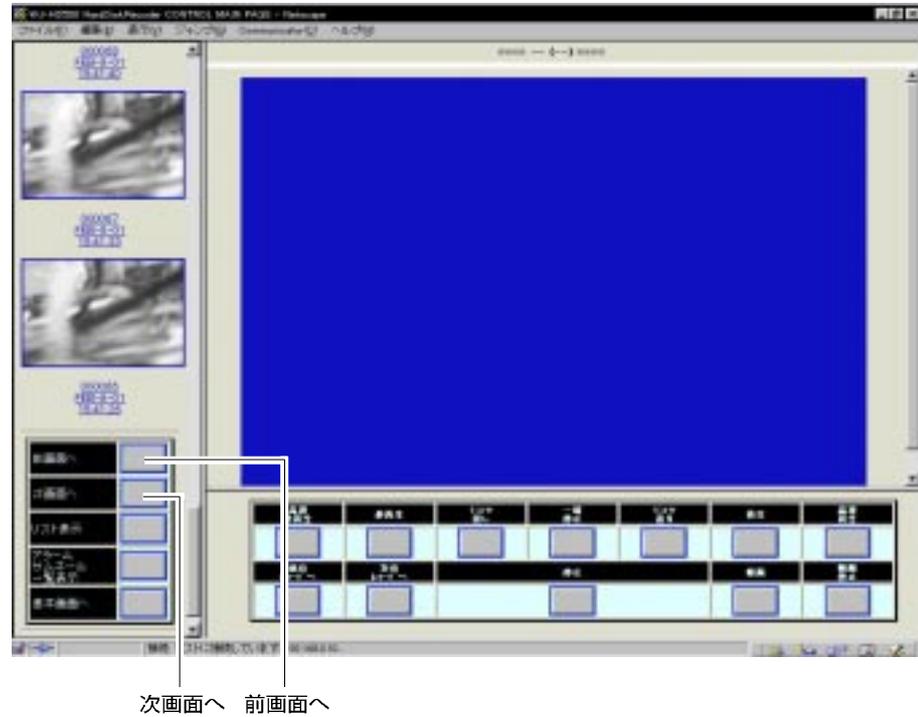
2. アラーム発生時に録画された記録のみのリストまたはサムネールを表示したいときは、“アラームリスト表示”または“アラームサムネール表示”ボタンをクリックします。
 - アラームリストまたはアラームサムネールが表示されます。
(それぞれ最大16件分を表示)



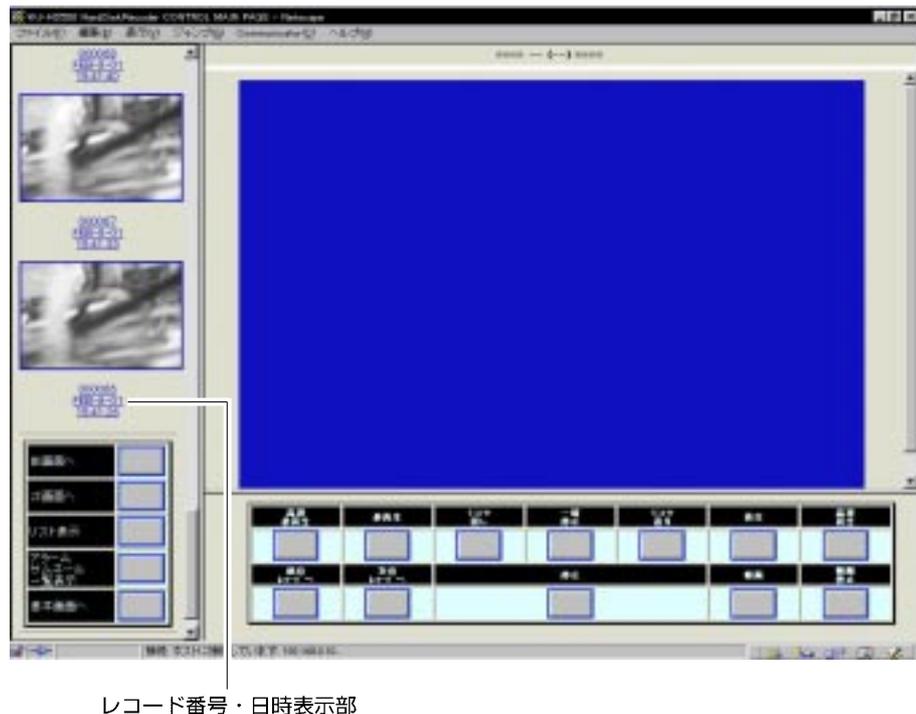
(次ページへつづく)

サムネイル表示中の再生操作

1. 再生したいレコードを検索します。
 - “前画面へ” および “次画面へ” ボタンをクリックすると、前後のサムネイル表示16件を表示します。



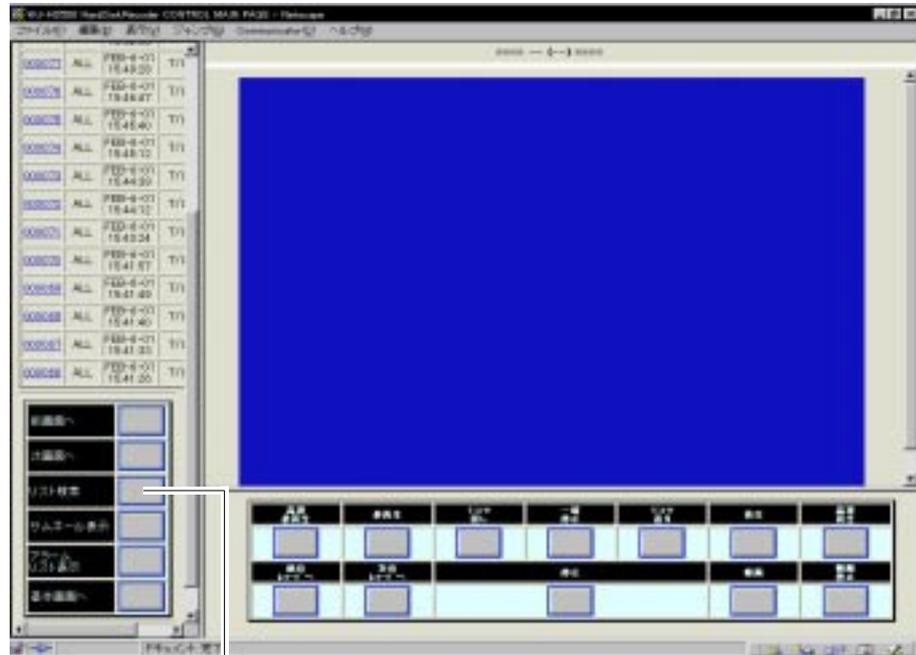
2. サムネイル表示のレコード番号・日時表示部をクリックします。
 - 再生が開始されます。



(次ページへつづく)

リスト表示中の再生操作

1. “リスト検索” ボタンをクリックします。
 - リスト検索画面が表示されます。



リスト検索ボタン



(次ページへつづく)

2. 検索条件を入力します。

- ①グループ (ALL GROUP, ALL, グループ1, グループ2, グループ3, グループ4) を選択します。
- グループとは、デジタルディスクレコーダーに接続されたカメラを4つのグループに分けたものです。内部タイマー録画では、タイマー設定ごとに録画するカメラをグループで指定して録画しています。
 - プルダウンリストの中から選択してください。



②日付 (月/日/年) を入力します。

- 年は、西暦の下2桁で入力してください。



③時刻 (時:分) またはレコード番号ラジオボタンをクリックして、入力欄に条件を入力します。



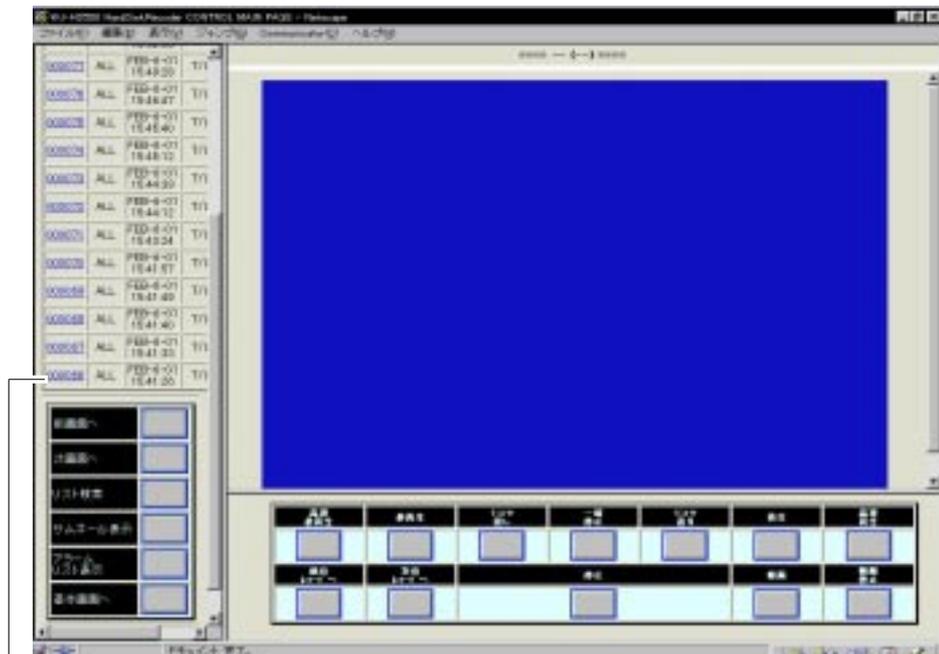
ラジオボタン

(次ページへつづく)

3. “検索” ボタンをクリックします。
 - 検索条件に近いレコードから録画リストが表示されます。



4. リスト表示のレコード番号表示部をクリックします。
 - 再生が開始されます。



レコード番号表示部

ライブ映像を録画する

デジタルディスクレコーダーのマニュアル録画設定内容に従って録画を行います。

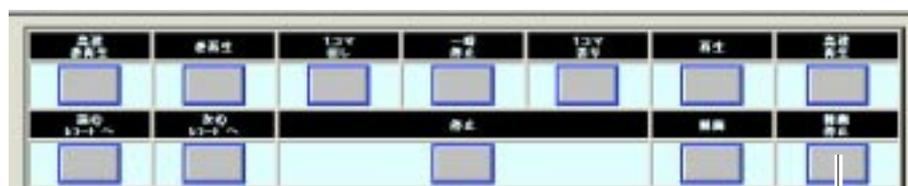
録画操作が行えるのは、アクセスレベルの設定が“1(システム管理者)”のユーザーです。

1. “録画” ボタンをクリックします。
 - マニュアル録画が開始されます。
 - ユーザーIDとパスワードを入力する画面が表示されたときは、ユーザーIDとパスワードを入力し、ログイン操作を行ってください。



録画ボタン

2. 録画を停止するときは、“録画停止” ボタンをクリックします。



録画停止ボタン

アラームリセット

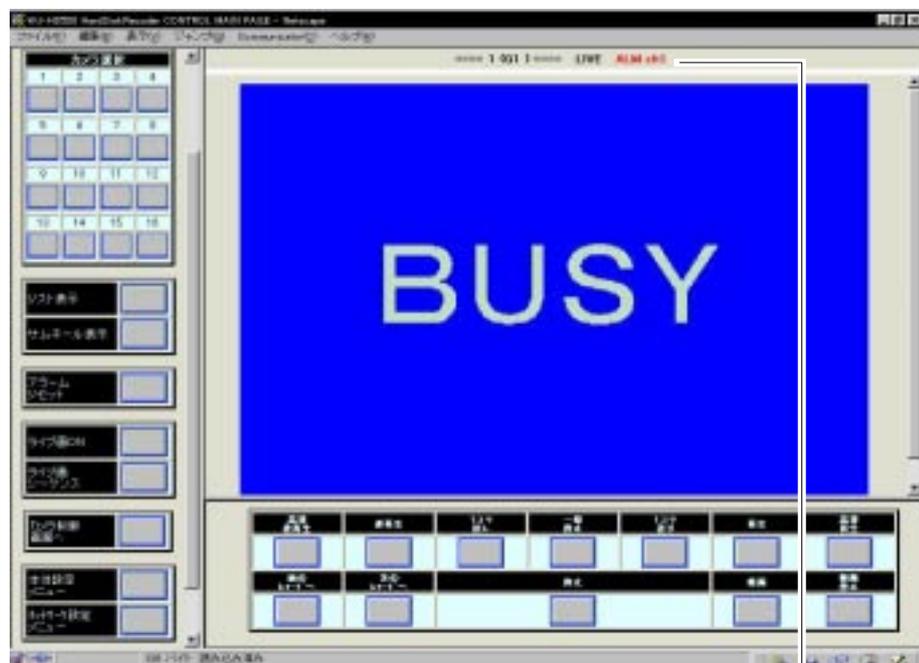
デジタルディスクレコーダーにはアラーム機能が搭載されており、接続したセンサーが反応したり、機器に異常が発生したときに設定内容に従って警報動作を行います。

アラームリセットとは、アラーム発生時の警報動作から通常の運用状態へ復帰させるための操作です。

この操作が行えるのは、アクセスレベルの設定が“1(システム管理者)”のユーザーです。

1. アラームが発生すると、基本操作画面の情報表示部に、アラーム情報が赤字で表示されます。

ALM : 接続したセンサーなどが反応(端子アラーム)



アラーム情報表示

2. アラームの発生原因を確認し、通常の運用状態へ復帰するときは“アラームリセット”ボタンをクリックします。
 - アラーム状態から通常の運用状態へ復帰します。
 - ユーザーIDとパスワードを入力する画面が表示されたときは、ユーザーIDとパスワードを入力し、ログイン操作を行ってください。



アラームリセットボタン



第2章

カメラ制御

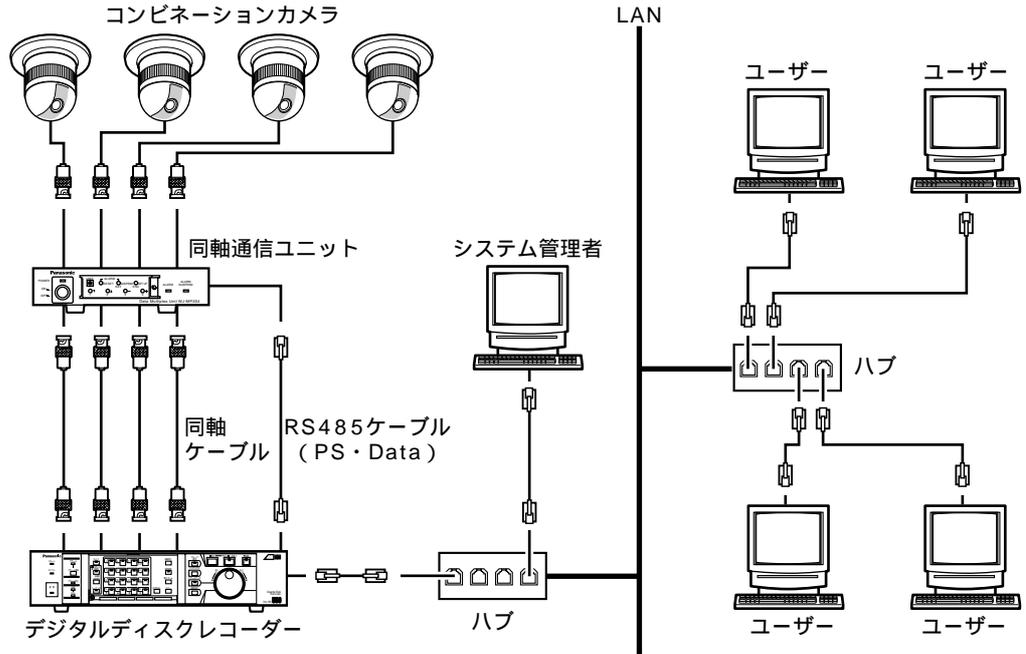
ここでは、カメラ制御画面からカメラを操作する方法について説明します。

もくじ

カメラ制御とは	136
カメラ制御画面を表示する	137
ライブ映像のモニタリングを行う	138

カメラ制御とは

同軸通信ユニット WJ-MP204を使用して、PS・Dataモードでカメラ制御を行うシステムが構築されている場合（☞ 下記参照）、ネットワークに接続されたパソコンをコントローラーとして使用し、カメラの操作を行うことができます。これをカメラ制御といいます。

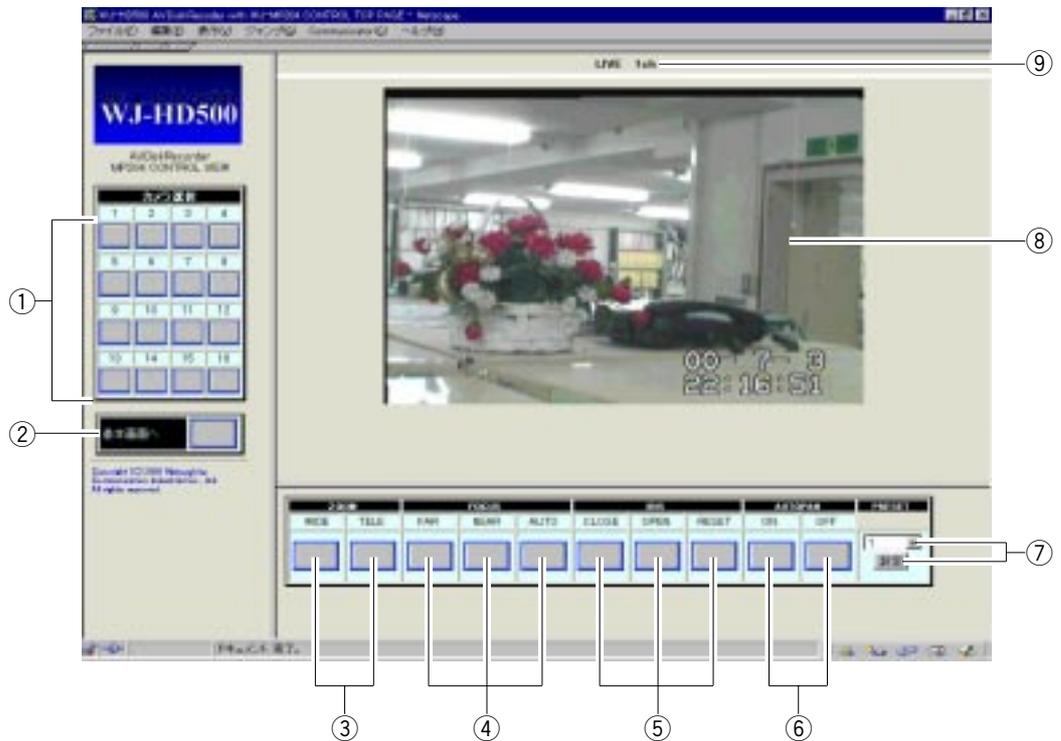


カメラ制御画面を表示する

ブラウザソフトウェアを起動して本ボードにアクセスし、カメラ制御画面を表示します。

1. ブラウザソフトウェアを起動します。
2. “カメラ制御画面へ” ボタンをクリックし、カメラ制御画面を表示します。

《カメラ制御画面 各部のなまえ》

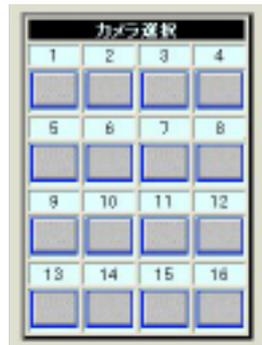


- | | |
|-------------------------------------------|---------------------------------------------|
| ① カメラ選択ボタン | ⑤ CLOSEボタン、OPENボタン、RESETボタン
アイリス調整を行います。 |
| ② 基本画面ボタン
基本操作画面を表示します。 | ⑥ ONボタン、OFFボタン
オートパンのON/OFFを切り換えます。 |
| ③ WIDEボタン、TELEボタン
ズーム調整を行います。 | ⑦ プリセットポジション選択部 |
| ④ FARボタン、NEARボタン、AUTOボタン
フォーカス調整を行います。 | ⑧ 映像表示位置 |
| | ⑨ 情報表示
表示している映像の情報を表示します。 |

ライブ映像のモニタリングを行う

モニタリング（監視）したいカメラを選択して、カメラの向きやズーム・フォーカス・アイリスなどを操作します。

- 見たいカメラを選択します。
 - カメラ選択ボタン（1～16）のひとつをクリックしてください。選択したカメラの映像が表示されます。
 - カメラ選択ボタン（1～16）をクリックするたびに、映像が切り換わります。



- カメラを操作します。
 - ズーム操作を行います。
 - “WIDE” および “TELE” ボタンをクリックしてください。
WIDE：広角
TELE：望遠



WIDEボタン TELEボタン

- フォーカス操作（ピント合わせ）を行います。
 - “FAR” および “NEAR” ボタンをクリックしてください。
FAR：遠くにピントを合わせる
NEAR：近くにピントを合わせる
 - オートフォーカスでピントを合わせるときは、“AUTO” ボタンをクリックしてください。
オートフォーカスでは、画面の中央にある被写体にピントを合わせます。



FARボタン NEARボタン AUTOボタン

(次ページへつづく)

③アイリス操作（絞り調節）を行います。

- “CLOSE” および “OPEN” ボタンをクリックしてください。
CLOSE : 絞りを閉じる
OPEN : 絞りを開く
- 絞りを初期設定値に戻すときは、“RESET” ボタンをクリックしてください。



CLOSEボタン OPENボタン RESETボタン

④オートパン操作を行います。

- オートパンとは、コンビネーションカメラで設定する機能で、登録内容に従って自動的に旋回動作を行うことです。
- “ON” または “OFF” ボタンをクリックしてください。



ONボタン OFFボタン

⑤カメラの向きを選択したプリセットポジションへ移動します。

- プルダウンリストの中から移動したいプリセットポジション（1～64、HOME）を選択し、“設定” ボタンをクリックしてください。
- プリセットポジションとは、コンビネーションカメラで設定するカメラの向きのことで、1台のカメラで64箇所まで設定することができます。設定されたプリセットポジションは、1～64の番号で管理されています。
- “HOME” とは、コンビネーションカメラで設定するホームポジションのことで、手動操作終了後、ある一定時間を経過したときに自動的に戻るカメラの位置です。（プリセットポジション1～64の中のひとつが、ホームポジションとして設定されます。）

設定ボタン
プルダウンリスト



トラブル シューティング

ここでは、一般的なトラブルと、その確認方法について説明します。

症状	確認していただく内容
ブラウザからアクセスできない	<ul style="list-style-type: none"> ● 10 / 100BASE-T端子に、10 / 100BASE-Tケーブルは接続されていますか? <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ● 10 / 100BASE-T端子の接続表示灯（橙）は点灯していますか? 点灯していない場合は、LANに正常接続されていないか、接続先のネットワークが正常動作していません。 ケーブルの接触不良、配線をお確かめください。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ● 本ボードに有効なIPアドレスは設定されていますか? (CD-ROM参照) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ● 間違ったIPアドレスにアクセスしていませんか? (CD-ROM参照) Windows 95/98/NT4.0またはUNIXからアクセスしている場合、次の方法で接続を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> > ping “本ボードに設定したIPアドレス” で、本ボードからReplyが返ってくれば正常動作しています。 Replyが返ってこない場合は、次の設定を行ってください。 (1) “モードの設定”を参照して初期化を行い、IPアドレスを “192.168.000.010”に戻す。 (2) “グローバルネットワークへの接続”(CD-ROM)を参照し、再度IPアドレスを設定し直す。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ● 設定したIPアドレスが他の機器と重複していませんか? (CD-ROM参照) ● 設定したIPアドレスと設置先のネットワーク・サブネットが矛盾していませんか? 《同一サブネット内に本ボードとクライアントが接続されている場合》 <ul style="list-style-type: none"> ・本ボードとクライアントのIPアドレスは、共通のサブネットに設定されていますか? また、ブラウザで“プロキシサーバを使う”設定になっていませんか? 同一サブネット内の本ボードにアクセスする場合は、本ボードのアドレスを“プロキシから外す”に設定することを推奨します。 《異なるサブネットに接続されている場合》 <ul style="list-style-type: none"> ・本ボードに設定したゲートウェイアドレスは間違っていないか?
映像が更新されない	<ul style="list-style-type: none"> ● ネットワークの混雑具合などにより、映像の表示が止まる場合があります。 ブラウザの再読み込みボタンを押して、映像の取得要求を行ってください。
基本操作画面を表示時に、表示された認証ウィンドウを終了できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 正しいユーザー名、パスワードを入力してください。 正しいユーザー名、パスワードが不明な場合は、画面上でESCキーを連打してください。入力が2回以上連続で有効になると、認証ウィンドウは再表示されません。

松下電器産業株式会社

松下通信工業株式会社 AVシステム事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎(045) 932-1231 (大代表)

av1200-1021

V8QA5628CN